

施策評価シート（指標）

資料 2

第4章 健全な行財政運営の確保に向けた取組

2 ページ～

基本目標 1 良好な生活機能が確保されている都市

- 重点項目1-1 多様なライフスタイルに対応した「子育て支援の充実」 5 ページ～
- 重点項目1-2 2025年問題に対応した「医療・福祉の充実」 9 ページ～
- 重点項目1-3 自然環境の保全と生活の質の向上を図る「居住環境の充実」 14 ページ～
- 重点項目1-4 災害に強く、暮らしを支える「生活基盤の充実」 19 ページ～

基本目標 2 良好な地域社会が形成されている都市

- 重点項目2-1 地域に愛着や誇りをもつ「みやざきっ子の育成」 22 ページ～
- 重点項目2-2 多様で自律性のあるコミュニティを形成する「地域力の向上」 26 ページ～
- 重点項目2-3 一人一人が尊重され、生き生きと暮らせる「共生社会の確立」 31 ページ～

基本目標 3 良好な就業環境が確保されている都市

- 重点項目3-1 地域や企業ニーズに合った「人財の育成」 35 ページ～
- 重点項目3-2 若い世代の定着や生産性の向上を図る「雇用の場の創出」 39 ページ～

基本目標 4 魅力ある価値が創出されている都市

- 重点項目4-1 交流人口や販路の拡大を図る「ブランド力の向上」 45 ページ～

基本目標 5 地域特性に合った社会基盤が確保されている都市

- 重点項目5-1 コンパクト化とネットワークの形成による「都市機能の充実」 50 ページ～

総合 計画 体系	第4章	健全な行財政運営の確保に向けた取組
	指標関係課	企画政策課、秘書課、人事課、情報政策課、財政課、納税管理課

1 主要施策	2 市民意識調査（参考）																																																																								
1 効率的で効果的な行政経営 2 職員の資質向上と機能的な組織体制の確立 3 情報化の推進 4 広報広聴機能の充実 5 広域連携の推進	<p>Q：あなたは、健全な行財政運営の確保に向けた取組が進んでいると感じられますか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>5.7%</td> <td>7.0%</td> <td>7.0%</td> <td>5.2%</td> <td>4.3%</td> <td>7.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>30.6%</td> <td>35.0%</td> <td>32.8%</td> <td>30.2%</td> <td>31.6%</td> <td>30.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>29.6%</td> <td>25.6%</td> <td>26.3%</td> <td>29.4%</td> <td>32.2%</td> <td>34.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>14.0%</td> <td>11.2%</td> <td>16.4%</td> <td>18.0%</td> <td>17.3%</td> <td>15.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>14.6%</td> <td>12.7%</td> <td>9.5%</td> <td>10.2%</td> <td>9.4%</td> <td>8.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.5%</td> <td>8.5%</td> <td>8.0%</td> <td>7.0%</td> <td>5.3%</td> <td>4.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	5.7%	7.0%	7.0%	5.2%	4.3%	7.4%		2	どちらかと言えば感じられる	30.6%	35.0%	32.8%	30.2%	31.6%	30.1%		3	どちらかと言えば感じられない	29.6%	25.6%	26.3%	29.4%	32.2%	34.2%		4	感じられない	14.0%	11.2%	16.4%	18.0%	17.3%	15.0%		5	いずれにも当てはまらない	14.6%	12.7%	9.5%	10.2%	9.4%	8.4%		6	無回答	5.5%	8.5%	8.0%	7.0%	5.3%	4.9%		計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	5.7%	7.0%	7.0%	5.2%	4.3%	7.4%																																																																		
2	どちらかと言えば感じられる	30.6%	35.0%	32.8%	30.2%	31.6%	30.1%																																																																		
3	どちらかと言えば感じられない	29.6%	25.6%	26.3%	29.4%	32.2%	34.2%																																																																		
4	感じられない	14.0%	11.2%	16.4%	18.0%	17.3%	15.0%																																																																		
5	いずれにも当てはまらない	14.6%	12.7%	9.5%	10.2%	9.4%	8.4%																																																																		
6	無回答	5.5%	8.5%	8.0%	7.0%	5.3%	4.9%																																																																		
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価									
<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.6点 (29/8)</td> </tr> </table> <small>(参考：R4内部評価)</small> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.5点 (28/8)</td> </tr> </table> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table>	平均点	3.6点 (29/8)	内部評価結果	b	平均点	3.5点 (28/8)	内部評価結果	b	<p>〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。 ・ただし、重点目標の「財政調整基金残高」及び主要施策「4-1 効率的で効果的な行政経営」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、重点目標の「成果指標の達成状況」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。
平均点	3.6点 (29/8)								
内部評価結果	b								
平均点	3.5点 (28/8)								
内部評価結果	b								

4 外部評価			
<table border="1" style="background-color: yellow; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>外部評価結果</td> <td>B</td> </tr> </table> <p>〔外部評価での主な意見（要約）（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・「成果指標の達成状況」の指標について、全ての評価指標の点数が「5点」になることを目指し、「5点」の数だけをカウントしているが、「4点」だとしても一定の成果はあるので、そちらも何らかの係数をかけて評価に入れても良いのではないか。 ・窓口サービスの向上に関しては、職員の視点(ES)を指標化し、結果の公表をお願いしたい。 </td> </tr> </table>	外部評価結果	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「成果指標の達成状況」の指標について、全ての評価指標の点数が「5点」になることを目指し、「5点」の数だけをカウントしているが、「4点」だとしても一定の成果はあるので、そちらも何らかの係数をかけて評価に入れても良いのではないか。 ・窓口サービスの向上に関しては、職員の視点(ES)を指標化し、結果の公表をお願いしたい。
外部評価結果	B		
<ul style="list-style-type: none"> ・「成果指標の達成状況」の指標について、全ての評価指標の点数が「5点」になることを目指し、「5点」の数だけをカウントしているが、「4点」だとしても一定の成果はあるので、そちらも何らかの係数をかけて評価に入れても良いのではないか。 ・窓口サービスの向上に関しては、職員の視点(ES)を指標化し、結果の公表をお願いしたい。 			

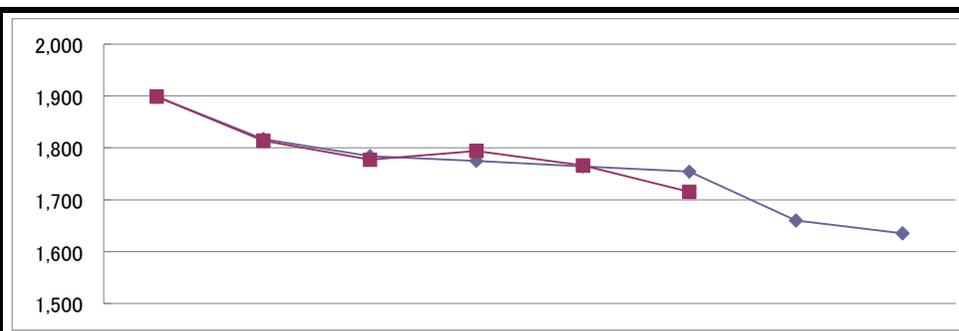
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

◆ 目標 ■ 実績

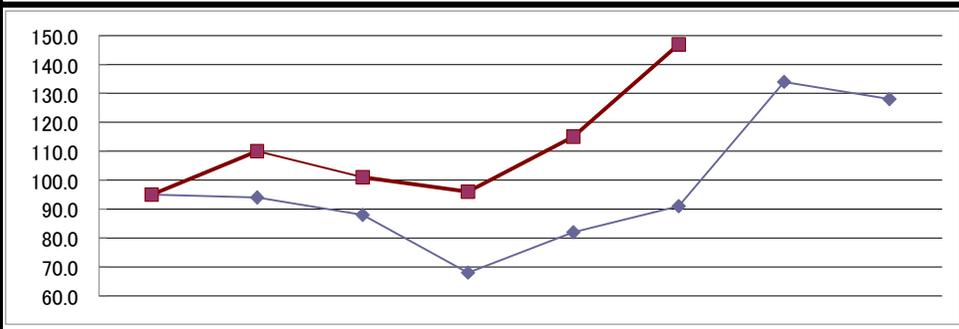
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

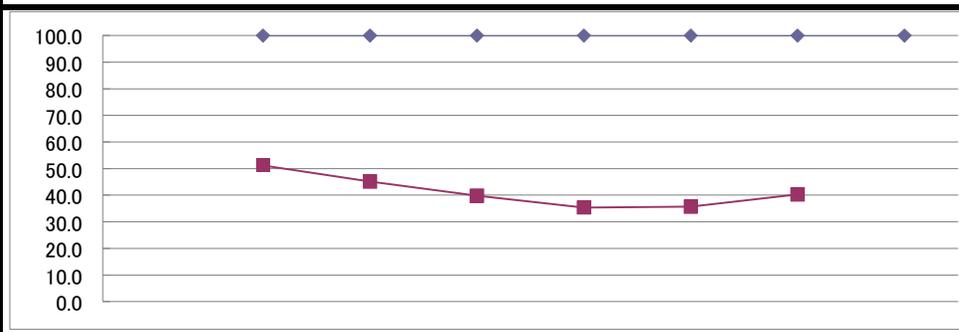
指標									単位	達成率
★ 重点	市債残高（普通会計）（財政課）								億円	96.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
	目標	1,899	1,817	1,784	1,775	1,764	1,754	1,660	1,635	
	実績	1,899	1,814	1,777	1,794	1,766	1,715	未確定	4	
達成状況 の分析	2023年度実績未確定（6月確定予定） 【参考】2022年度達成率：102.3%									



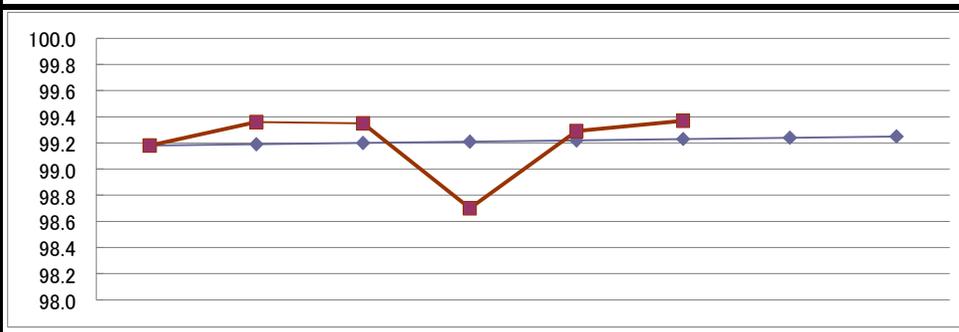
指標									単位	達成率
★ 重点	財政調整基金残高（財政課）								億円	109.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
	目標	95	94	88	68	82	91	134	128	
	実績	95	110	101	96	115	147	未確定	5	
達成状況 の分析	2023年度実績未確定（6月確定予定） 【参考】2022年度達成率：161.5% ※2022年度は「EBPMに基づく事業評価」の実施など、財政健全化に取り組んだ結果、目標を上回ることができた。									



指標									単位	達成率
重点	成果指標の達成状況（企画政策課）								%	40.3%
	-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
	目標	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	実績	-	51.2	45.1	39.8	35.4	35.7	40.3	1	
達成状況 の分析	新型コロナウイルス感染症の拡大禍においても各取組を継続するとともに、感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行したことで、観光関係を中心に実績値が回復した指標が多くなった結果、昨年度の達成状況を上回ることができた。【参考】目標を達成した指標（点数5の指標）：56／評価対象指標：139									



指標									単位	達成率
★ 1-1	市税収納率（現年度分）（納税管理課）								%	100.1%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
	目標	99.18	99.19	99.20	99.21	99.22	99.23	99.24	99.25	
	実績	99.18	99.36	99.35	98.70	99.29	99.37	未確定	5	
達成状況 の分析	2023年度実績未確定（6月確定予定） 【参考】2022年度達成率：100.1%									



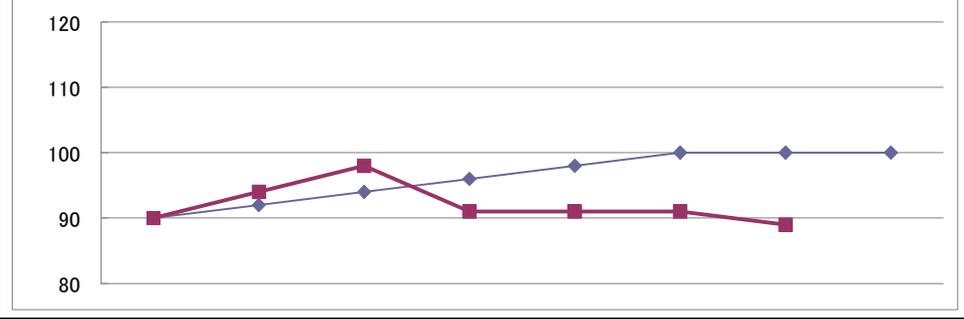
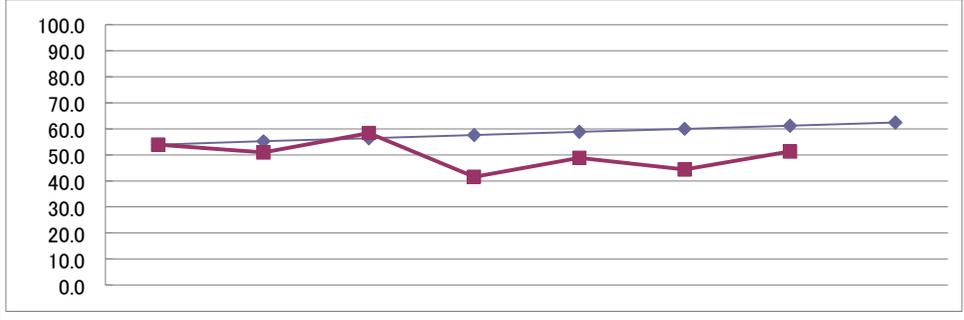
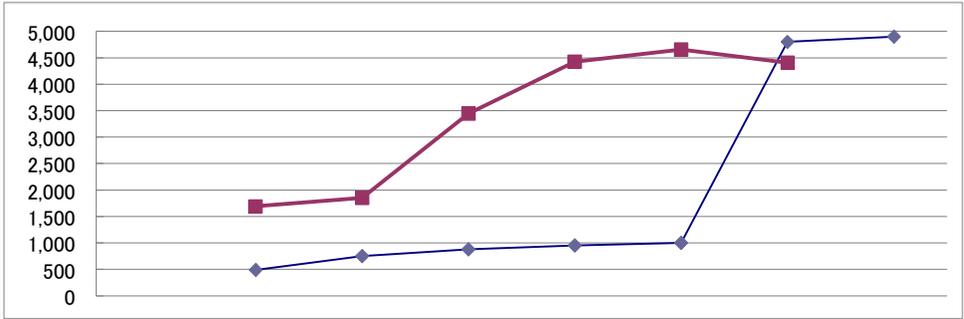
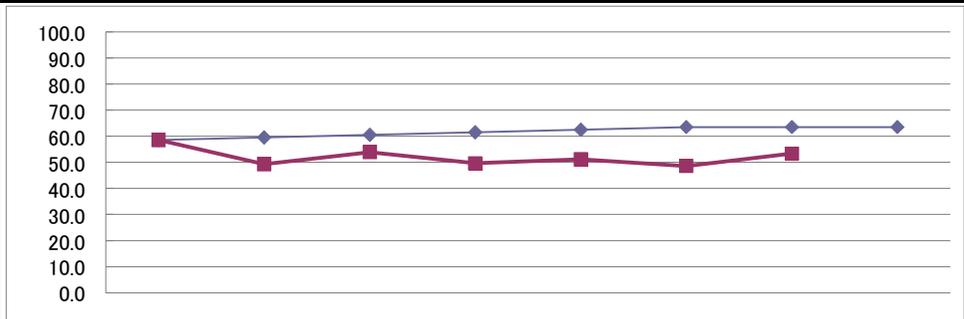
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

◆目標 ■実績

↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標									単位	達成率
2-1	行政サービスを提供する職員に対する満足度（人事課）								%	83.9%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		58.5	59.5	60.5	61.5	62.5	63.5	63.5	63.5	3
実績		58.5	49.3	53.9	49.6	51.1	48.6	53.3		
達成状況の分析	宮崎市人材育成基本方針（第4次）に基づき、職員研修の充実に努め、職員の知識・技能の習得、意識改革を図ってきたが、目標の達成には至らなかった。									
指標									単位	達成率
3-1	電子決済の利用件数（情報政策課）								件	91.8%
		-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		-	490	750	880	950	1,000	4,800	4,900	4
実績		-	1,692	1,852	3,444	4,428	4,658	4,407		
達成状況の分析	多様な電子決済サービスの急速な普及に伴い、一部のペイジーサービスの利用者が他の決済サービスに移行したと思われる。									
指標									単位	達成率
4-1	市政情報の発信に満足している市民の割合（秘書課）								%	83.8%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		53.9	55.2	56.4	57.6	58.8	60.0	61.2	62.4	3
実績		53.9	50.9	58.4	41.6	48.8	44.4	51.3		
達成状況の分析	市公式LINEの機能を拡充するとともに、プレゼント企画等で登録者数を増やす取組をするなど、積極的な情報発信に努めたものの目標値には届かなかった。今後も市公式SNSの登録者増を目指すほか、ホームページや広報紙の読みやすさ等にも引き続き取り組む。									
指標									単位	達成率
5-1	連携中枢都市圏構想の取組事業数（企画政策課）								件	91.0%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		90	92	94	96	98	100	100	100	4
実績		90	94	98	91	91	91	89		
達成状況の分析	目標値を達成することはできなかったが、厳しい財政状況の中、本市、国富町及び綾町で連携を図り、必要な事業を維持することができた。									



総合 計画 体系	基本目標	1 良好な生活機能が確保されている都市（まち）
	重点項目	1-1 多様なライフスタイルに対応した「子育て支援の充実」
	指標関係課	障がい福祉課、社会福祉第一課、子育て支援課、子ども家庭支援課、保育幼稚園課、生涯学習課

1 主要施策	2 市民意識調査（参考）																																																																								
1-1-1 結婚サポートや出産ケアの充実 1-1-2 乳幼児等の健康の保持と増進 1-1-3 幼児教育・保育サービスの提供 1-1-4 子育て家庭への生活支援と相談機能の充実 1-1-5 子どもの居場所の確保	<p>Q：あなたは、多様なライフスタイルに対応した「子育て支援の充実」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>5.4%</td> <td>7.6%</td> <td>8.8%</td> <td>8.0%</td> <td>5.7%</td> <td>8.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>29.8%</td> <td>34.5%</td> <td>37.9%</td> <td>37.1%</td> <td>34.2%</td> <td>36.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>29.0%</td> <td>24.5%</td> <td>23.8%</td> <td>26.3%</td> <td>29.1%</td> <td>29.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>11.5%</td> <td>8.1%</td> <td>11.7%</td> <td>9.8%</td> <td>15.8%</td> <td>11.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>18.9%</td> <td>17.5%</td> <td>11.1%</td> <td>12.2%</td> <td>11.0%</td> <td>10.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.4%</td> <td>7.8%</td> <td>6.7%</td> <td>6.6%</td> <td>4.3%</td> <td>4.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	5.4%	7.6%	8.8%	8.0%	5.7%	8.2%		2	どちらかと言えば感じられる	29.8%	34.5%	37.9%	37.1%	34.2%	36.2%		3	どちらかと言えば感じられない	29.0%	24.5%	23.8%	26.3%	29.1%	29.3%		4	感じられない	11.5%	8.1%	11.7%	9.8%	15.8%	11.5%		5	いずれにも当てはまらない	18.9%	17.5%	11.1%	12.2%	11.0%	10.6%		6	無回答	5.4%	7.8%	6.7%	6.6%	4.3%	4.2%		計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	5.4%	7.6%	8.8%	8.0%	5.7%	8.2%																																																																		
2	どちらかと言えば感じられる	29.8%	34.5%	37.9%	37.1%	34.2%	36.2%																																																																		
3	どちらかと言えば感じられない	29.0%	24.5%	23.8%	26.3%	29.1%	29.3%																																																																		
4	感じられない	11.5%	8.1%	11.7%	9.8%	15.8%	11.5%																																																																		
5	いずれにも当てはまらない	18.9%	17.5%	11.1%	12.2%	11.0%	10.6%																																																																		
6	無回答	5.4%	7.8%	6.7%	6.6%	4.3%	4.2%																																																																		
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">平均点</td> <td>3.7点 (37/10)</td> </tr> </table> <p>(参考：令和5年度内部評価)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td style="width: 30%;">平均点</td> <td>4.2点 (42/10)</td> </tr> </table>	平均点	3.7点 (37/10)	平均点	4.2点 (42/10)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td style="width: 30%;">内部評価結果</td> <td>a</td> </tr> </table>	内部評価結果	b	内部評価結果	a	<p>〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。 ・ただし、主要施策「1-1-1 結婚サポートや出産ケアの充実」、「1-1-3 幼児教育・保育サービスの提供」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、主要施策「1-1-5 子どもの居場所の確保」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。 	
平均点	3.7点 (37/10)										
平均点	4.2点 (42/10)										
内部評価結果	b										
内部評価結果	a										

4 外部評価			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">外部評価結果</td> <td>B</td> </tr> </table>	外部評価結果	B	<p>〔外部評価での主な意見（要約）（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保育所等の待機児童数」が0で目標値の達成が続いているのは、少子化も原因の一つに挙げられるのではないかと考える。また、利用定員の弾力運用や企業主導型保育事業の増加により、教育・保育の質が低下しないよう注視していただきたい。 ・「児童クラブの待機児童数」は、今後も申請者が大幅に増加したときの対策が必要だと考える。待機児童数ゼロを是非達成して欲しい。
外部評価結果	B		

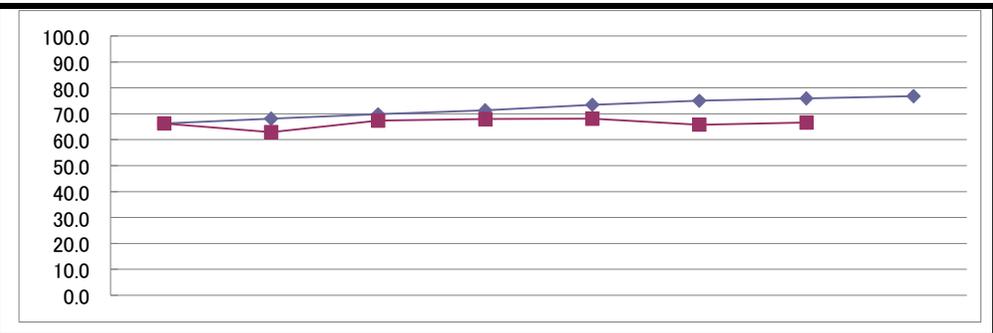
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

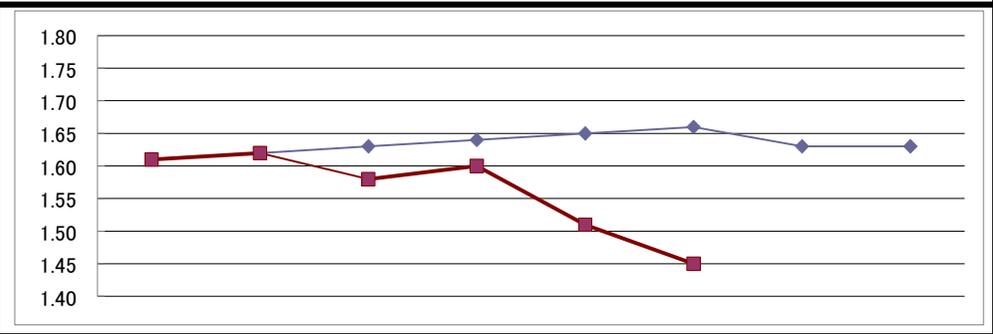
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

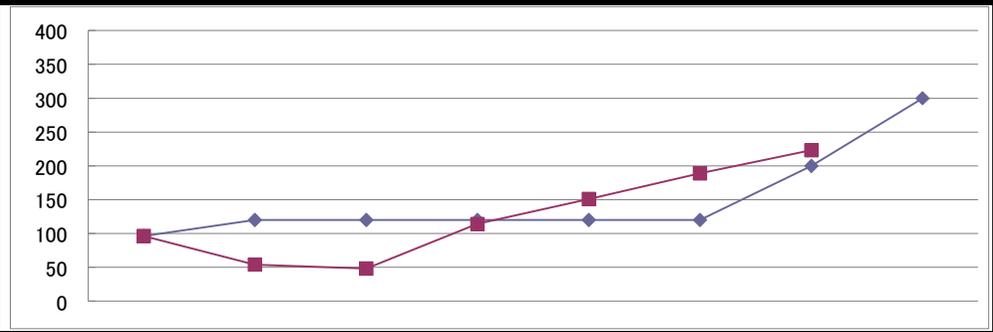
指標								単位	達成率
重点 「子育てしやすい地域である」と思う人の割合（子育て支援課）								%	87.7%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	66.3	68.1	69.8	71.3	73.5	75.0	75.9	76.8	3
実績	66.3	62.9	67.4	68.0	68.1	65.8	66.6		
達成状況の分析	昨年度実績と比較すると割合は増加しているが、目標を達成することはできなかった。子育てに関する情報不足や、保護者の就労状況や社会情勢の変化に伴う多様なニーズに対応できていない状況が一部あると推測する。								



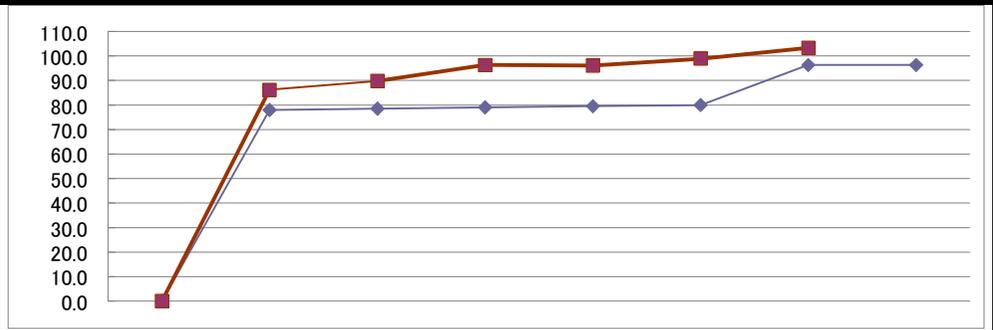
指標								単位	達成率
★重点 合計特殊出生率（子ども家庭支援課）								-	89.0%
	2015年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	点数
目標	1.61	1.62	1.63	1.64	1.65	1.66	1.63	1.63	3
実績	1.61	1.62	1.58	1.60	1.51	1.45	未確定		
達成状況の分析	2023年度実績未確定（令和7年4月確定予定）（実績は保健医療課調べ） 【参考】2022年度達成率：87.3% ※妊娠届は、2020年度3,119件、2021年度3,034件と減少、出生数も2021年3,091人、2022年2,915人と減少していることから、出生率の減少にも影響していると思われる。								



指標								単位	達成率
1-1 市が支援する独身男女の交流会等の延べ参加者数（子育て支援課）								人	111.5%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	96	120	120	120	120	120	200	300	5
実績	96	54	48	114	151	189	223		
達成状況の分析	2022年度に開始した複数人での体験型お見合いイベントの実施に加え、「みやざき結婚サポートセンター」入会登録料の一部補助を開始し、1対1での出会いの機会を提供した。								



指標								単位	達成率
1-2 産婦健康診査受診率（子ども家庭支援課）								%	107.3%
	-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	-	78.0	78.5	79.0	79.5	80.0	96.3	96.3	5
実績	-	86.2	89.8	96.3	96.1	98.9	103.3		
達成状況の分析	妊娠届の面接時や産科医療機関等において、産婦健診の受診勧奨を積極的に行うことで、目標を達成することができた。 ※分母を2023年度妊娠届数としているため、100%超過している。								



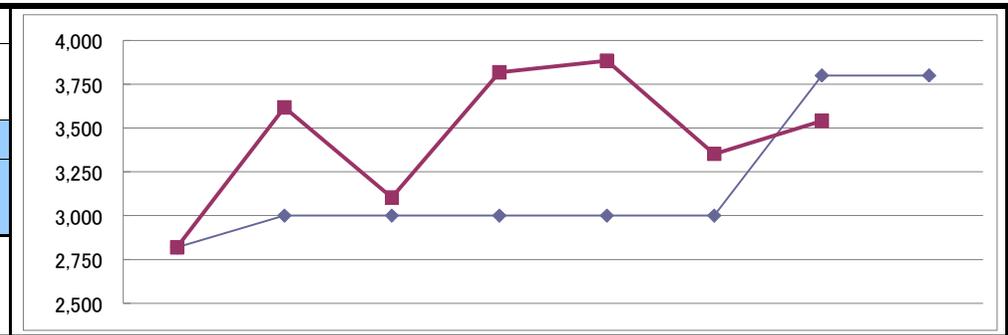
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

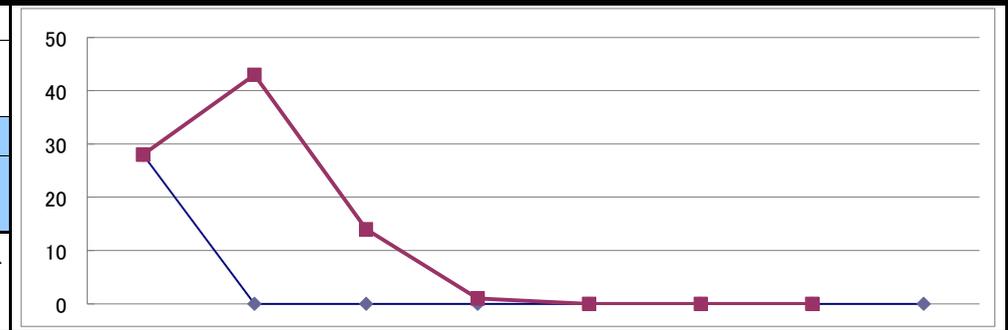
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

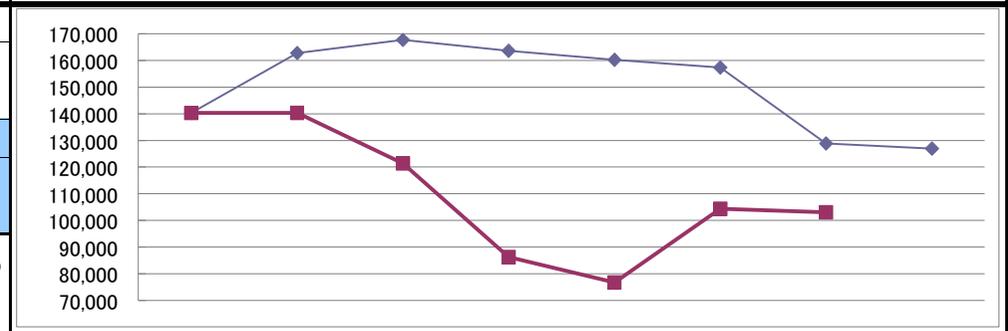
指標								単位	達成率
2-1	母子保健相談延べ支援件数（子ども家庭支援課）							件	93.2%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	2,819	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,800	3,800	4
実績	2,819	3,618	3,103	3,817	3,884	3,352	3,540		
達成状況の分析	特にコロナ禍においては、出産や育児に不安や困りを抱える妊産婦が増えていたが、2022年度以降はコロナ禍前と同程度の相談実績となっている。								



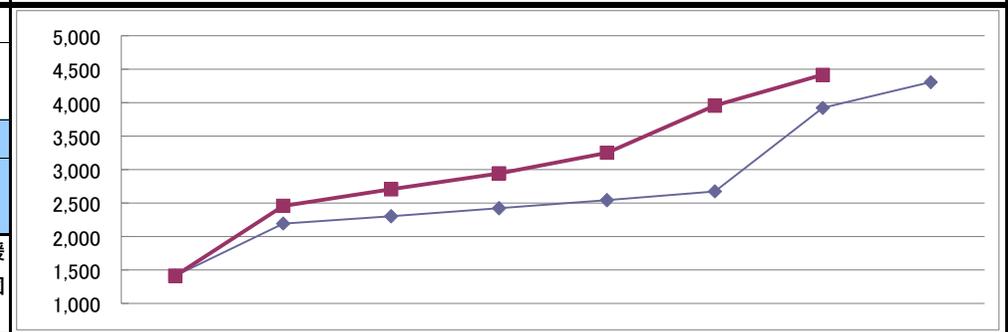
指標								単位	達成率
3-1	保育所等の待機児童数（保育幼稚園課）							人	100.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	28	0	0	0	0	0	0	0	5
実績	28	43	14	1	0	0	0		
達成状況の分析	利用定員の弾力運用の実施や企業主導型保育事業の利用増などにより、目標達成を維持することができた。								



指標								単位	達成率
4-1	地域子育て支援センターの延べ利用者数（子育て支援課）							人	80.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	140,265	162,708	167,640	163,560	160,248	157,308	128,832	126,936	3
実績	140,265	140,345	121,416	86,269	76,796	104,367	103,077		
達成状況の分析	インフルエンザなど様々な病気の感染拡大が年間を通して続いたことにより、利用控えがあったものと推察され、目標を達成することができなかった。								



指標								単位	達成率
4-2	障がい児相談支援延べ利用者数（障がい福祉課）							人	112.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	1,415	2,196	2,304	2,424	2,544	2,676	3,922	4,306	5
実績	1,415	2,460	2,708	2,945	3,253	3,956	4,417		
達成状況の分析	利用者が増加し、目標を達成した。今後も引き続き利用者が増加することが見込まれることから、相談支援事業所等への助言や研修会等を通して、専門性の高い相談員の確保や育成を図り、相談支援体制の強化を図る必要がある。								



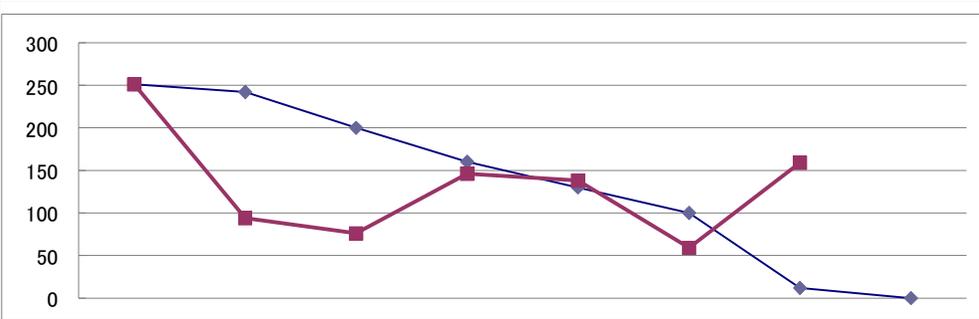
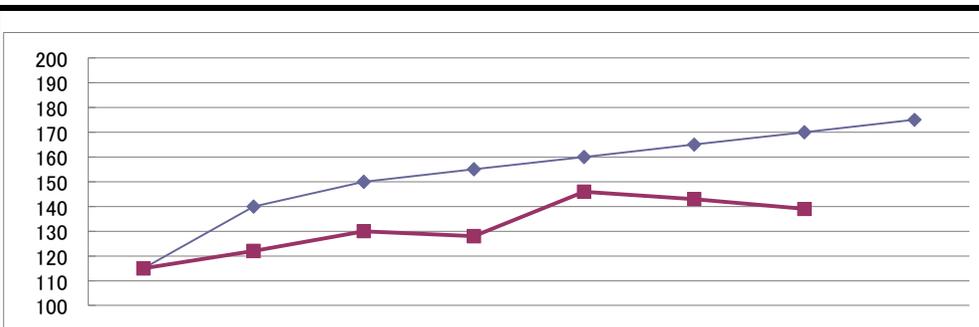
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標								単位	達成率
4-3	学習支援事業参加者数（子育て支援課・社会福祉第一課）							人	81.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	115	140	150	155	160	165	170	175	3
実績	115	122	130	128	146	143	139		
達成状況の分析	「学習支援ボランティア事業」と「子どもの居場所づくり事業」の登録者数の合計は2021年度から若干減少傾向であり、目標を達成する事ができなかった。 【参考】学習支援ボランティア事業75人、子どもの居場所づくり事業64人								
指標								単位	達成率
5-1	児童クラブの待機児童数（生涯学習課）							人	7.5%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	251	242	200	160	130	100	12	0	1
実績	251	94	76	146	138	59	159		
達成状況の分析	これまで継続的に整備を進め、毎年100名前後の定員増を図っているが、申請者数が増え、待機児童が解消できなかった。 【参考】申請者数 2022年度：4,618名、2023年度：4,783名。								



総合 計画 体系	基本目標	1 良好な生活機能が確保されている都市（まち）
	重点項目	1-2 2025年問題に対応した「医療・福祉の充実」
	指標関係課	国保年金課、障がい福祉課、地域包括ケア推進課、社会福祉第一課、保健医療課、健康支援課

1 主要施策 1-2-1 地域医療サービスの確保 1-2-2 健康危機管理体制の確立 1-2-3 健康づくりの推進 1-2-4 地域包括ケアシステムの確立 1-2-5 障がい者の自立と社会参加の促進 1-2-6 社会保障の確保	2 市民意識調査（参考） Q：あなたは、2025年問題に対応した「医療・福祉の充実」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>5.0%</td> <td>6.7%</td> <td>6.5%</td> <td>5.3%</td> <td>4.8%</td> <td>7.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>25.2%</td> <td>31.0%</td> <td>31.5%</td> <td>32.9%</td> <td>28.0%</td> <td>27.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>36.2%</td> <td>32.5%</td> <td>31.6%</td> <td>31.9%</td> <td>36.8%</td> <td>36.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>15.9%</td> <td>12.7%</td> <td>16.7%</td> <td>16.2%</td> <td>19.4%</td> <td>17.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>12.7%</td> <td>10.7%</td> <td>7.6%</td> <td>7.3%</td> <td>7.4%</td> <td>7.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.0%</td> <td>6.4%</td> <td>6.1%</td> <td>6.4%</td> <td>3.7%</td> <td>3.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	5.0%	6.7%	6.5%	5.3%	4.8%	7.5%		2	どちらかと言えば感じられる	25.2%	31.0%	31.5%	32.9%	28.0%	27.2%		3	どちらかと言えば感じられない	36.2%	32.5%	31.6%	31.9%	36.8%	36.6%		4	感じられない	15.9%	12.7%	16.7%	16.2%	19.4%	17.7%		5	いずれにも当てはまらない	12.7%	10.7%	7.6%	7.3%	7.4%	7.7%		6	無回答	5.0%	6.4%	6.1%	6.4%	3.7%	3.3%		計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	5.0%	6.7%	6.5%	5.3%	4.8%	7.5%																																																																		
2	どちらかと言えば感じられる	25.2%	31.0%	31.5%	32.9%	28.0%	27.2%																																																																		
3	どちらかと言えば感じられない	36.2%	32.5%	31.6%	31.9%	36.8%	36.6%																																																																		
4	感じられない	15.9%	12.7%	16.7%	16.2%	19.4%	17.7%																																																																		
5	いずれにも当てはまらない	12.7%	10.7%	7.6%	7.3%	7.4%	7.7%																																																																		
6	無回答	5.0%	6.4%	6.1%	6.4%	3.7%	3.3%																																																																		
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.5点 (52/15)</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">(参考：令和5年度内部評価)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.9点 (58/15)</td> </tr> </table>	平均点	3.5点 (52/15)	平均点	3.9点 (58/15)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table>	内部評価結果	b	内部評価結果	b	<p style="text-align: center;">〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。 ・ただし、主要施策「1-2-6 社会保障の確保」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、主要施策「1-2-2 健康危機管理体制の確立」、「1-2-3 健康づくりの推進」及び「1-2-4 地域包括ケアシステムの確立」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。 	
平均点	3.5点 (52/15)										
平均点	3.9点 (58/15)										
内部評価結果	b										
内部評価結果	b										

4 外部評価		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>外部評価結果</td> <td>B</td> </tr> </table>	外部評価結果	B
外部評価結果	B	
<p>〔外部評価での主な意見（要約）（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年問題に関して、全ての「満額回答」は望めないが、医療に頼らない個々の「健康づくり」へ向けた方向性や取組が欲しい。 ・超高齢化社会に向けたケアマネージャーの育成や介護人材の給与向上が必要だと考える。 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年問題に関して、全ての「満額回答」は望めないが、医療に頼らない個々の「健康づくり」へ向けた方向性や取組が欲しい。 ・超高齢化社会に向けたケアマネージャーの育成や介護人材の給与向上が必要だと考える。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・2025年問題に関して、全ての「満額回答」は望めないが、医療に頼らない個々の「健康づくり」へ向けた方向性や取組が欲しい。 ・超高齢化社会に向けたケアマネージャーの育成や介護人材の給与向上が必要だと考える。 		

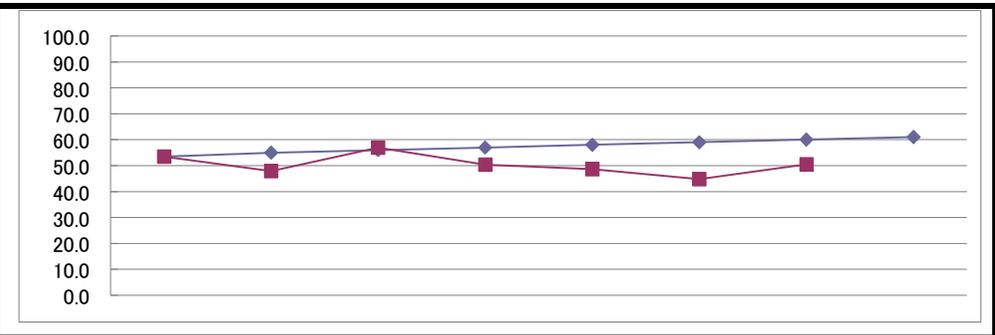
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

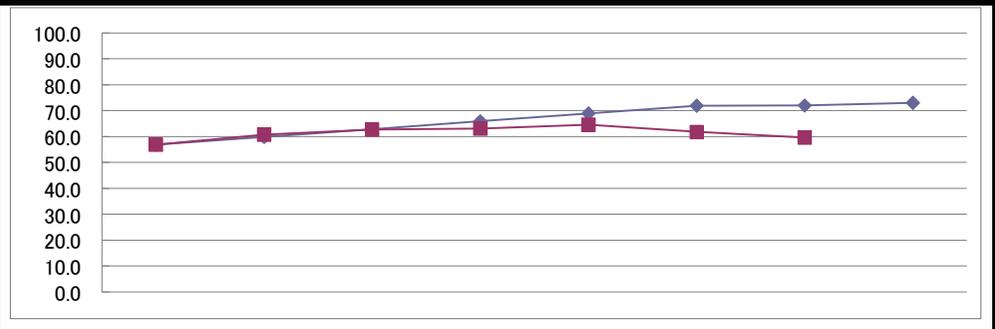
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

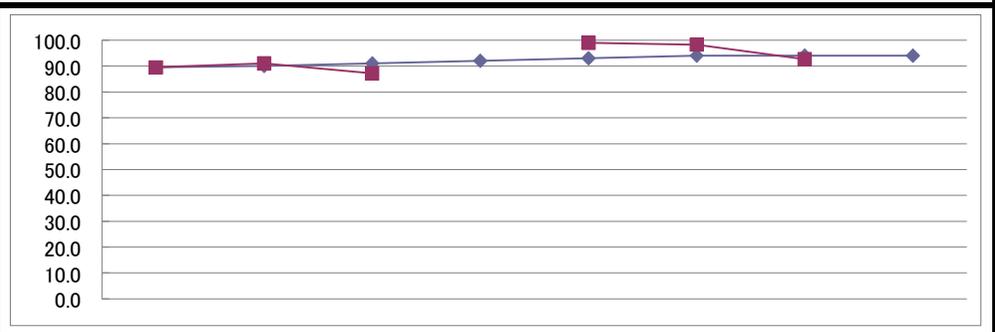
指標								単位	達成率
重点 医療サービスに満足している人の割合（保健医療課）								%	84.2%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	53.5	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	61.0	3
実績	53.5	47.9	56.9	50.4	48.6	44.8	50.5		
達成状況の分析	夜間急病センターの運営や在宅当番医制を実施し、初期救急医療の提供に取り組んだ。また、市に寄せられる医療相談について、各医療機関に情報提供を行うなどしたが、市民意識調査における目標値を達成することはできなかった。								



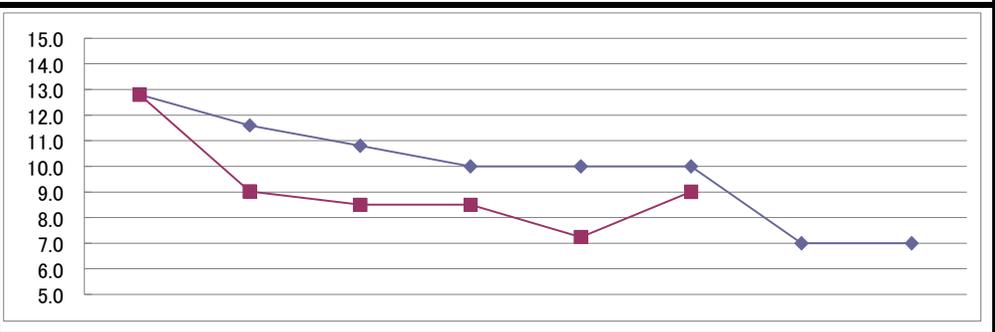
指標								単位	達成率
重点 「いつまでも在宅で生活したい」と思う人の割合（地域包括ケア推進課）								%	82.8%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	56.9	59.9	62.9	65.9	68.9	71.9	72.0	73.0	3
実績	56.9	60.7	62.7	63.1	64.6	61.8	59.6		
達成状況の分析	超高齢社会の進展に伴い、一人暮らし世帯や老老世帯が増加している中、いつまでも自宅で暮らしたい思いがある一方で、数値が減少することについては、介護に対する家族への負担を気にかけていることが伺える。								



指標								単位	達成率
1-1	病院・診療所の管理運営基準適合率（保健医療課）							%	98.6%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	89.5	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	94.0	94.0	4
実績	89.5	91.0	87.2	-	99.0	98.3	92.7		
達成状況の分析	医療法改正等により立入検査基準が改正されたが、新基準に対応できていない医療機関があったため、目標値を下回った。 【参考】立入検査実施施設数：病院(36)、一般診療所(43)、歯科診療所(32)								



指標								単位	達成率
★ 2-1	結核罹患率（対人口10万人）（健康支援課）							-	77.7%
	2016年度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	点数
目標	12.8	11.6	10.8	10.0	10.0	10.0	7.0	7.0	2
実績	12.8	9.0	8.5	8.5	7.2	9.0	未確定		
達成状況の分析	2023年度実績未確定（8月頃確定予定）【参考】2022年度達成率：111.0% 当初、最終目標値を国の指針に基づき10.0以下で設定していたが、2018年に達成後、10.0以下を継続しているため、最終目標値を「ストップ結核ジャパンアクションプラン」の中間目標値である2025年までに7.0以下に準じて修正している。								



5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標									単位	達成率
3-1	胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの5つのがん検診の平均受診率（健康支援課）								%	55.7%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		7.9	10.0	11.0	12.0	13.0	14.0	14.0	14.0	2
実績		7.9	7.6	8.1	7.2	7.9	7.8	7.8		
達成状況の分析	2019年度をピークに実績値が減少傾向となっている。新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等の影響もあり、目標値を大きく下回っている。									
指標									単位	達成率
★ 3-2	特定健診受診率（国保年金課）								%	98.7%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		23.6	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	30.0	31.0	4
実績		23.6	24.5	28.4	25.4	28.1	29.6	未確定		
達成状況の分析	2023年度実績未確定（10月確定予定）※確定は最終法定報告値が出てからとなる。 【参考】2022年度達成率：109.6% ※2021年度から目標値を達成している。									
指標									単位	達成率
3-3	歯周疾患検診受診率（健康支援課）								%	83.0%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		6.6	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0	10.5	3
実績		6.6	6.1	5.8	6.8	8.4	8.2	8.3		
達成状況の分析	2020年度から未受診勧奨はがきを受診券として使用可能とし、2022年度から未受診勧奨はがきの送付対象者を全世代としたが、受診率は前年度比0.1%増で目標は達成できなかった。									
指標									単位	達成率
★ 3-4	自殺死亡率（対人口10万人）（健康支援課）								-	70.6%
		2015年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		16.4	16.0	15.0	14.9	14.9	14.9	11.5	11.5	2
実績		16.4	17.1	12.3	19.9	15.7	16.3	未確定		
達成状況の分析	2023年度実績未確定（9月頃確定予定）。【参考】2022年度達成率：91.4% 本市の自殺死亡率は、2007年以降減少傾向にあったが、コロナ禍において2020年に大きく増加に転じた。新型コロナウイルス感染症の影響から、2021・2022年も高止まり傾向にあり、ポストコロナ禍である2023年においてもその影響が懸念される。									

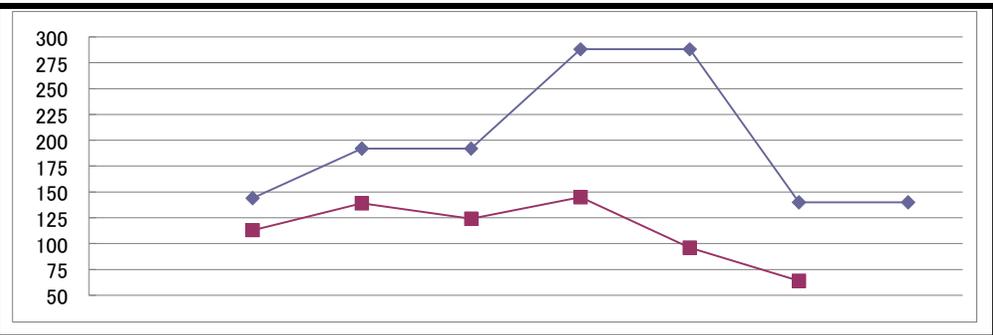
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

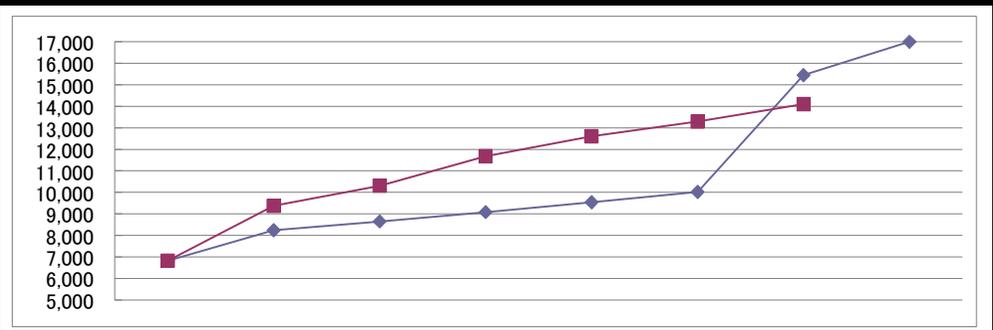
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

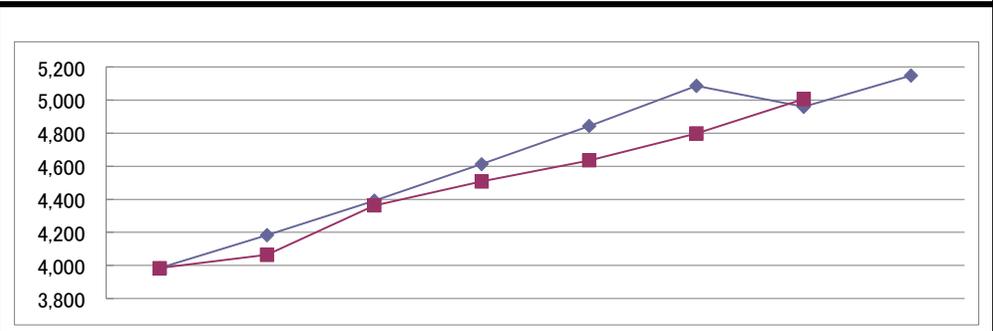
指標								単位	達成率
4-1	自立支援型地域ケア会議に諮るケアプラン件数（地域包括ケア推進課）							件	45.7%
	—	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	—	144	192	192	288	288	140	140	1
実績	—	113	139	124	145	96	64		
達成状況の分析	当初目標値では、検討事例数を伸ばすことで課題抽出ができると想定していたが、個別ケースを丁寧に検討することで参加者のスキルアップや地域課題の抽出を目指しており、目標値に届いていない。また参加者の負担軽減を考慮し、提出資料や会議開催日数の見直しを行ったため、実績数は減少している。								



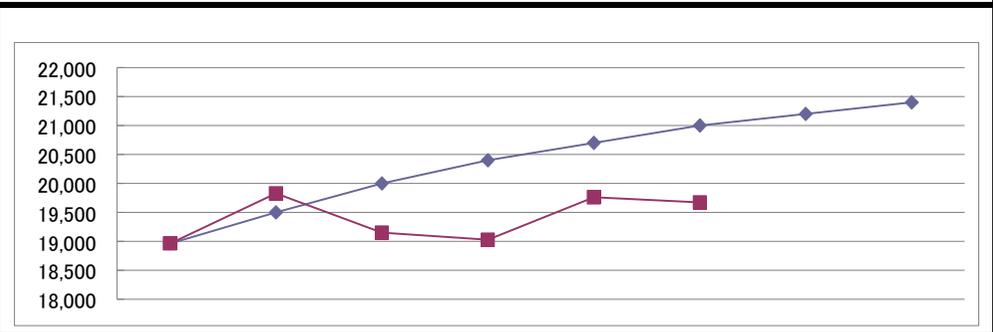
指標								単位	達成率
5-1	障がい者相談支援延べ利用者数（障がい福祉課）							人	91.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	6,827	8,244	8,652	9,084	9,540	10,020	15,444	16,992	4
実績	6,827	9,372	10,311	11,681	12,610	13,287	14,099		
達成状況の分析	利用者は年々増加しているものの、2023年度においては目標を達成することができなかった。サービスの周知を図るとともに、相談支援事業所等への助言や研修会等を通して、専門性の高い相談員の確保や育成を図り、相談支援体制の強化を図る必要がある。								



指標								単位	達成率
5-2	障がい福祉サービスの支給決定者数（障がい福祉課）							人	100.9%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	3,984	4,183	4,392	4,612	4,843	5,085	4,959	5,147	5
実績	3,984	4,065	4,363	4,507	4,635	4,797	5,005		
達成状況の分析	順調に利用者が増加し、2023年度の目標を達成することができた。								



指標								単位	達成率
★ 5-3	就労継続支援B型事業所の平均工賃額（月額）（障がい福祉課）							円	92.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	18,964	19,500	20,000	20,400	20,700	21,000	21,200	21,400	4
実績	18,964	19,828	19,151	19,028	19,762	19,673	未確定		
達成状況の分析	2023年度実績未確定（7月確定予定） 【参考】2022年度達成率：93.7%								



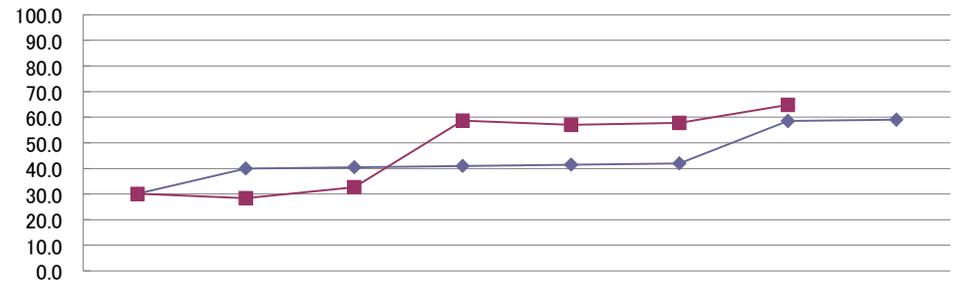
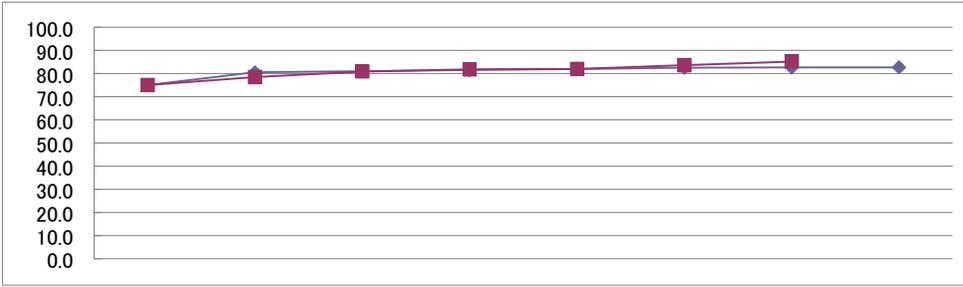
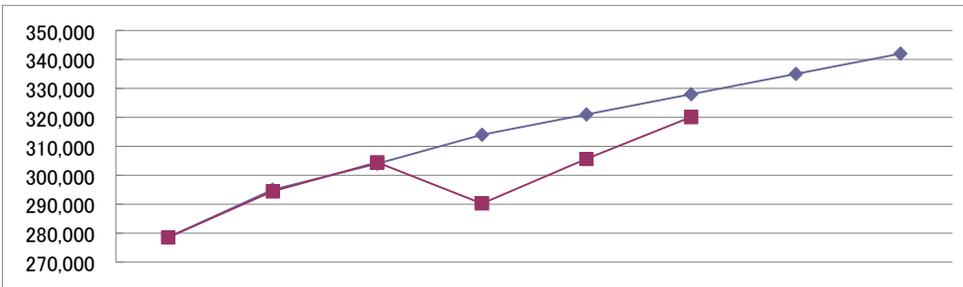
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

◆ 目標 ■ 実績

↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標									単位	達成率
★ 6-1	1人あたりの診療費（国民健康保険）（国保年金課）								円	104.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	278,519	295,000	304,000	314,000	321,000	328,000	335,000	342,000	5	
実績	278,519	294,464	304,433	290,284	305,620	320,100	未確定			
達成状況の分析	2023年度実績未確定（6月確定予定）。【参考】2022年度達成率：102.5% 一人当たりの診療費については、増加しているが、2022年度達成率は102.5%であり、目標を達成する事ができた。今後も増加傾向であることから、医療費通知やジェネリック医薬品差額通知等により、被保険者の意識向上を図る。									
指標									単位	達成率
6-2	ジェネリック医薬品の使用率（国保年金課、社会福祉第一課）								%	103.1%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	75.1	80.5	81.0	81.5	82.0	82.5	82.6	82.7	5	
実績	75.1	78.5	80.9	81.8	82.0	83.6	85.2			
達成状況の分析	ジェネリック医薬品差額通知等により使用率の向上に努め、生活保護世帯については86.6%（前年度85.3%）、国保世帯については84.8%（前年度83.1%）と、生活保護世帯、国保世帯ともに前年度を上回り、目標達成となった。									
指標									単位	達成率
6-3	生活保護受給者で就労可能な者のうち就労支援事業に参加した者の割合（社会福祉第一課）								%	110.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	30.1	40.0	40.5	41.0	41.5	42.0	58.5	59.0	5	
実績	30.1	28.4	32.7	58.7	57.0	57.8	64.8			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症が収束するとともに、支援者間での連携、粘り強く参加勧奨を行いながら対象者に応じた段階的支援を実施した結果、事業参加者数は増加し、目標値を上回った。※厚生労働省の指標変更に伴い、2019年度実績から「生活保護受給者で」就労支援事業等に「参加可能な者」のうち、参加した者の割合」として集計。									



総合 計画 体系	基本目標	1 良好な生活機能が確保されている都市（まち）
	重点項目	1-3 自然環境の保全と生活の質の向上を図る「居住環境の充実」
	指標関係課	地域安全課、環境政策課、環境業務課、環境指導課、環境施設課、保健衛生課、森林水産課、住宅課、公共建築課、公園緑地課、建築行政課

1 主要施策 1-3-1 既存ストックの有効活用 1-3-2 公園・緑地の確保 1-3-3 スマートシティの取組の推進 1-3-4 自然環境の保全 1-3-5 廃棄物対策の推進 1-3-6 暮らしの安全・衛生の確保	2 市民意識調査（参考） Q：あなたは、自然環境の保全と生活の質の向上を図る「居住環境の充実」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>5.1%</td> <td>7.1%</td> <td>7.1%</td> <td>5.2%</td> <td>4.7%</td> <td>5.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>29.4%</td> <td>32.6%</td> <td>33.9%</td> <td>32.5%</td> <td>29.5%</td> <td>30.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>35.2%</td> <td>31.4%</td> <td>31.6%</td> <td>33.1%</td> <td>36.9%</td> <td>36.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>12.6%</td> <td>10.8%</td> <td>13.9%</td> <td>15.4%</td> <td>17.6%</td> <td>17.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>12.3%</td> <td>11.4%</td> <td>7.5%</td> <td>8.0%</td> <td>6.8%</td> <td>6.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.4%</td> <td>6.7%</td> <td>6.0%</td> <td>5.8%</td> <td>4.4%</td> <td>4.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	5.1%	7.1%	7.1%	5.2%	4.7%	5.4%		2	どちらかと言えば感じられる	29.4%	32.6%	33.9%	32.5%	29.5%	30.3%		3	どちらかと言えば感じられない	35.2%	31.4%	31.6%	33.1%	36.9%	36.4%		4	感じられない	12.6%	10.8%	13.9%	15.4%	17.6%	17.0%		5	いずれにも当てはまらない	12.3%	11.4%	7.5%	8.0%	6.8%	6.9%		6	無回答	5.4%	6.7%	6.0%	5.8%	4.4%	4.0%		計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	5.1%	7.1%	7.1%	5.2%	4.7%	5.4%																																																																		
2	どちらかと言えば感じられる	29.4%	32.6%	33.9%	32.5%	29.5%	30.3%																																																																		
3	どちらかと言えば感じられない	35.2%	31.4%	31.6%	33.1%	36.9%	36.4%																																																																		
4	感じられない	12.6%	10.8%	13.9%	15.4%	17.6%	17.0%																																																																		
5	いずれにも当てはまらない	12.3%	11.4%	7.5%	8.0%	6.8%	6.9%																																																																		
6	無回答	5.4%	6.7%	6.0%	5.8%	4.4%	4.0%																																																																		
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">平均点</td> <td>3.8点 (50/13)</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">(参考：令和5年度内部評価)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td style="width: 30%;">平均点</td> <td>3.8点 (50/13)</td> </tr> </table>	平均点	3.8点 (50/13)	平均点	3.8点 (50/13)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td style="width: 30%;">内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table>	内部評価結果	b	内部評価結果	b	<p style="text-align: center;">〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。 ・ただし、重点目標の「居住環境に満足している人の割合」、主要施策「1-3-1 既存ストックの有効活用」及び「1-3-2 公園・緑地の確保」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、主要施策「1-3-4 自然環境の保全」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。 	
平均点	3.8点 (50/13)										
平均点	3.8点 (50/13)										
内部評価結果	b										
内部評価結果	b										

4 外部評価			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">外部評価結果</td> <td>B</td> </tr> </table>	外部評価結果	B	<p>〔外部評価での主な意見（要約）（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>・「居住環境の充実」に関しては一定の評価をしているが、「ゼロカーボンシティみやざき」を宣言し、脱炭素社会を目指す宮崎市として、二酸化炭素排出量削減などに積極的に踏み込んだ施策が手薄だと感じている。もう少し環境問題に目を向けるべきではないか。</p> </div>
外部評価結果	B		

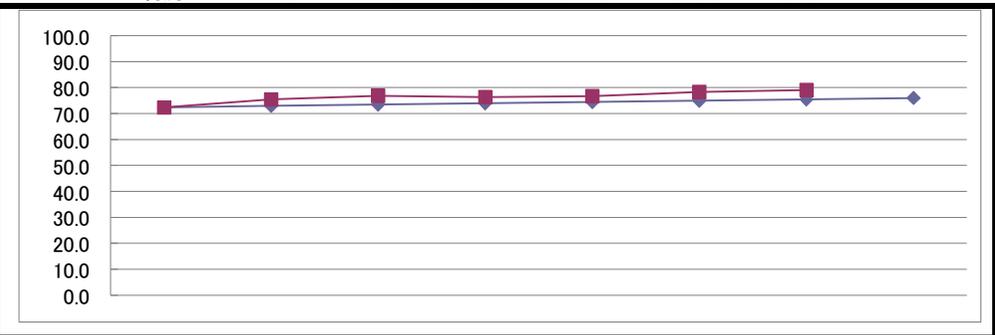
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

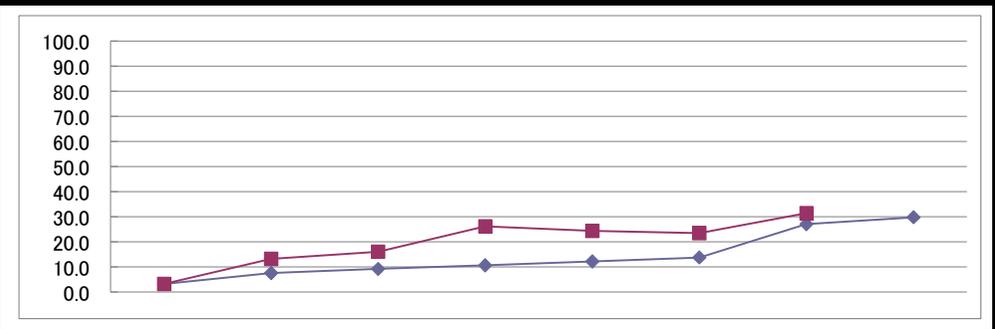
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

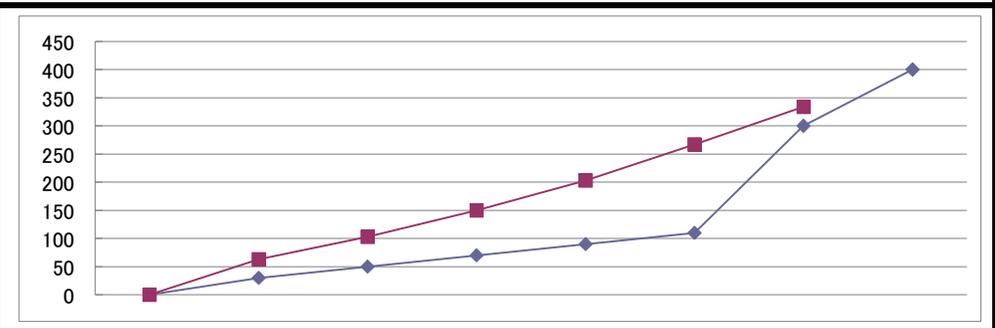
指標								単位	達成率	
重点	居住環境に満足している人の割合（地域安全課、環境政策課、環境業務課、環境施設課、住宅課、公共建築課、建築行政課）								%	104.8%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	72.3	73.0	73.5	74.0	74.5	75.0	75.5	76.0	5	
実績	72.3	75.4	76.8	76.3	76.7	78.3	79.1			
達成状況の分析	居住環境に関する各種取組を実施した結果、目標を達成することができた。									



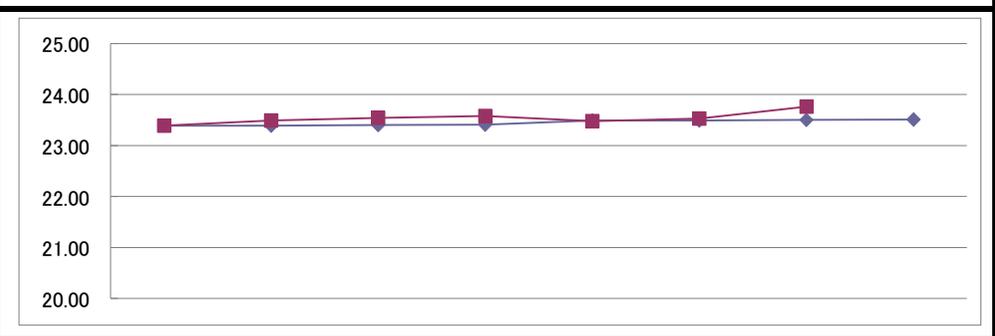
指標								単位	達成率	
重点	2013年度総排出量（3,401千t-CO2）を基準とする温室効果ガス排出削減率（環境政策課）								%	115.9%
	2014年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	3.2	7.6	9.2	10.7	12.2	13.8	27.1	29.8	5	
実績	3.2	13.2	16.1	26.2	24.4	23.5	31.4			
達成状況の分析	業務その他部門、家庭部門で大きく削減でき、目標を達成できた。 【参考】環境基本計画 2023目標値 21.6%									



指標								単位	達成率	
1-1	空き家バンク登録件数（累計）（住宅課）								件	111.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	0	30	50	70	90	110	300	400	5	
実績	0	63	103	150	203	267	334			
達成状況の分析	不動産取引に関して専門的知識を有する団体である（一）REC宮崎に空き家バンクの登録及び空き家等に係る相談業務を委託、連携を強化したことにより、目標を大きく上回る成果を上げている。									



指標								単位	達成率	
2-1	市民1人あたりの都市公園面積(公園緑地課)								m ² /人	101.1%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	23.39	23.39	23.40	23.41	23.49	23.49	23.50	23.51	5	
実績	23.39	23.49	23.54	23.58	23.48	23.53	23.76			
達成状況の分析	都市公園法では住民一人当たり10.0m ² 以上となっている。本市の面積は10.0m ² より多く、公園の整備による居住環境は充足している。									



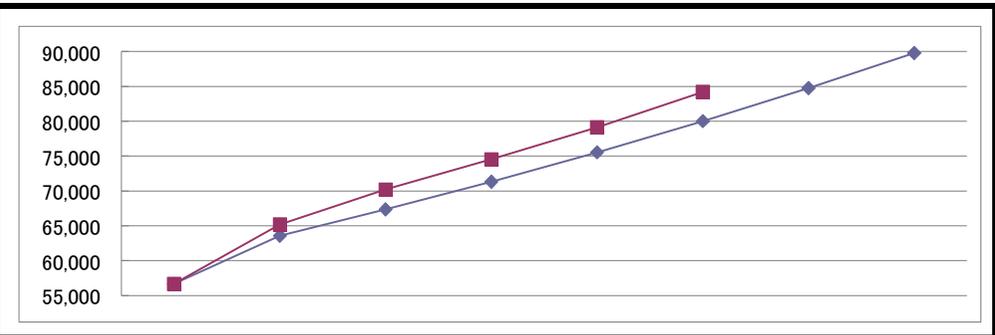
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

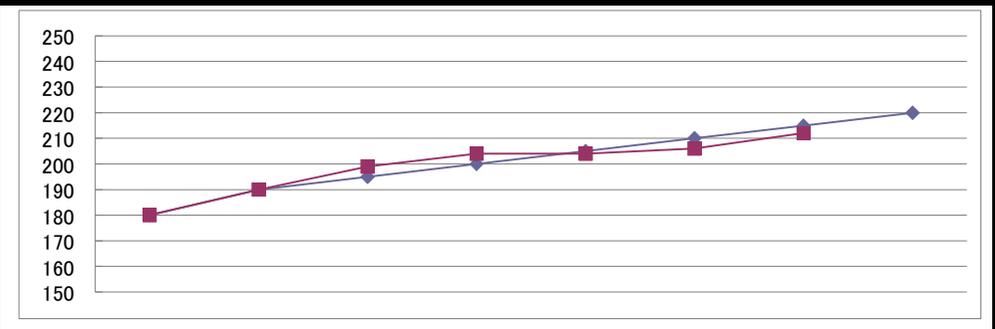
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

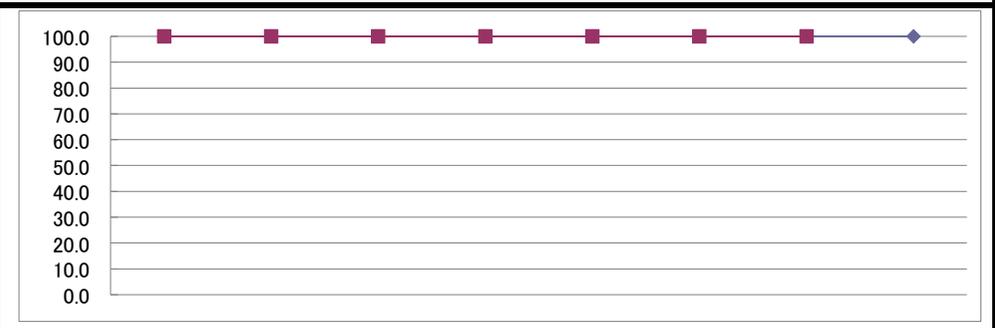
指標								単位	達成率
★ 3-1	太陽光発電設備導入容量（10kW未満）（環境政策課）							kW	99.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	56,667	63,575	67,339	71,325	75,547	80,020	84,757	89,775	4
実績	56,667	65,194	70,194	74,532	79,110	84,203	未確定		
達成状況 の分析	2023年度実績未確定（昨年度は7月末に確定） 【参考】2022年度達成度：105.2%								



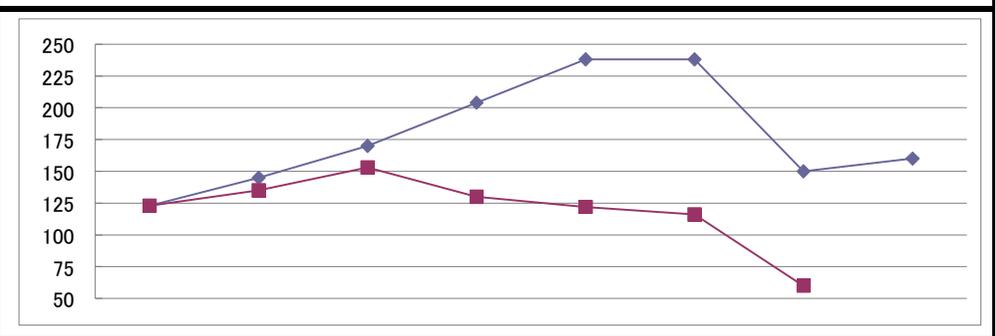
指標								単位	達成率
3-2	みやぎきエコアクション認証登録事業者数（累計）（環境政策課）							事業者	98.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	180	190	195	200	205	210	215	220	4
実績	180	190	199	204	204	206	212		
達成状況 の分析	市ホームページで周知を行った結果、前年度の新規認証者数（2事業者）を上回る6事業者の新規認証を行ったが、目標には届かなかった。今後は、制度の変更も含め、あり方を検討していく。								



指標								単位	達成率
4-1	公共用水域環境基準(BOD)達成率（環境指導課）							%	100.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	5
実績	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
達成状況 の分析	公共用水域の水質は概ね良好であり、検査地点のBOD値は、いずれも環境基準値内であるため、目標を達成することができた。								



指標								単位	達成率
4-2	植林面積（森林水産課）							ha	40.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	123	145	170	204	238	238	150	160	1
実績	123	135	153	130	122	116	60		
達成状況 の分析	植林面積は昨年度比で約50%減少しているが、同時に伐採面積も減少していることから植林率は前年度から微減。依然として森林所有者の森林への関心の低下等が課題である。 【参考】植林率 2021年度：31.1%、2022年度：41.3%、2023年度：40.7%								



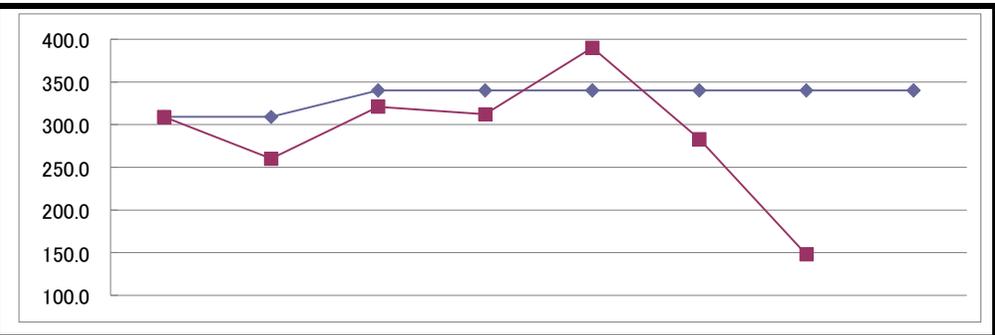
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

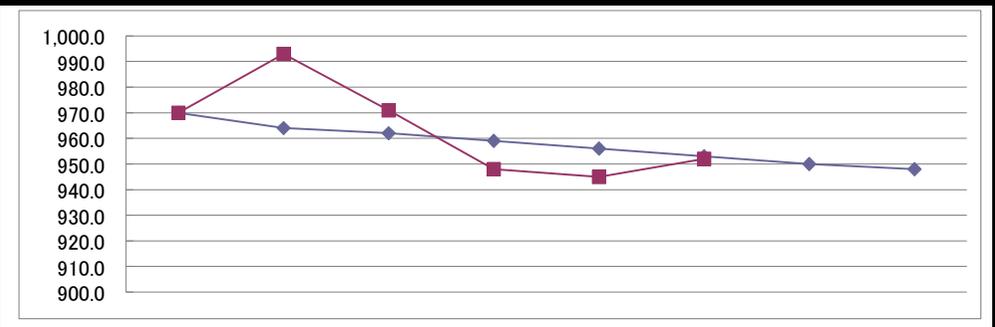
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

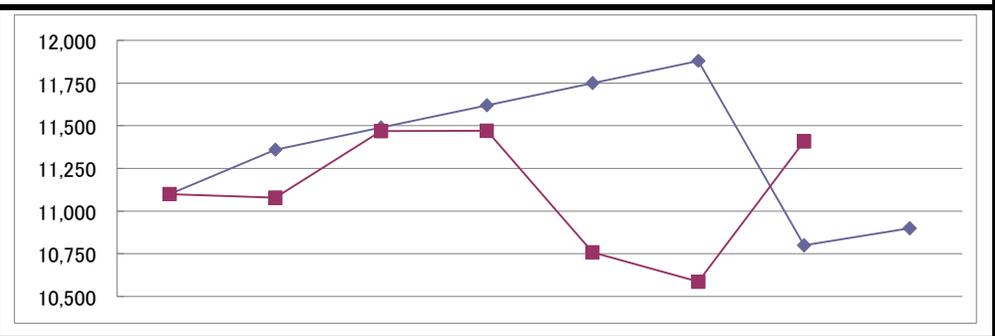
指標								単位	達成率
4-3	伐採面積（森林水産課）							ha	43.5%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	309	309	340	340	340	340	340	340	1
実績	309	260	321	312	390	283	148		
達成状況の分析	一時期に比べ木材価格は安定しているが、伐採面積及び伐採届件数が減少していることから、素材生産業者が市外へ活動地域を市外へ移しているのではないかと推測する。 【参考】伐採届件数 2021年度：833件、2022年度：683件、2023年度：420件								



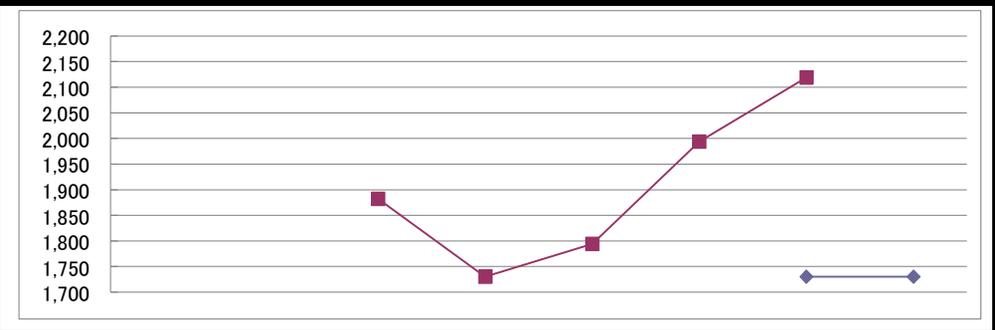
指標								単位	達成率
★ 5-1	市民1人1日あたりのごみ排出量（環境政策課）							g	99.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	970	964	962	959	956	953	950	948	4
実績	970	993	971	948	945	952	未確定		
達成状況の分析	2023年度実績未確定（6月確定予定） 【参考】2022年度達成率：100.1%								



指標								単位	達成率
5-2	事業系一般廃棄物収集運搬業許可業者契約件数（環境業務課）							件	105.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	11,100	11,360	11,490	11,620	11,750	11,880	10,800	10,900	5
実績	11,100	11,079	11,468	11,470	10,758	10,586	11,408		
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の影響により事業活動の停滞があったが、規制の基準変更等により事業活動が回復基調になったことにより増加したと思われる。								



指標								単位	達成率
6-1	刑法犯罪認知件数（地域安全課）							件	81.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
実績	-	-	1,882	1,730	1,794	1,994	2,119	1,730	3
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の感染状況の変化による人流の増加が一定程度影響したとみられる。								

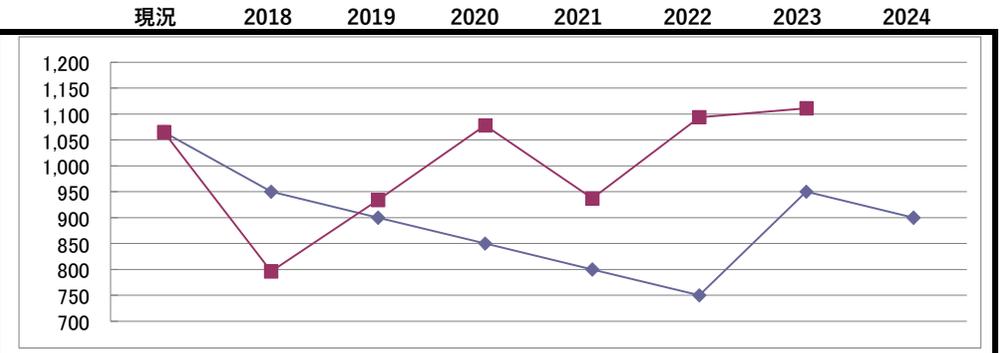


5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

指標								単位	達成率
6-2	犬猫に関する苦情件数（保健衛生課）							件	85.5%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	1,065	950	900	850	800	750	950	900	3
実績	1,065	796	934	1,078	937	1,094	1,111		
達成状況 の分析	「宮崎市動物との共生に関する条例」が施行され、動物愛護に対する関心が高まり、それに伴って指導を期待する市民からの苦情が増えたために、目標を達成することができなかった。								



総合 計画 体系	基本目標	1 良好な生活機能が確保されている都市（まち）
	重点項目	1-4 災害に強く、暮らしを支える「生活基盤の充実」
	指標関係課	危機管理課、環境施設課、消防局・予防課、消防局・指令課

1 主要施策 1-4-1 防災機能の充実 1-4-2 消防・救急体制の充実 1-4-3 生活インフラの維持・整備	2 市民意識調査（参考） Q：あなたは、災害に強く、暮らしを支える「生活基盤の充実」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>5.1%</td> <td>7.5%</td> <td>9.3%</td> <td>7.9%</td> <td>5.8%</td> <td>6.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>30.8%</td> <td>33.7%</td> <td>37.7%</td> <td>39.0%</td> <td>33.4%</td> <td>27.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>35.0%</td> <td>31.4%</td> <td>29.4%</td> <td>29.1%</td> <td>36.1%</td> <td>36.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>14.0%</td> <td>11.5%</td> <td>12.4%</td> <td>11.8%</td> <td>15.8%</td> <td>18.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>10.2%</td> <td>9.1%</td> <td>5.8%</td> <td>6.8%</td> <td>5.3%</td> <td>7.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>4.9%</td> <td>6.8%</td> <td>5.4%</td> <td>5.4%</td> <td>3.6%</td> <td>3.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	5.1%	7.5%	9.3%	7.9%	5.8%	6.9%		2	どちらかと言えば感じられる	30.8%	33.7%	37.7%	39.0%	33.4%	27.4%		3	どちらかと言えば感じられない	35.0%	31.4%	29.4%	29.1%	36.1%	36.2%		4	感じられない	14.0%	11.5%	12.4%	11.8%	15.8%	18.8%		5	いずれにも当てはまらない	10.2%	9.1%	5.8%	6.8%	5.3%	7.0%		6	無回答	4.9%	6.8%	5.4%	5.4%	3.6%	3.7%		計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	5.1%	7.5%	9.3%	7.9%	5.8%	6.9%																																																																		
2	どちらかと言えば感じられる	30.8%	33.7%	37.7%	39.0%	33.4%	27.4%																																																																		
3	どちらかと言えば感じられない	35.0%	31.4%	29.4%	29.1%	36.1%	36.2%																																																																		
4	感じられない	14.0%	11.5%	12.4%	11.8%	15.8%	18.8%																																																																		
5	いずれにも当てはまらない	10.2%	9.1%	5.8%	6.8%	5.3%	7.0%																																																																		
6	無回答	4.9%	6.8%	5.4%	5.4%	3.6%	3.7%																																																																		
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.9点 (31/8)</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">(参考：令和5年度内部評価)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>平均点</td> <td>4.5点 (36/8)</td> </tr> </table>	平均点	3.9点 (31/8)	平均点	4.5点 (36/8)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>a</td> </tr> </table>	内部評価結果	b	内部評価結果	a	<p style="text-align: center;">〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; min-height: 100px;"> <p>・取組がやや遅れている。</p> </div>	
平均点	3.9点 (31/8)										
平均点	4.5点 (36/8)										
内部評価結果	b										
内部評価結果	a										

4 外部評価		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: yellow;">外部評価結果</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> </tr> </table>	外部評価結果	B
外部評価結果	B	
<p>〔外部評価での主な意見（要約）（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・防災体制については、行政依存にならないよう、市民の行動変容も意識しながら、災害が起きた後、災害対応のプロである県内外のNPOや民間などの支援を受ける「受援力」の向上にも努められたい。 ・市民の意識が高まっているからこそ、より積極的な防災啓発情報の発信や「共助」のために必要な対応が求められているのではないか。 </div>		

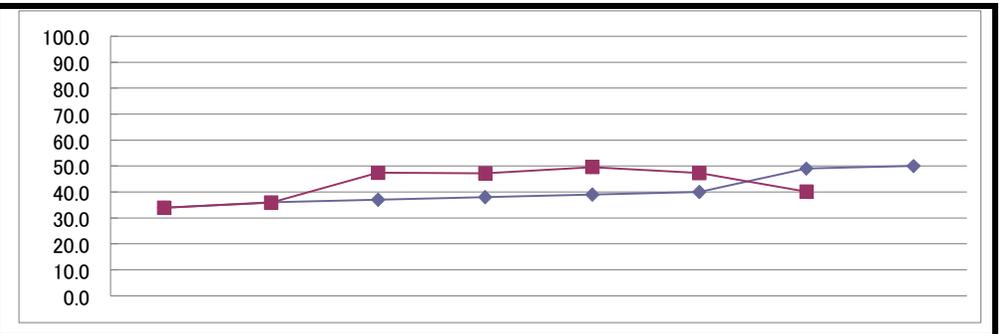
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

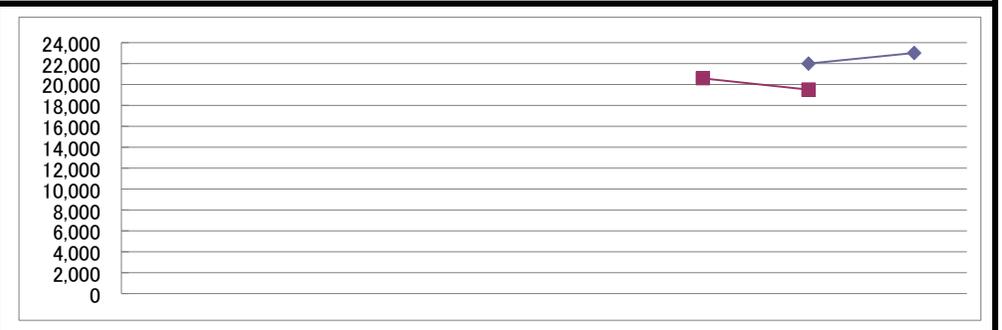
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

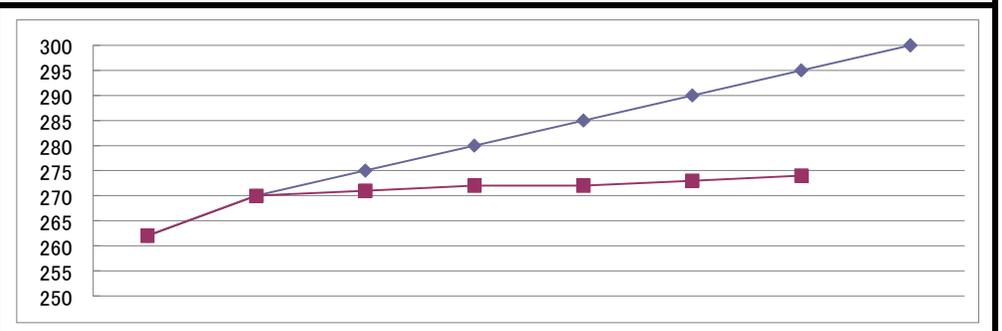
指標								単位	達成率
重点 「防災体制が整っている」と感じている人の割合（危機管理課）								%	81.8%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	33.9	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0	49.0	50.0	3
実績	33.9	35.9	47.4	47.2	49.6	47.3	40.1		
達成状況の分析	市公式SNSや防災アプリをはじめとする災害関連情報の伝達手段の多重化をはじめ、地域の環境整備支援や訓練といった「共助力の向上」に資する取組など、ハードのみならずソフト対策の推進を図っているものの、近年、毎年のように大規模な災害が発生し、全国各地で甚大かつ想定外の被害をもたらしていることで、市民の災害への危機意識が一層高まったことが要因の一つと考える。								



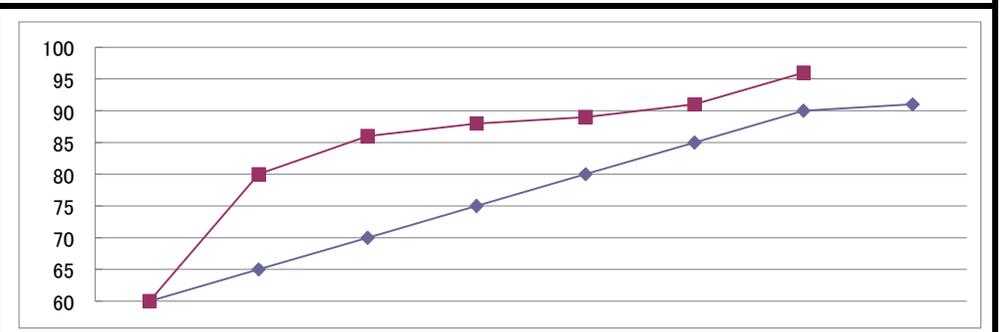
指標								単位	達成率
重点 宮崎市防災メール配信件数（危機管理課）								件	88.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	-	-	-	-	-	-	22,000	23,000	3
実績	-	-	-	-	-	20,589	19,493		
達成状況の分析	防災情報の伝達については、防災メールに限らず、市公式SNSや防災アプリ等、多様な手段で配信を開始したことや、スマートフォンの普及に伴い、防災メールの配信件数は今後、鈍化していく見込みである。								



指標								単位	達成率
1-1	一時避難ビルの指定数（危機管理課）							件	92.9%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	262	270	275	280	285	290	295	300	4
実績	262	270	271	272	272	273	274		
達成状況の分析	地域住民や関係課の情報提供により随時指定を行っているが、2023年度は指定4件、指定解除3件となり、目標を達成できなかった。前述のとおり新規の協定締結も行っているところであるが、建物の老朽化等による取り壊し等のため指定の解除となる場合もあり、指定件数の増加が厳しい現状である。今後も情報収集に努め、津波避難ビルの充実を図ってきたい。								



指標								単位	達成率
1-2	企業との災害協定締結数（危機管理課）							件	106.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	60	65	70	75	80	85	90	91	5
実績	60	80	86	88	89	91	96		
達成状況の分析	大規模災害時には、通信、交通、ライフラインなどあらゆる機能が停止するとの想定のもと、様々な分野の企業と情報・意見交換を通じて課題の認識を共有しながら、災害時協力協定の締結による官民連携体制の構築の推進が図れている。								



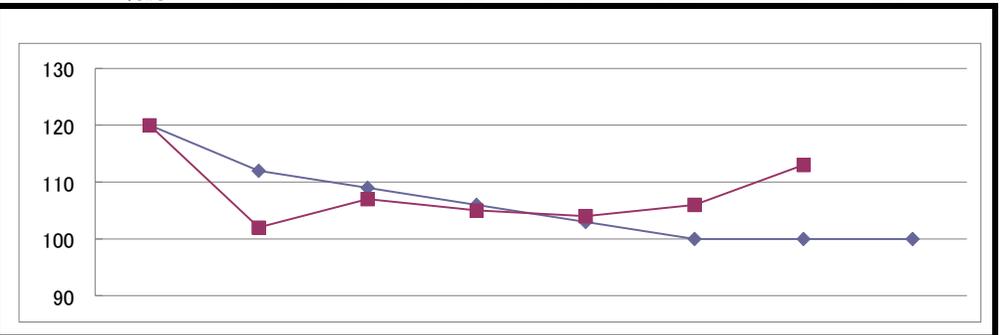
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

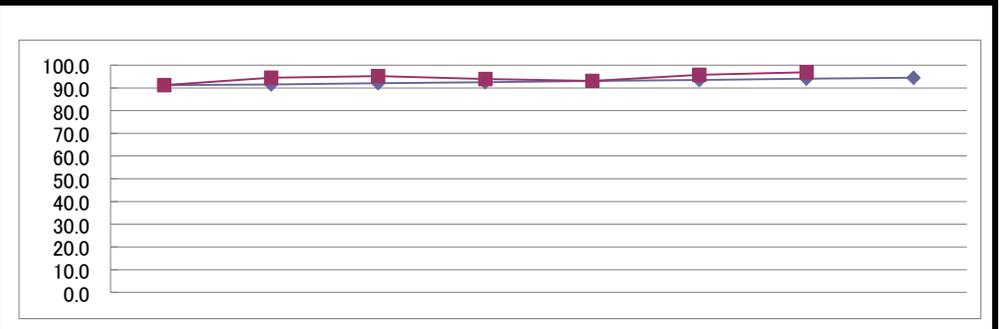
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

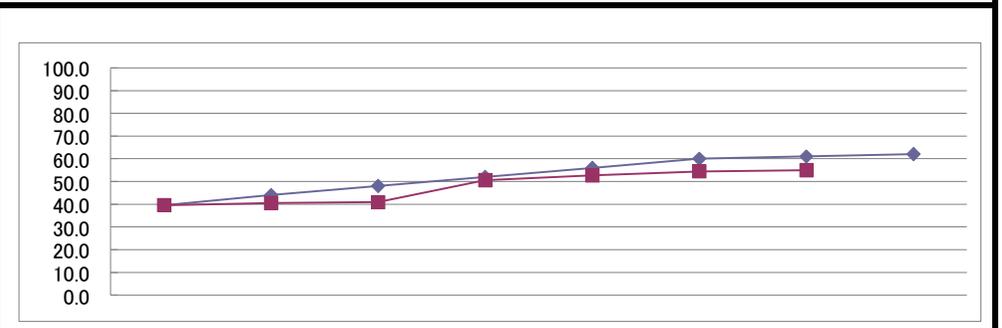
指標								単位	達成率
2-1	119番通報入電から救急出動指令までの時間（消防局・指令課）							秒	88.5%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	120	112	109	106	103	100	100	100	3
実績	120	102	107	105	104	106	113		
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症は収束したものの、119番通報及び救急出動件数が大幅な増加傾向にある（前年比 119番着信件数+3,756件、救急出動件数+1,959件）。そのため、真に救急車が必要な通報を見極める必要があることから、情報等の聞き取りに時間を要し目標を達成できなかった。今後においても、市民の方々に対し、あらゆる機会を捉え正しい119番通報と適正な救急車の利用について広報・啓発を行っていく。								



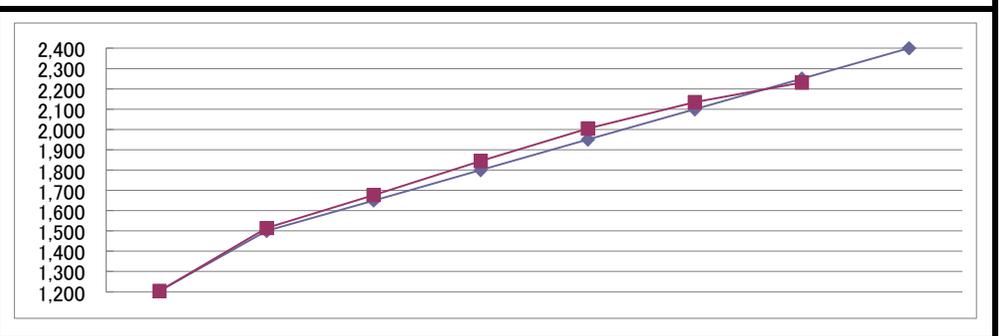
指標								単位	達成率
2-2	防火管理者の選任率（消防局・予防課）							%	103.1%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	91.2	91.5	92.0	92.5	93.0	93.5	94.0	94.5	5
実績	91.2	94.5	95.2	93.9	93.1	95.7	96.9		
達成状況の分析	防火管理講習会等を計画的に開催し、目標を達成することができた。								



指標								単位	達成率
2-3	住宅用火災警報器の作動点検率（消防局・予防課）							%	90.2%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	39.6	44.0	48.0	52.0	56.0	60.0	61.0	62.0	4
実績	39.6	40.5	40.9	50.6	52.7	54.5	55.0		
達成状況の分析	住宅用火災警報器の作動点検の必要性や維持管理について、市のホームページへの掲載、メディアの活用及び戸別訪問等を実施し、市民への広報を行ったが、目標を達成することができなかった。								



指標								単位	達成率
3-1	公設合併処理浄化槽設置基数（環境施設課）							件	99.2%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	1,204	1,500	1,650	1,800	1,950	2,100	2,250	2,400	4
実績	1,204	1,514	1,677	1,844	2,004	2,134	2,231		
達成状況の分析	2024年度から公営企業会計に切り替わるため、2023年度は法適用日の前日をもって従前の特別会計の会計年度を終了させ決算を打ち切る必要があったため、完成検査を早く締め切ったこと、また、新築の戸建て戸数の減少に伴い、目標を下回った。								



総合 計画 体系	基本目標	2 良好な地域社会が形成されている都市（まち）
	重点項目	2-1 地域に愛着や誇りをもつ「みやぎっ子の育成」
	指標関係課	学校施設課、学校教育課、教育情報研修センター

1 主要施策	2 市民意識調査（参考）																																																																								
2-1-1 学力向上の取組の推進 2-1-2 健やかな心身の育成 2-1-3 特別支援教育の充実 2-1-4 教職員の資質の向上 2-1-5 教育環境の充実と学校施設の利活用 2-1-6 地域と学校との連携の推進	Q：あなたは、地域に愛着や誇りをもつ「みやぎっ子の育成」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>5.5%</td> <td>7.5%</td> <td>7.1%</td> <td>8.0%</td> <td>4.9%</td> <td>7.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>29.2%</td> <td>31.1%</td> <td>34.0%</td> <td>32.3%</td> <td>32.0%</td> <td>31.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>31.3%</td> <td>28.8%</td> <td>28.5%</td> <td>29.9%</td> <td>31.4%</td> <td>33.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>12.1%</td> <td>11.5%</td> <td>12.7%</td> <td>13.9%</td> <td>18.1%</td> <td>13.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>16.6%</td> <td>14.3%</td> <td>11.3%</td> <td>10.0%</td> <td>9.6%</td> <td>10.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.3%</td> <td>6.8%</td> <td>6.4%</td> <td>5.9%</td> <td>4.0%</td> <td>3.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	5.5%	7.5%	7.1%	8.0%	4.9%	7.8%		2	どちらかと言えば感じられる	29.2%	31.1%	34.0%	32.3%	32.0%	31.6%		3	どちらかと言えば感じられない	31.3%	28.8%	28.5%	29.9%	31.4%	33.2%		4	感じられない	12.1%	11.5%	12.7%	13.9%	18.1%	13.3%		5	いずれにも当てはまらない	16.6%	14.3%	11.3%	10.0%	9.6%	10.2%		6	無回答	5.3%	6.8%	6.4%	5.9%	4.0%	3.9%		計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	5.5%	7.5%	7.1%	8.0%	4.9%	7.8%																																																																		
2	どちらかと言えば感じられる	29.2%	31.1%	34.0%	32.3%	32.0%	31.6%																																																																		
3	どちらかと言えば感じられない	31.3%	28.8%	28.5%	29.9%	31.4%	33.2%																																																																		
4	感じられない	12.1%	11.5%	12.7%	13.9%	18.1%	13.3%																																																																		
5	いずれにも当てはまらない	16.6%	14.3%	11.3%	10.0%	9.6%	10.2%																																																																		
6	無回答	5.3%	6.8%	6.4%	5.9%	4.0%	3.9%																																																																		
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.8点 (38/10)</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">(参考：令和5年度内部評価)</p> <table border="1" style="margin: 0 auto; border-style: dashed;"> <tr> <td>平均点</td> <td>4.0点 (40/10)</td> </tr> </table>	平均点	3.8点 (38/10)	平均点	4.0点 (40/10)	<table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin: 0 auto; border-style: dashed;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>a</td> </tr> </table>	内部評価結果	b	内部評価結果	a	<p style="text-align: center;">〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。 ・ただし、主要施策「2-1-3 特別支援教育の充実」、「2-1-4 教職員の資質の向上」、「2-1-5 教育環境の充実と学校施設の利活用」及び「2-1-6 地域と学校との連携の推進」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、主要施策「2-1-2 健やかな心身の育成」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。 </div>	
平均点	3.8点 (38/10)										
平均点	4.0点 (40/10)										
内部評価結果	b										
内部評価結果	a										

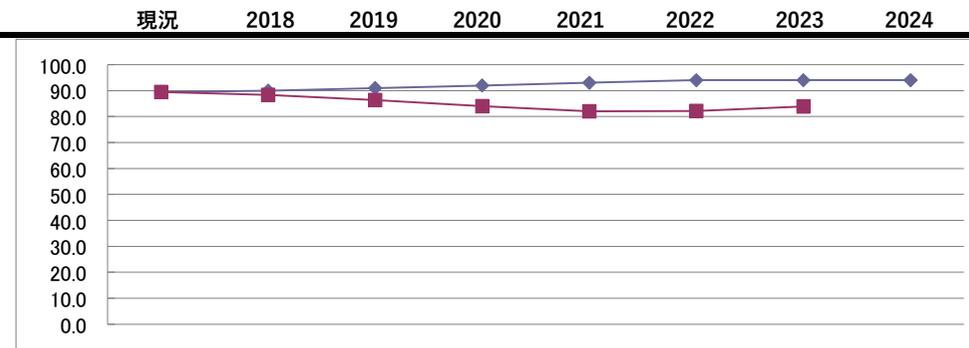
4 外部評価			
<table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr> <td style="background-color: yellow;">外部評価結果</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> </tr> </table>	外部評価結果	B	<p style="text-align: center;">〔外部評価での主な意見（要約）（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土料理や宮崎の農産物を知る活動など、幼児期に「食」を通じた経験が、将来の郷土愛や思い出につながっていくのではないかと。 ・将来の夢や目標がまだ定まっていない小学生の時期に、地域の保育園・幼稚園で幼い子どもと遊ぶ経験をする中で、「自分が役に立っている・必要とされている」と感じる経験をすることがとても大きな意味を持つと考える。みやぎっ子の育成は乳幼児期から始まっている。 </div>
外部評価結果	B		

5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

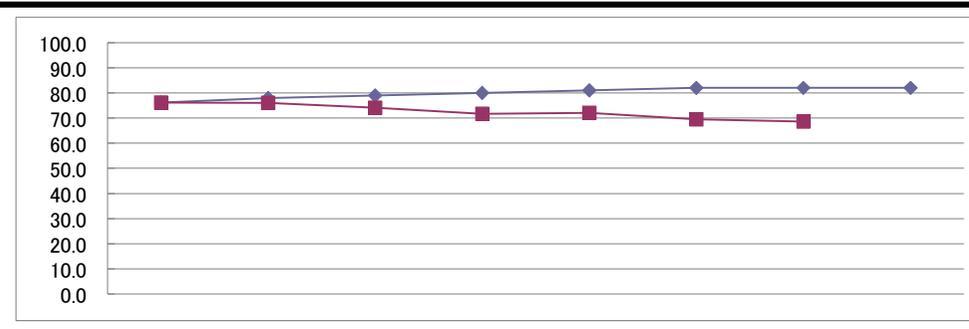
—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

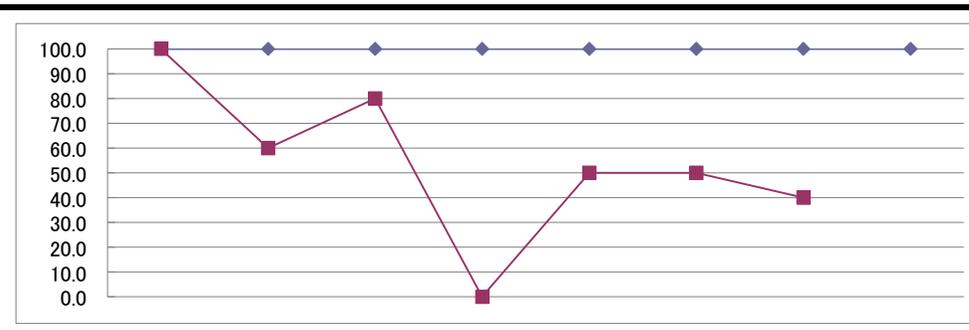
指標									単位	達成率
重点	将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合（小学生）（学校教育課）								%	89.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	89.5	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	94.0	94.0	3	
実績	89.5	88.4	86.4	84.0	82.0	82.2	83.9			
達成状況の分析	目標を達成することができなかった。しかし、新型コロナの5類移行に伴い、学校行事や地域資源を活用した取組等が推進され、実績は向上している。今後もキャリア教育推進アドバイザーを活用し、各企業、事業所等との連携を拡大していく。									



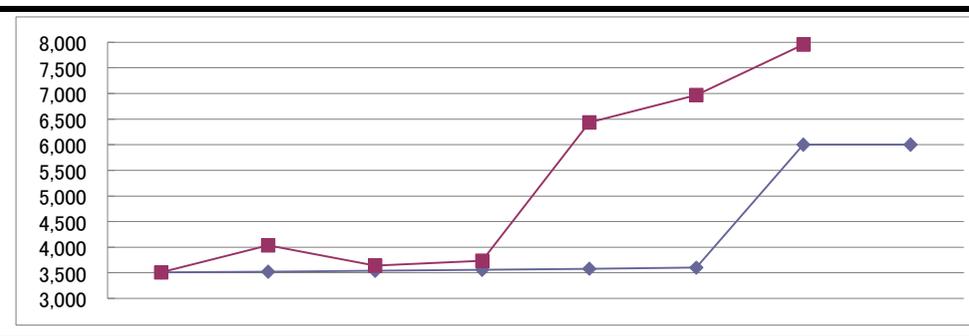
指標									単位	達成率
重点	将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合（中学生）（学校教育課）								%	83.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	76.2	78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	82.0	82.0	3	
実績	76.2	76.0	74.1	71.7	72.1	69.5	68.6			
達成状況の分析	目標を達成することができなかった。中学校は職業体験等をコロナ禍以前の状況に戻していくことに消極的である学校もある。今後もキャリア教育推進アドバイザーを活用し、各企業、事業所等との連携を拡大していくとともに、体験活動の事前・事後指導の充実を図る。									



指標									単位	達成率
1-1	全国学力・学習状況調査において、平均正答率が全国水準以上の教科区分数の割合（学校教育課）								%	40.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	1	
実績	100.0	60.0	80.0	-	50.0	50.0	40.0			
達成状況の分析	目標を達成することができなかった。平均正答率だけでなく、「学びに向かう力」、とりわけ「主体的に学習に取り組む態度」の低下がみられる。児童生徒の主体的な学習を推進し、児童生徒のアウトプットの割合が大きくなるように、各学校に働きかけていく。									



指標									単位	達成率
1-2	ICT支援員（旧：情報教育アドバイザー）の小学校への派遣回数（教育情報研修センター）								回	132.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	3,506	3,520	3,540	3,560	3,580	3,600	6,000	6,000	5	
実績	3,506	4,035	3,639	3,734	6,434	6,968	7,957			
達成状況の分析	2023年度は、定期派遣以外に、学校からの要望に対しての追加派遣依頼に対し、柔軟に対応できる体制を整えることができたため、小学校からの追加派遣依頼が多くなり、前年度よりも多くの派遣回数となった。									



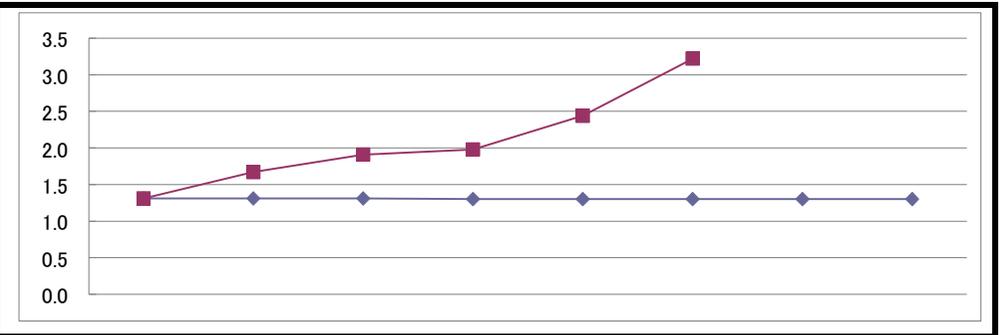
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

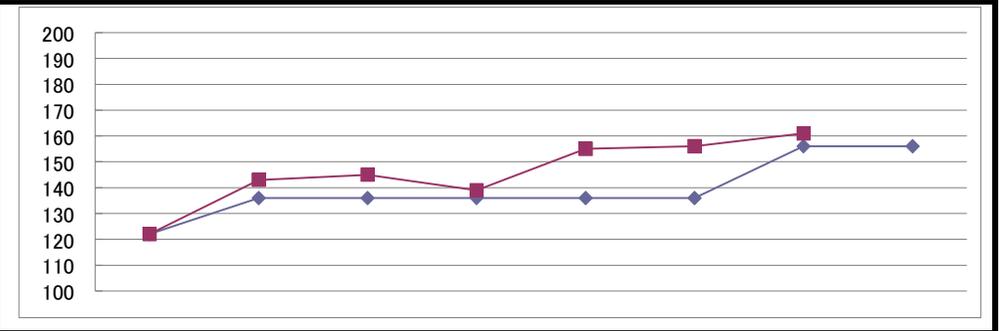
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

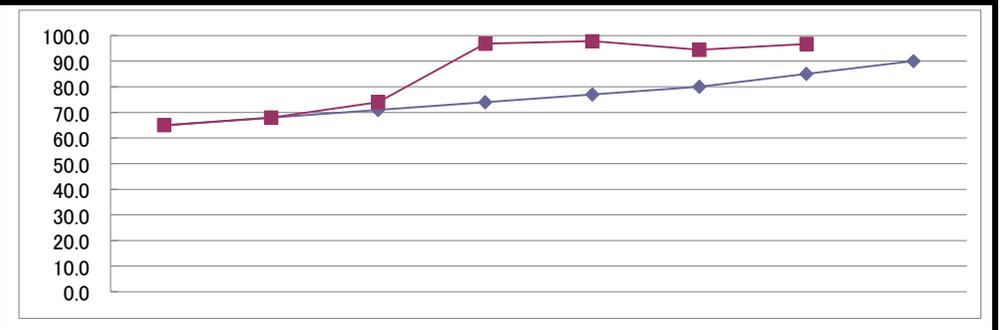
指標								単位	達成率
★ 2-1	不登校児童生徒の割合(学校教育課)							%	40.4%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1
実績	1.3	1.7	1.9	2.0	2.4	3.2	未確定		
達成状況 の分析	令和6年11月頃確定予定。【参考】2022年度達成率：40.4% 不登校児童生徒は増加傾向にあり、目標は達成できていない。不登校の要因が複雑化・多様化するとともに、学校以外の学びの場を選択するなど、様々な価値観も増加の一因として考えられる。								



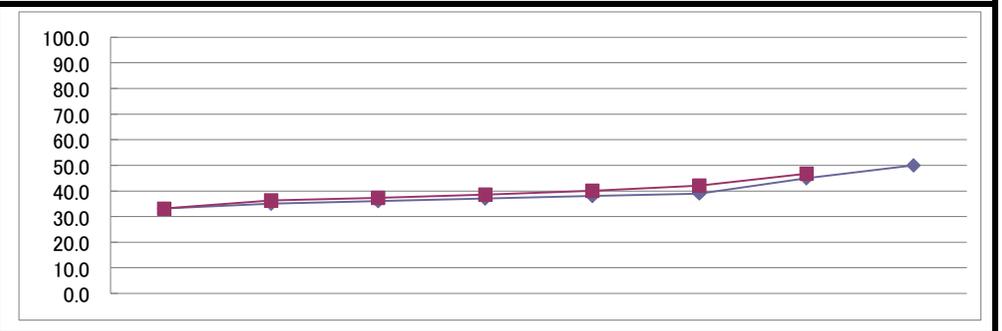
指標								単位	達成率
3-1	授業スタッフ、スクールサポーター、生活・学習アシスタントの配置人数(学校教育課)							人	103.2%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	122	136	136	136	136	136	156	156	5
実績	122	143	145	139	155	156	161		
達成状況 の分析	授業スタッフ、コーディネーターサポートスタッフ(2021年度～)やスクールサポーター、生活・学習アシスタントについて、各学校の実情に応じた配置をすることができた。インクルーシブ教育の観点より、今後も生活・学習アシスタントの人員増加が見込まれる。								



指標								単位	達成率
4-1	市の研修を受講後、学校で研修成果を生かした教職員の割合(教育情報研修センター)							%	113.8%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	65.0	68.0	71.0	74.0	77.0	80.0	85.0	90.0	5
実績	65.0	68.0	74.0	96.8	97.8	94.4	96.7		
達成状況 の分析	受講者のニーズに合う研修を提供できたことと、研修内容を学校で生かせるよう、研修の振り返りの在り方を見直したことが要因と考える。								



指標								単位	達成率
5-1	小・中学校のトイレの洋式化率(学校施設課)							%	103.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	33.1	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0	45.0	50.0	5
実績	33.1	36.3	37.3	38.6	40.1	42.1	46.7		
達成状況 の分析	トイレ洋式化推進事業(20校)に加えて、トイレ改修事業(3校)も実施した結果、目標を達成することができた。								



5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

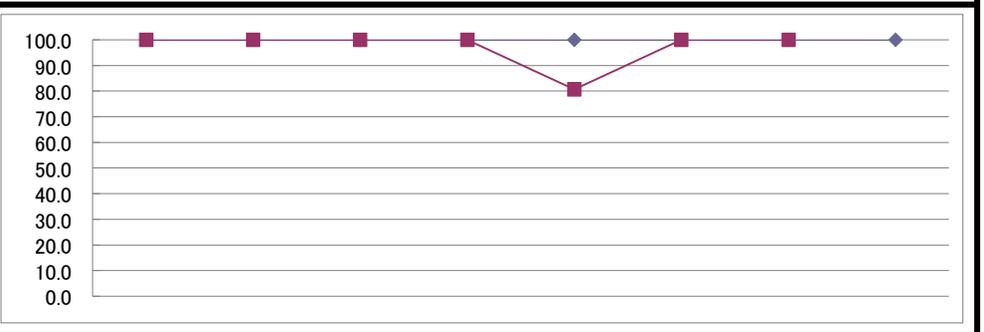
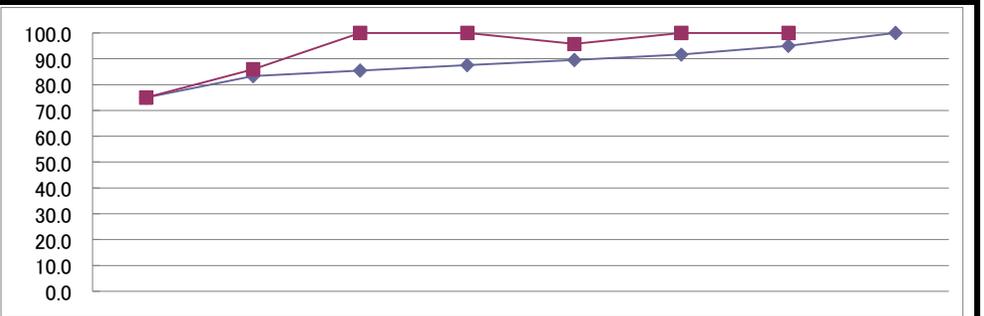
—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

指標									単位	達成率
6-1	地域人材や産業界と連携・協働したキャリア教育に取り組んでいる小・中学校の割合（小学校）（学校教育課）								%	105.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	75.0	83.3	85.4	87.5	89.5	91.6	95.0	100.0	5	
実績	75.0	85.9	100.0	100.0	95.7	100.0	100.0			
達成状況の分析	小学校は、発達段階に応じて、地域資源を活用し、特色のある授業を計画的に行っている。今後は児童生徒に夢や目標をもたせたり、地域に参画・貢献しようとする意思をもたせたりするための取組を推進する。									

指標									単位	達成率
6-1	地域人材や産業界と連携・協働したキャリア教育に取り組んでいる小・中学校の割合（中学校）（学校教育課）								%	100.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	5	
実績	100.0	100.0	100.0	100.0	80.7	100.0	100.0			
達成状況の分析	中学校も、年間指導計画に基づき、地域の人材・素材を生かし、職業的・勤労的な見方・考え方を育む学習を行っている。今後もキャリア教育推進アドバイザーを活用し、各校の設定した目標を達成させるための取組を維持・発展させていく。									

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024



総合 計画 体系	基本目標	2 良好な地域社会が形成されている都市（まち）
	重点項目	2-2 多様で自律性のあるコミュニティを形成する「地域力の向上」
	指標関係課	都市戦略課、危機管理課、地域コミュニティ課、文化・市民活動課、福祉総務課、地域包括ケア推進課、消防局・総務課

1 主要施策 2-2-1 地域コミュニティの活性化 2-2-2 地域福祉活動の充実 2-2-3 高齢者の生きがいの場の創出 2-2-4 地域防災の推進 2-2-5 移住・定住対策の推進	2 市民意識調査（参考） Q：あなたは、多様で自律性のあるコミュニティを形成する「地域力の向上」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>4.3%</td> <td>6.1%</td> <td>5.8%</td> <td>4.8%</td> <td>4.4%</td> <td>5.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>25.2%</td> <td>27.6%</td> <td>30.1%</td> <td>29.4%</td> <td>23.5%</td> <td>27.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>37.5%</td> <td>34.9%</td> <td>34.2%</td> <td>34.3%</td> <td>40.9%</td> <td>37.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>14.7%</td> <td>12.8%</td> <td>16.3%</td> <td>17.2%</td> <td>19.3%</td> <td>17.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>12.7%</td> <td>11.4%</td> <td>7.9%</td> <td>8.4%</td> <td>8.0%</td> <td>7.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.6%</td> <td>7.2%</td> <td>5.7%</td> <td>5.9%</td> <td>3.9%</td> <td>3.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	4.3%	6.1%	5.8%	4.8%	4.4%	5.7%		2	どちらかと言えば感じられる	25.2%	27.6%	30.1%	29.4%	23.5%	27.0%		3	どちらかと言えば感じられない	37.5%	34.9%	34.2%	34.3%	40.9%	37.7%		4	感じられない	14.7%	12.8%	16.3%	17.2%	19.3%	17.8%		5	いずれにも当てはまらない	12.7%	11.4%	7.9%	8.4%	8.0%	7.9%		6	無回答	5.6%	7.2%	5.7%	5.9%	3.9%	3.9%		計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	4.3%	6.1%	5.8%	4.8%	4.4%	5.7%																																																																		
2	どちらかと言えば感じられる	25.2%	27.6%	30.1%	29.4%	23.5%	27.0%																																																																		
3	どちらかと言えば感じられない	37.5%	34.9%	34.2%	34.3%	40.9%	37.7%																																																																		
4	感じられない	14.7%	12.8%	16.3%	17.2%	19.3%	17.8%																																																																		
5	いずれにも当てはまらない	12.7%	11.4%	7.9%	8.4%	8.0%	7.9%																																																																		
6	無回答	5.6%	7.2%	5.7%	5.9%	3.9%	3.9%																																																																		
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.9点 (54/14)</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">(参考：令和5年度内部評価)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.6点 (51/14)</td> </tr> </table>	平均点	3.9点 (54/14)	平均点	3.6点 (51/14)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table>	内部評価結果	b	内部評価結果	b	<p style="text-align: center;">〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。 ・ただし、重点目標の「移住センターが関与した移住世帯の3年後の定着率」及び主要施策「2-2-2 地域福祉活動の充実」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、主要施策「2-2-3 高齢者の生きがいの場の創出」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。 	
平均点	3.9点 (54/14)										
平均点	3.6点 (51/14)										
内部評価結果	b										
内部評価結果	b										

4 外部評価				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>外部評価結果</td> <td>B</td> </tr> </table>	外部評価結果	B	<p>〔外部評価での主な意見（要約）（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入に関しては、「メリット」の説明だけでなく、なにかしらの「インセンティブ」が必要ではないか。 ・「市の登録料の助成を受けた防災士の数」について、助成の有無と防災士全体の数に関連性がないのであれば助成要件を厳しくする、関連性があるなら助成要件の見直しを行う対応が必要ではないか。 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入に関しては、「メリット」の説明だけでなく、なにかしらの「インセンティブ」が必要ではないか。 ・「市の登録料の助成を受けた防災士の数」について、助成の有無と防災士全体の数に関連性がないのであれば助成要件を厳しくする、関連性があるなら助成要件の見直しを行う対応が必要ではないか。
外部評価結果	B			
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入に関しては、「メリット」の説明だけでなく、なにかしらの「インセンティブ」が必要ではないか。 ・「市の登録料の助成を受けた防災士の数」について、助成の有無と防災士全体の数に関連性がないのであれば助成要件を厳しくする、関連性があるなら助成要件の見直しを行う対応が必要ではないか。 				

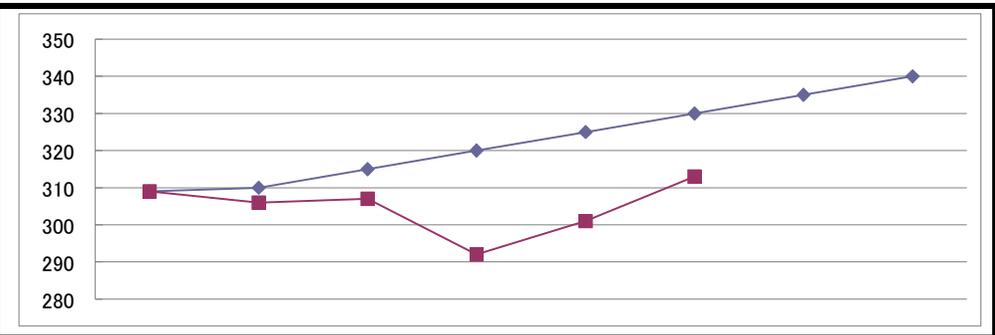
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

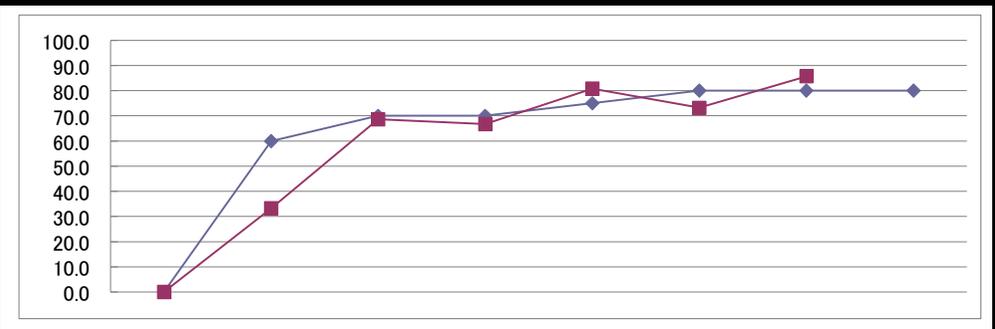
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

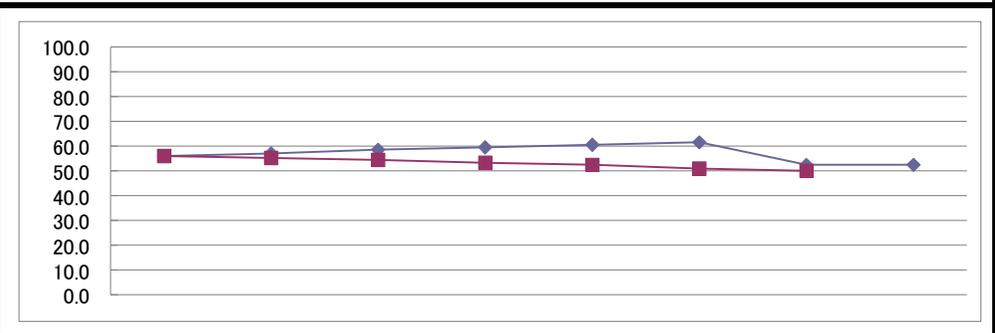
指標								単位	達成率
★ 重点	協働で行われている事業の数（文化・市民活動課）							事業	93.4%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	309	310	315	320	325	330	335	340	4
実績	309	306	307	292	301	313	未確定		
達成状況 の分析	2023年度実績未確定（6月確定予定） 【参考】2022年度達成率：94.8%								



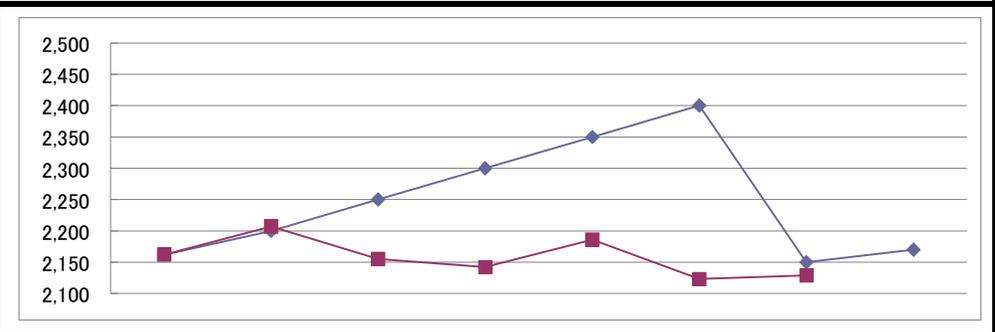
指標								単位	達成率
重点	移住センターが関与した移住世帯の3年後の定着率（都市戦略課）							%	107.1%
	-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	-	60.0	70.0	70.0	75.0	80.0	80.0	80.0	5
実績	-	33.3	68.6	66.7	80.8	73.2	85.7		
達成状況 の分析	移住者に対してきめ細かなフォローを行うことができ、目標を達成することができた。								



指標								単位	達成率
1-1	自治会加入率（地域コミュニティ課）							%	95.4%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	56.0	57.0	58.5	59.5	60.5	61.5	52.4	52.4	4
実績	56.0	55.2	54.4	53.2	52.4	50.9	50.0		
達成状況 の分析	宮崎市自治会連合会と連携し、未加入者対策補助金の支給等の事業に取り組むほか、転入窓口で自治会加入を積極的に呼びかけているが、地域に関する関心や住民相互のつながりも希薄化し、自治会加入世帯数の減少が続いている。								



指標								単位	達成率
1-2	地域まちづくり推進委員会の委員数（地域コミュニティ課）							人	99.0%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	2,162	2,200	2,250	2,300	2,350	2,400	2,150	2,170	4
実績	2,162	2,207	2,155	2,142	2,186	2,123	2,129		
達成状況 の分析	概ね2,100名から2,200名の間で推移している。2025年度（令和7年度）から地域まちづくり推進委員会を中心とした多様な主体による地域まちづくりに移行することから、新たな人材の発掘、育成に取り組んでいく。								



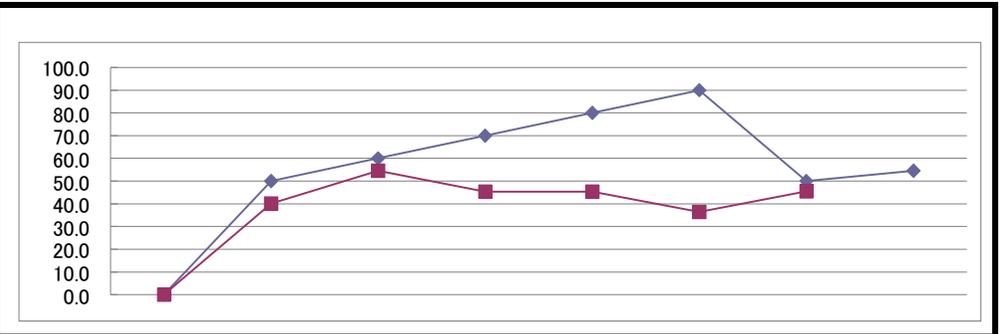
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

◆ 目標 ■ 実績

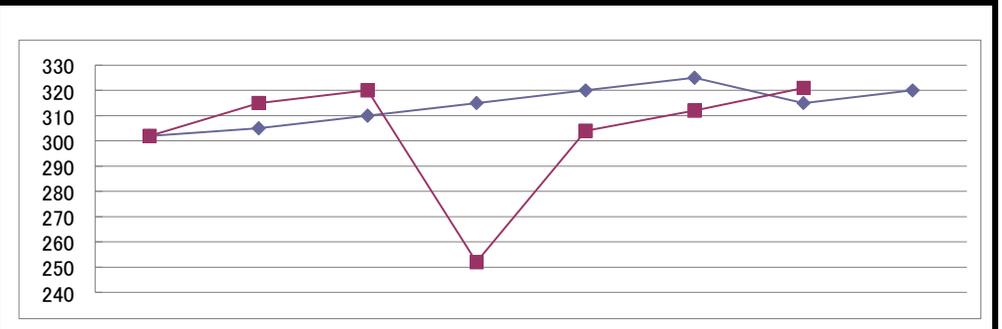
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

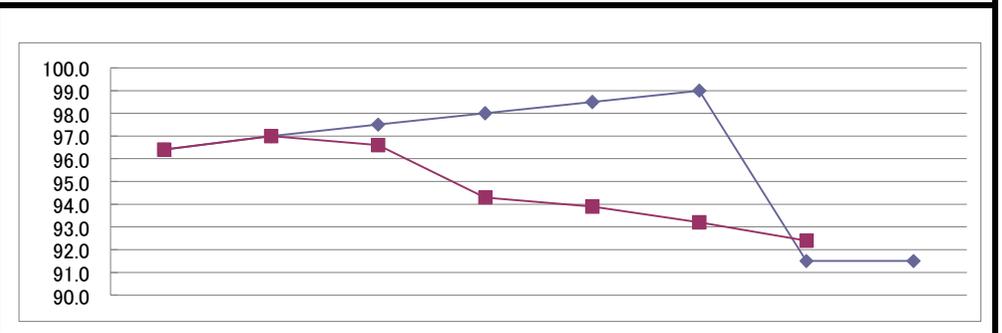
指標								単位	達成率
1-3	地域魅力発信プランの実現率（地域コミュニティ課）							%	91.0%
	-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	-	50.0	60.0	70.0	80.0	90.0	50.0	54.5	4
実績	-	40.1	54.5	45.4	45.4	36.4	45.5		
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行したことにより、各地域での取組は活発になってきており、コロナ禍以前に戻りつつある。								



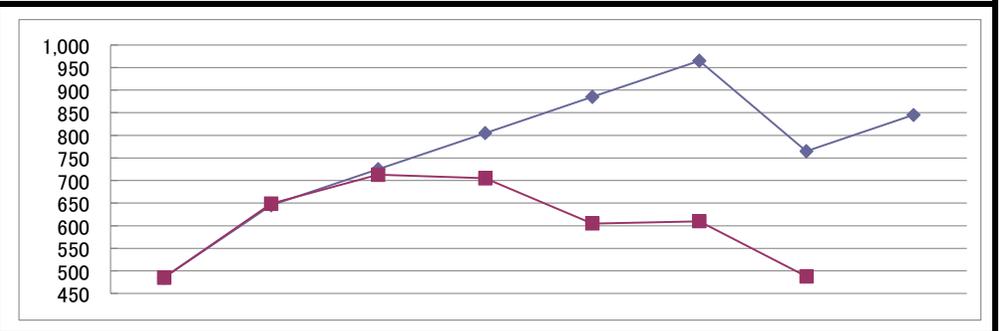
指標								単位	達成率
2-1	地区社会福祉協議会が実施した地域福祉活動事業の数（福祉総務課）							件	101.9%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	302	305	310	315	320	325	315	320	5
実績	302	315	320	252	304	312	321		
達成状況の分析	前年度と同様の活動事業を行った。2023年度の目標は達成できた。								



指標								単位	達成率
2-2	民生委員・児童委員の充足率（福祉総務課）							%	101.0%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	96.4	97.0	97.5	98.0	98.5	99.0	91.5	91.5	5
実績	96.4	97.0	96.6	94.3	93.9	93.2	92.4		
達成状況の分析	民生委員・児童委員の充足率は下がっていているが、目標値は達成できた。 【参考】2023年度：民生委員632名、主任児童委員52名 計684名（定数：740名） 【参考】2022年度：民生委員636名、主任児童委員54名 計690名（定数：740名）								



指標								単位	達成率
3-1	シニア応援ボランティアの登録者数（地域包括ケア推進課）							人	63.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	485	645	725	805	885	965	765	845	2
実績	485	649	713	705	605	610	488		
達成状況の分析	2023年度中の登録者数は最大644人であったが、今後の登録意向調査を行った結果、最終実績は488人となった。なお、実際の活動者数は、2022年度の106人（延べ976人）から2023年度は228人（延べ1,042人）と2倍以上に増加しており、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行したことで、徐々に活動が活発になりつつある。								



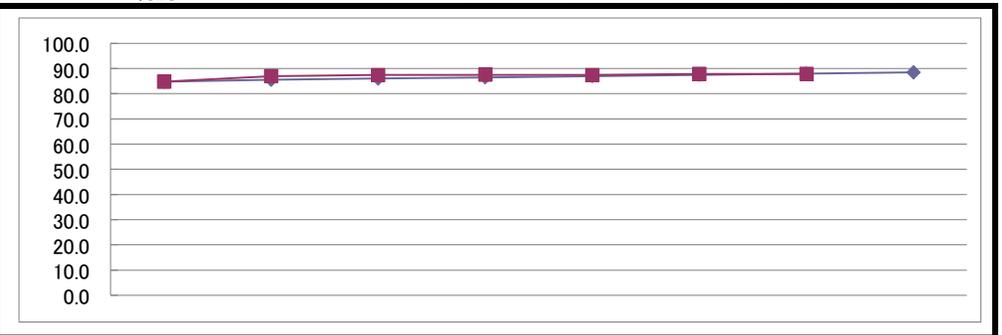
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

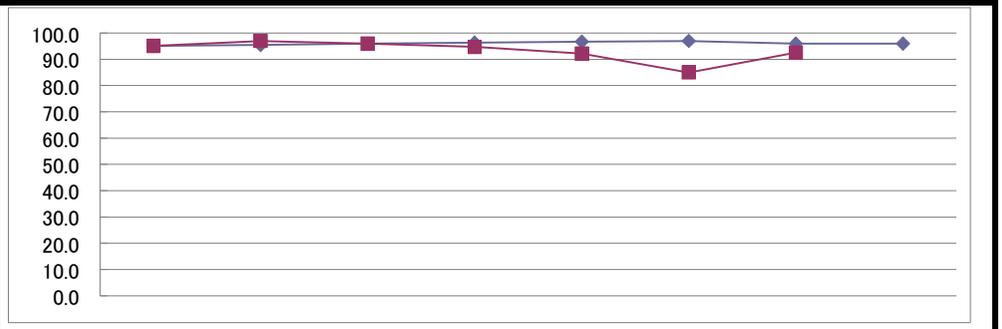
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

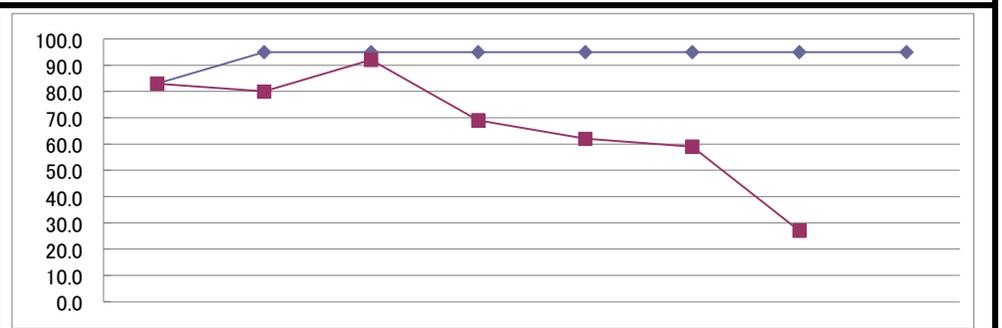
指標								単位	達成率
4-1	自主防災組織の結成率（危機管理課）							%	99.9%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	84.8	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	88.0	88.5	4
実績	84.8	87.0	87.4	87.5	87.4	87.8	87.9		
達成状況の分析	自治会加入者の高齢化等による自主防災組織の解散もあり、目標値へ届かなかったと考えられる。								



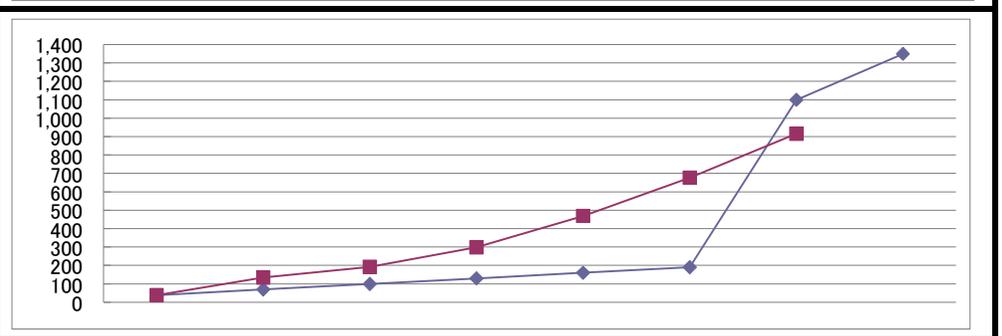
指標								単位	達成率
4-2	消防団員充足率（消防局・総務課）							%	96.5%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	95.1	95.5	96.0	96.3	96.7	97.0	96.0	96.0	4
実績	95.1	97.0	96.0	94.7	92.2	85.0	92.6		
達成状況の分析	条例で定める消防団員の定数を地域の実情に応じた形で見直しを図ることにより、昨年度よりも充足率が上昇したが、目標値までは到達しなかった。								



指標								単位	達成率
4-3	市の登録料の助成を受けた防災士の数（危機管理課）							人	28.4%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	83	95	95	95	95	95	95	95	1
実績	83	80	92	69	62	59	27		
達成状況の分析	年齢制限や補助要件の追加等により申請者数が伸びなかったと考えられる。								



指標								単位	達成率
5-1	移住センターが関与した移住世帯数（累計）（都市戦略課）							世帯	83.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	38	70	100	130	160	190	1,100	1,350	3
実績	38	134	192	299	469	677	916		
達成状況の分析	移住支援金の周知による問い合わせや申請の増加、きめ細かな相談対応により、新たに239世帯（455人）が移住したが、目標を達成できなかった。 【参考】2022年度移住世帯数208世帯（388人）								



5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

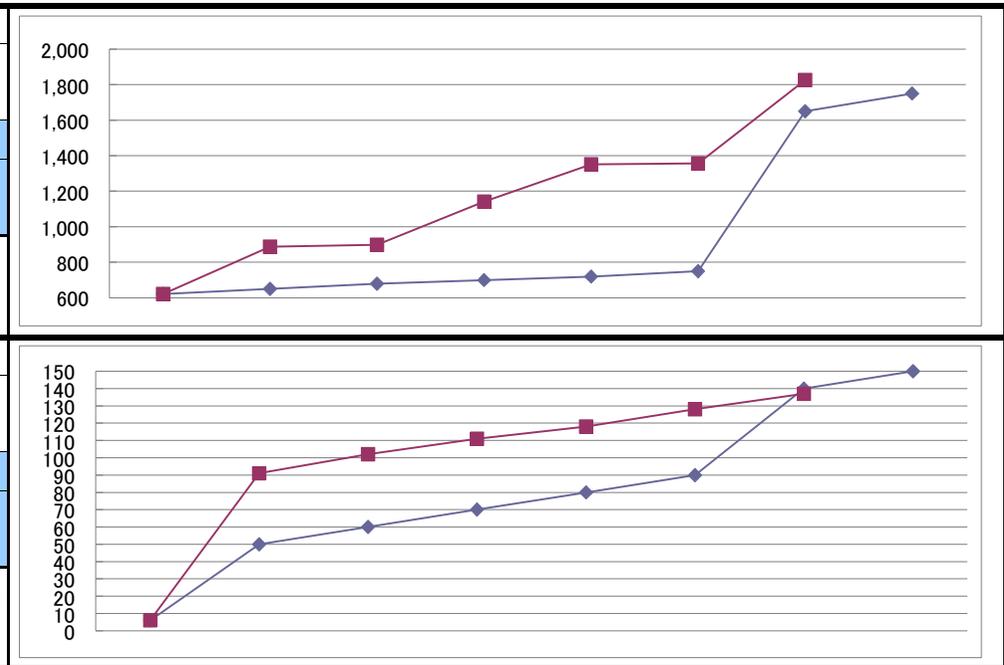
— 目標 — 実績

↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標								単位	達成率
5-2	移住センターにおける移住希望者の相談件数（都市戦略課）							件	110.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	622	650	680	700	720	750	1,650	1,750	5
実績	622	888	899	1,141	1,351	1,357	1,826		
達成状況の分析	移住支援金の相談件数の割合が全体の69.8%を占めており、移住支援金制度の周知や内容の拡充が寄与したことで、目標を達成できた。								

指標								単位	達成率
5-3	移住アンバサダーの登録件数（都市戦略課）							件	97.9%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	6	50	60	70	80	90	140	150	4
実績	6	91	102	111	118	128	137		
達成状況の分析	移住アンバサダーによる事業者への登録の呼びかけや、移住センターによるアンバサダー制度の周知を行ったが、目標を達成することができなかった。								



総合 計画 体系	基本目標	2 良好な地域社会が形成されている都市（まち）
	重点項目	2-3 一人一人が尊重され、生き生きと暮らせる「共生社会の確立」
	指標関係課	国際政策課、総務法制課、人事課、地域コミュニティ課、文化・市民活動課、スポーツランド推進課、生涯学習課、文化財課

1 主要施策 2-3-1 人権尊重・男女共同参画の推進 2-3-2 生涯学習の機会の提供 2-3-3 文化芸術の振興や市民スポーツの推進 2-3-4 国際交流と多文化共生の推進	2 市民意識調査（参考） Q：あなたは、一人一人が尊重され、生き生きと暮らせる「共生社会の確立」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>3.7%</td> <td>5.3%</td> <td>5.4%</td> <td>4.2%</td> <td>3.0%</td> <td>6.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>22.1%</td> <td>25.5%</td> <td>25.4%</td> <td>25.5%</td> <td>21.8%</td> <td>23.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>38.3%</td> <td>37.1%</td> <td>36.4%</td> <td>36.1%</td> <td>40.9%</td> <td>37.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>17.8%</td> <td>13.8%</td> <td>18.2%</td> <td>18.5%</td> <td>22.2%</td> <td>19.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>12.8%</td> <td>12.2%</td> <td>8.7%</td> <td>9.5%</td> <td>8.5%</td> <td>9.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.3%</td> <td>6.1%</td> <td>5.9%</td> <td>6.2%</td> <td>3.7%</td> <td>4.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	3.7%	5.3%	5.4%	4.2%	3.0%	6.3%		2	どちらかと言えば感じられる	22.1%	25.5%	25.4%	25.5%	21.8%	23.8%		3	どちらかと言えば感じられない	38.3%	37.1%	36.4%	36.1%	40.9%	37.2%		4	感じられない	17.8%	13.8%	18.2%	18.5%	22.2%	19.5%		5	いずれにも当てはまらない	12.8%	12.2%	8.7%	9.5%	8.5%	9.2%		6	無回答	5.3%	6.1%	5.9%	6.2%	3.7%	4.0%		計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	3.7%	5.3%	5.4%	4.2%	3.0%	6.3%																																																																		
2	どちらかと言えば感じられる	22.1%	25.5%	25.4%	25.5%	21.8%	23.8%																																																																		
3	どちらかと言えば感じられない	38.3%	37.1%	36.4%	36.1%	40.9%	37.2%																																																																		
4	感じられない	17.8%	13.8%	18.2%	18.5%	22.2%	19.5%																																																																		
5	いずれにも当てはまらない	12.8%	12.2%	8.7%	9.5%	8.5%	9.2%																																																																		
6	無回答	5.3%	6.1%	5.9%	6.2%	3.7%	4.0%																																																																		
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.6点 (43/12)</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">(参考：令和5年度内部評価)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.2点 (38/12)</td> </tr> </table>	平均点	3.6点 (43/12)	平均点	3.2点 (38/12)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table>	内部評価結果	b	内部評価結果	b	<p style="text-align: center;">〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。 ・ただし、重点目標の「「スポーツ等の運動に親しめる環境にある」と思う人の割合」及び主要施策「2-3-4 国際交流と多文化共生の推進」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、重点目標の「「一人一人がお互いを理解し、尊重し合う社会である」と思う人の割合」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。 	
平均点	3.6点 (43/12)										
平均点	3.2点 (38/12)										
内部評価結果	b										
内部評価結果	b										

4 外部評価		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>外部評価結果</td> <td>B</td> </tr> </table>	外部評価結果	B
外部評価結果	B	
<p>〔外部評価での主な意見（要約）（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・「市が設置する審議会、委員会等における女性委員の割合」が目標に届かなかったが、まだ取り組める余地があるのではないかと。 ・LGBTQなどの人権尊重の考え方は市民に浸透してきているように思う。また、生涯学習の機会も増えていると感じている。国際交流に関しては、他県よりインバウンドが少ない状況のため、MICEなどを通じた交流事業等、こういった国際交流ができるのかを考えて欲しい。 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・「市が設置する審議会、委員会等における女性委員の割合」が目標に届かなかったが、まだ取り組める余地があるのではないかと。 ・LGBTQなどの人権尊重の考え方は市民に浸透してきているように思う。また、生涯学習の機会も増えていると感じている。国際交流に関しては、他県よりインバウンドが少ない状況のため、MICEなどを通じた交流事業等、こういった国際交流ができるのかを考えて欲しい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「市が設置する審議会、委員会等における女性委員の割合」が目標に届かなかったが、まだ取り組める余地があるのではないかと。 ・LGBTQなどの人権尊重の考え方は市民に浸透してきているように思う。また、生涯学習の機会も増えていると感じている。国際交流に関しては、他県よりインバウンドが少ない状況のため、MICEなどを通じた交流事業等、こういった国際交流ができるのかを考えて欲しい。 		

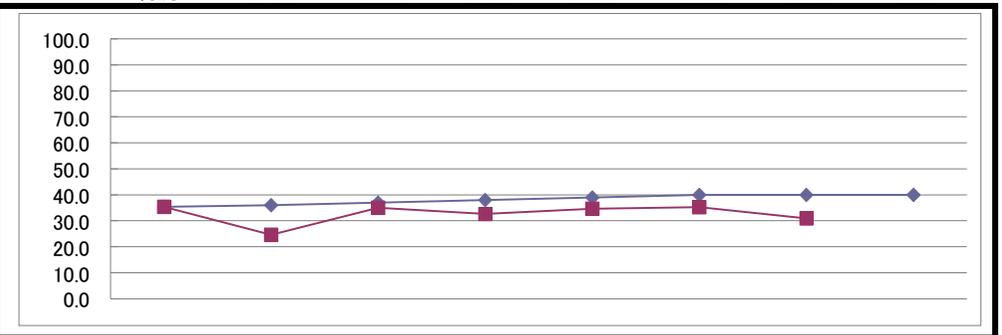
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

◆目標 ■実績

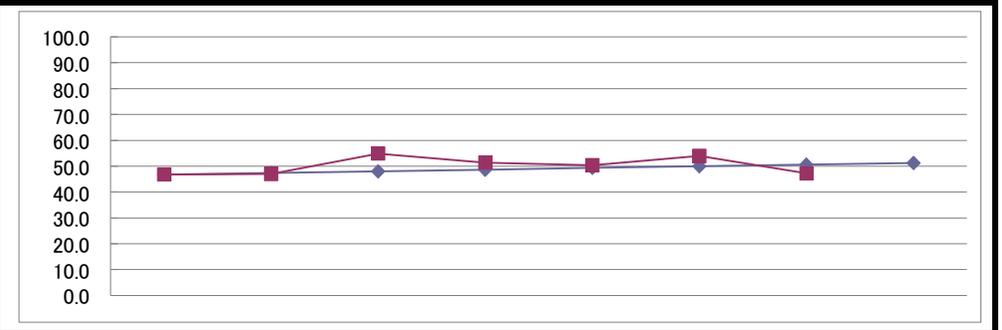
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

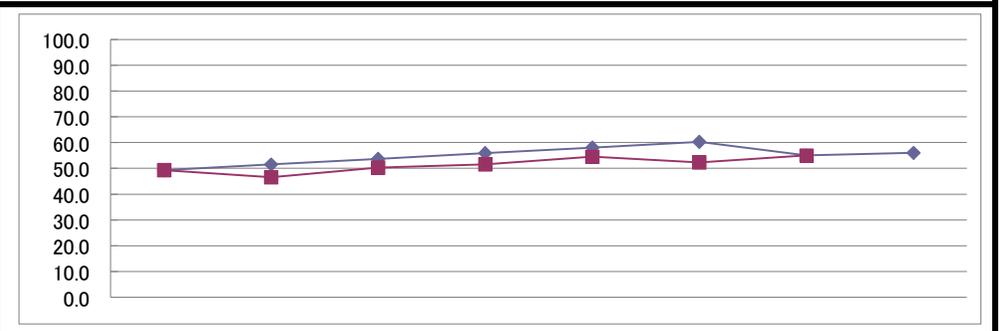
指標									単位	達成率
重点	「一人一人がお互いを理解し、尊重し合う社会である」と思う人の割合（総務法制課）								%	77.3%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	35.4	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0	40.0	40.0	2
実績	35.4	24.6	35.0	32.6	34.6	35.2	30.9			
達成状況の分析	人権の尊重について、映画の上映やパネル展の実施、講演会などを行ったが、目標を達成することができなかった。									



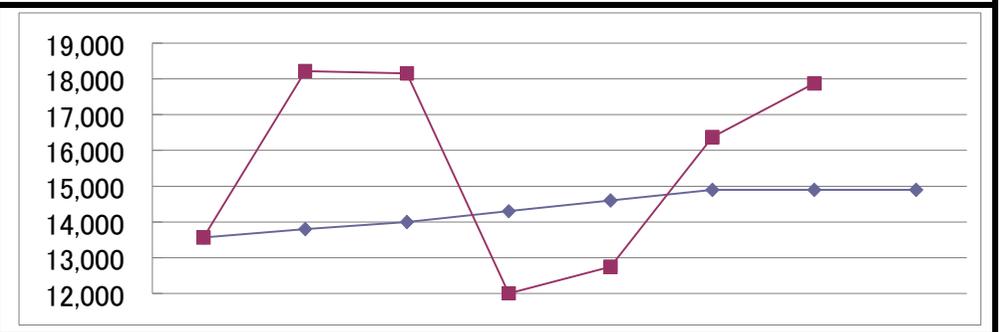
指標									単位	達成率
重点	文化芸術を通して、心豊かに暮らす人の割合（文化・市民活動課）								%	93.3%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	46.8	47.4	48.0	48.6	49.4	50.0	50.6	51.2	4
実績	46.8	47.0	54.9	51.4	50.4	54.0	47.2			
達成状況の分析	本市としてはこれまでどおり、芸術文化団体に対する補助など文化芸術の活動支援等を行っているが、市内の文化芸術施設の大改修による休館により、活動の場所が制限された影響があると思われる。 【参考】2022年度改修：市民プラザ、2023年度改修：県立芸術劇場									



指標									単位	達成率
重点	「スポーツ等の運動に親しめる環境にある」と思う人の割合（スポーツランド推進課）								%	100.0%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	49.3	51.5	53.7	55.9	58.1	60.3	55.0	56.0	5
実績	49.3	46.5	50.3	51.5	54.5	52.3	55.0			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行したことにより、スポーツ等の運動に親しめる環境にあると回答した人の増につながった。									



指標									単位	達成率
1-1	市男女共同参画センター利用者数（文化・市民活動課）								人	119.9%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	13,564	13,800	14,000	14,300	14,600	14,900	14,900	14,900	5
実績	13,564	18,216	18,150	12,006	12,747	16,372	17,870			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止の目的での食事等の一部制限や閉館、利用人数制限等は行わなかったため、従前の利用者数に戻りつつある。									



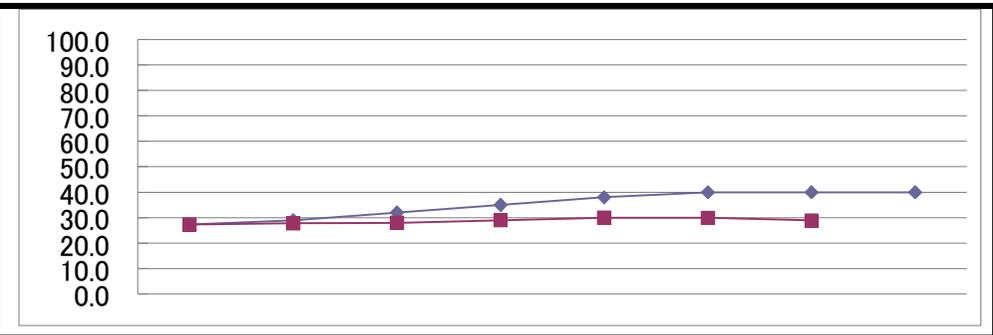
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

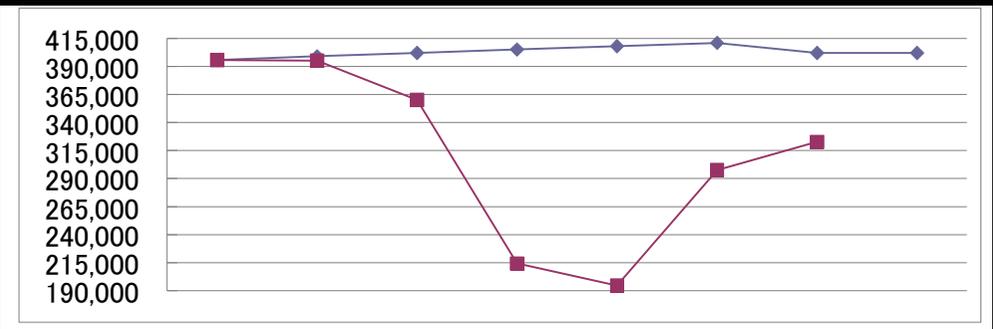
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

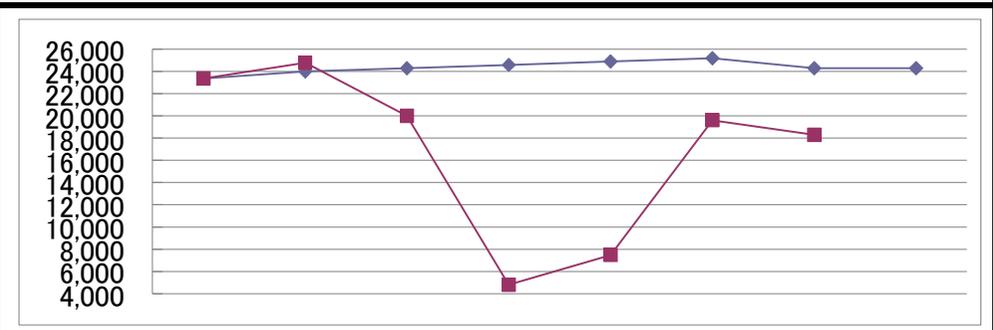
指標								単位	達成率
1-2	市が設置する審議会、委員会等における女性委員の割合（人事課）							%	72.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	27.3	29.0	32.0	35.0	38.0	40.0	40.0	40.0	2
実績	27.3	27.8	28.0	29.0	30.0	29.9	28.9		
達成状況の分析	委員の選任にあたっては、人事課と所管課で事前協議を行い、必要に応じ女性の積極的な登用を求め等したものの、目標を達成するまでには至らなかった。								



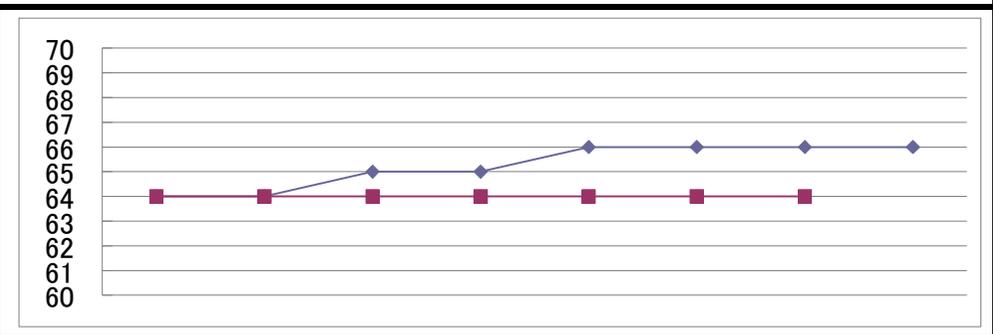
指標								単位	達成率
2-1	生涯学習活動による公立公民館等の利用者数（生涯学習課、地域コミュニティ課）							人	80.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	395,614	399,000	402,000	405,000	408,000	411,000	402,000	402,000	3
実績	395,614	395,148	360,145	214,314	194,571	297,566	322,721		
達成状況の分析	コロナ禍の利用者減は2022年度、2023年度と増加傾向に転じ、コロナ禍前に戻つつある。								



指標								単位	達成率
3-1	市民が企画運営する文化イベントに係る参加者数（文化・市民活動課）							人	75.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	23,386	24,000	24,300	24,600	24,900	25,200	24,300	24,300	2
実績	23,386	24,781	20,009	4,791	7,478	19,617	18,294		
達成状況の分析	宮崎市民プラザの大規模改修により練習室等も閉鎖されたことや、新型コロナウイルス感染症の影響により、2023年度に行うイベントの準備や練習が制限されたため、2023年度のイベント参加者数に影響が出たと考えられる。								



指標								単位	達成率
3-2	民俗芸能登録団体数（文化財課）							団体	97.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	64	64	65	65	66	66	66	66	4
実績	64	64	64	64	64	64	64		
達成状況の分析	数年間、新型コロナウイルス感染症のために団体の活動が停滞し、感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行後の現在もなかなか積極的な伝承活動を行うことができていない。そのため登録団体数も増加せず、昨年度と同数に留まった。								



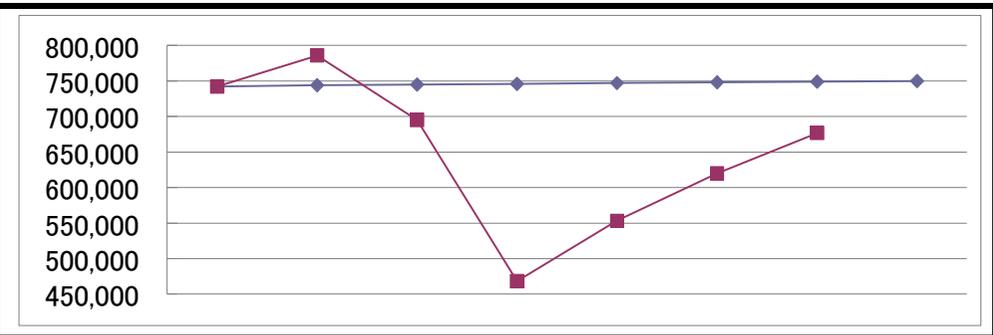
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

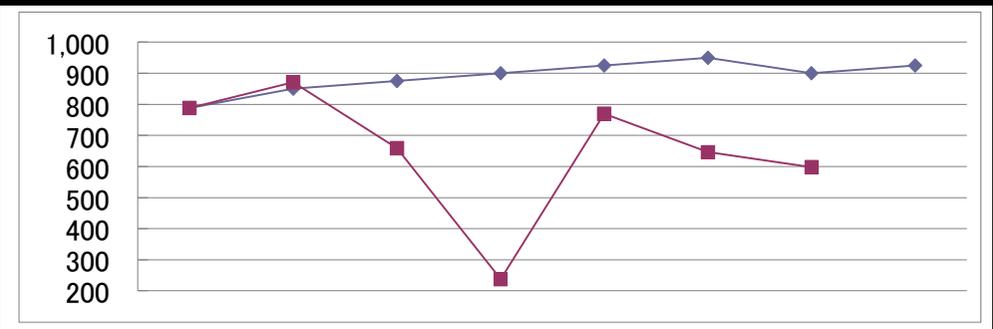
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

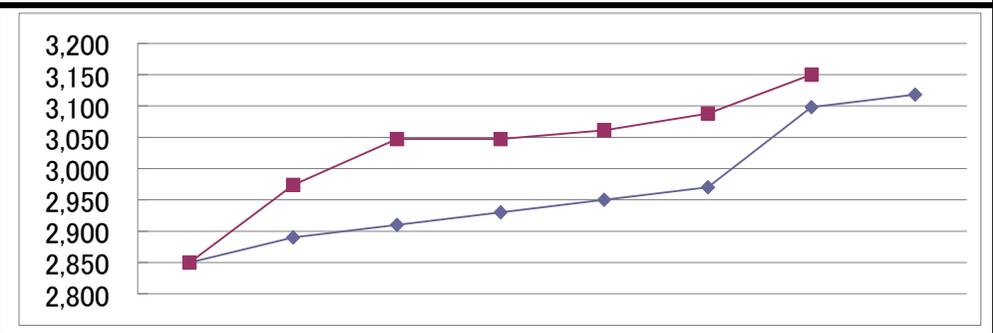
指標								単位	達成率
3-3	スポーツ施設の利用者数（スポーツランド推進課）							人	90.4%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	742,149	744,000	745,000	746,000	747,000	748,000	749,000	750,000	4
実績	742,149	785,927	695,184	468,302	553,248	619,977	676,772		
達成状況の分析	目標達成には至らなかったが、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行したことにより、昨年度に比べ利用者数は増加した。								



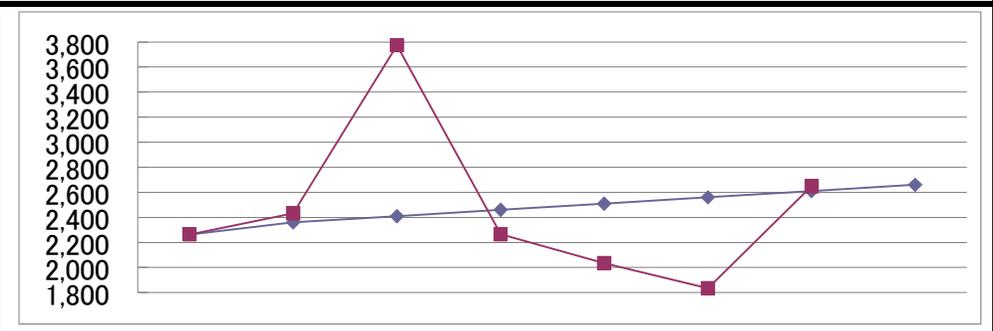
指標								単位	達成率
3-4	全国スポーツ大会に出場した児童生徒数（スポーツランド推進課）							人	66.4%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	788	850	875	900	925	950	900	925	2
実績	788	871	659	238	770	646	598		
達成状況の分析	団体競技での全国大会参加が少なく実績値は減少しているが、出場した大会数は前年度実績より増えており、競技力の向上につながっている。								



指標								単位	達成率
4-1	海外の姉妹（友好）都市交流事業における交流者数（累計）（国際政策課）							人	101.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	2,850	2,890	2,910	2,930	2,950	2,970	3,098	3,118	5
実績	2,850	2,974	3,047	3,047	3,061	3,088	3,150		
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の水際対策が2023年4月に終了したことに伴い、当市からの訪問団の派遣や、各都市からの訪問団の受入を再開した。2023年度は、市長と議長を含む訪問団をバージニアビーチ市とワキガン市に派遣したほか、バージニアビーチ市のマグネットスクールの高校生の受入や、韓国・報恩郡の郡守や議長を含む訪問団の受入を実施するなど、交流の継続に努めた。これまでの交流実績と合わせて目標は達成している。								



指標								単位	達成率
4-2	宮崎市国際交流協会が開催する講座等の参加者数（国際政策課）							人	101.5%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	2,264	2,360	2,410	2,460	2,510	2,560	2,610	2,660	5
実績	2,264	2,432	3,774	2,266	2,035	1,835	2,649		
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症による規制も緩和され、市内の小中学校向けの国際理解出前講座や、外国人住民を対象とした交流イベント等を積極的に行うことで目標を達成した。								



総合 計画 体系	基本目標	3 良好な就業環境が確保されている都市（まち）
	重点項目	3-1 地域や企業ニーズに合った「人財の育成」
	指標関係課	企画政策課、農政企画課、森林水産課、企業立地推進課

1 主要施策	2 市民意識調査（参考）																																																																								
<p>3-1-1 キャリア教育や学び直しの場の提供</p> <p>3-1-2 地域や企業ニーズに対応した人材の育成等</p> <p>3-1-3 農林水産業の担い手の育成</p> <p>3-1-4 地元企業への就職を促す仕組みの構築</p>	<p>Q：あなたは、地域や企業ニーズに合った「人財の育成」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>2.6%</td> <td>4.3%</td> <td>3.3%</td> <td>3.2%</td> <td>2.2%</td> <td>3.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>20.8%</td> <td>22.1%</td> <td>22.3%</td> <td>21.9%</td> <td>18.6%</td> <td>21.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>36.5%</td> <td>38.2%</td> <td>36.9%</td> <td>38.1%</td> <td>39.8%</td> <td>39.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>19.9%</td> <td>15.3%</td> <td>20.6%</td> <td>19.6%</td> <td>25.8%</td> <td>20.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>14.7%</td> <td>13.5%</td> <td>10.7%</td> <td>10.8%</td> <td>9.5%</td> <td>10.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.5%</td> <td>6.6%</td> <td>6.2%</td> <td>6.4%</td> <td>4.0%</td> <td>4.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	2.6%	4.3%	3.3%	3.2%	2.2%	3.7%		2	どちらかと言えば感じられる	20.8%	22.1%	22.3%	21.9%	18.6%	21.1%		3	どちらかと言えば感じられない	36.5%	38.2%	36.9%	38.1%	39.8%	39.8%		4	感じられない	19.9%	15.3%	20.6%	19.6%	25.8%	20.6%		5	いずれにも当てはまらない	14.7%	13.5%	10.7%	10.8%	9.5%	10.7%		6	無回答	5.5%	6.6%	6.2%	6.4%	4.0%	4.1%		計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	2.6%	4.3%	3.3%	3.2%	2.2%	3.7%																																																																		
2	どちらかと言えば感じられる	20.8%	22.1%	22.3%	21.9%	18.6%	21.1%																																																																		
3	どちらかと言えば感じられない	36.5%	38.2%	36.9%	38.1%	39.8%	39.8%																																																																		
4	感じられない	19.9%	15.3%	20.6%	19.6%	25.8%	20.6%																																																																		
5	いずれにも当てはまらない	14.7%	13.5%	10.7%	10.8%	9.5%	10.7%																																																																		
6	無回答	5.5%	6.6%	6.2%	6.4%	4.0%	4.1%																																																																		
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.0点 (27/9)</td> </tr> </table> <p>(参考：令和5年度内部評価)</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.4点 (34/10)</td> </tr> </table>	平均点	3.0点 (27/9)	平均点	3.4点 (34/10)	<table border="1"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table>	内部評価結果	b	内部評価結果	b	<p>〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。 ・主要施策「3-1-2 地域や企業ニーズに対応した人材の育成等」及び「3-1-4 地元企業への就職を促す仕組みの構築」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。 	
平均点	3.0点 (27/9)										
平均点	3.4点 (34/10)										
内部評価結果	b										
内部評価結果	b										

4 外部評価			
<table border="1"> <tr> <td>外部評価結果</td> <td>B</td> </tr> </table>	外部評価結果	B	<p>〔外部評価での主な意見（要約）（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「就職説明会参加者のうち就職決定者数」は目標達成にほど遠く見えるが、就職活動のフローの変化、トレンドの変化を見据えると、行政が取り組む施策も変化させていく必要があるのではないだろうか。また、働く事をテーマにした小中学生への出前講座等も検討いただきたい。 ・人材がいても戦力として育てる方法が分からない企業がたくさんあるように思える。人材が育てば業績向上にも繋がり、新たな雇用も行える。個々の中小企業はがコンサルを雇うことが難しい場合があるので、行政が手助けする必要があると考える。
外部評価結果	B		

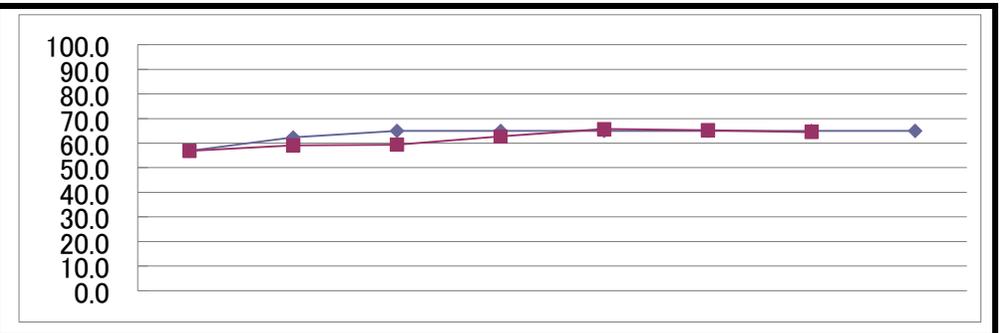
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

◆ 目標 ■ 実績

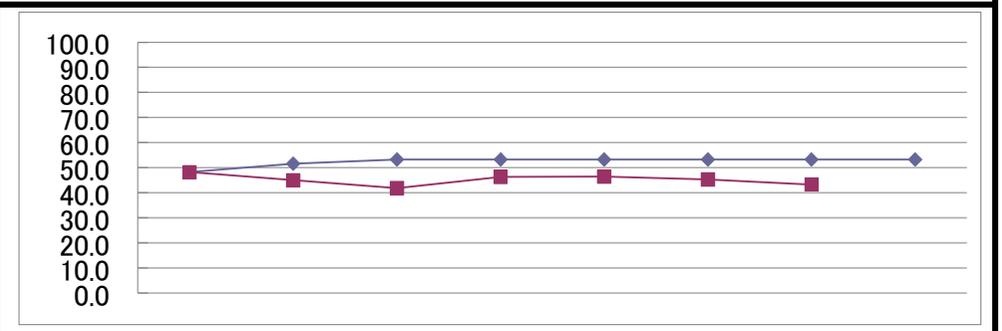
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

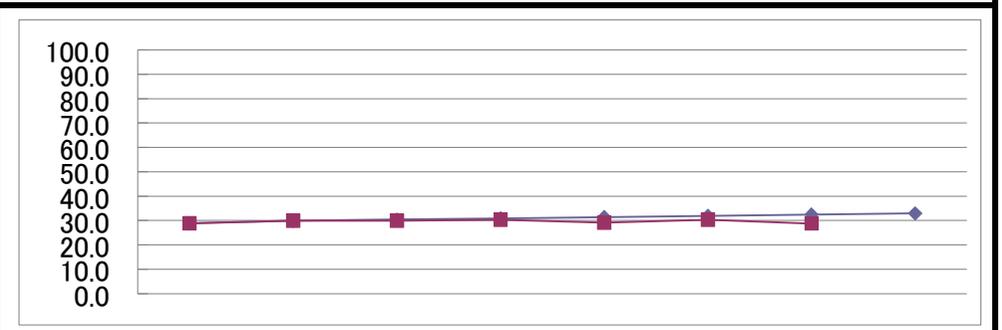
指標								単位	達成率	
重点	県内新規学卒者の就職内定者のうち県内就職内定率（高校）（企業立地推進課）								%	99.2%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
	目標	56.8	62.3	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	4	
実績	56.8	59.1	59.4	62.7	65.7	65.2	64.5			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ここ数年は県内就職希望が多かったが、感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行したことにより、その傾向が薄れてきたことによるものと推察される。									



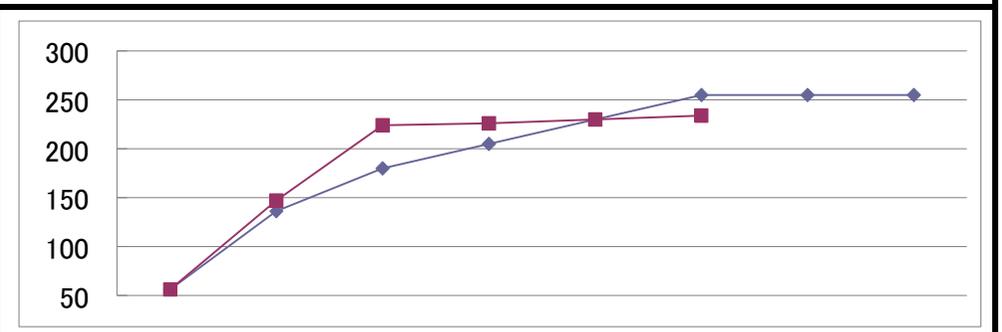
指標								単位	達成率	
重点	県内新規学卒者の就職内定者のうち県内就職内定率（大学等）（企業立地推進課）								%	81.2%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
	目標	48.2	51.6	53.3	53.3	53.3	53.3	53.3	3	
実績	48.2	45.0	41.9	46.3	46.5	45.3	43.3			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ここ数年は県内就職希望が多かったが、感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行したことにより、その傾向が薄れてきたことによるものと推察される。									



指標								単位	達成率	
1-1	県内高校生の県内大学・短大への進学率（企画政策課）								%	88.9%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
	目標	28.9	29.9	30.4	30.9	31.4	31.9	32.4	32.9	
実績	28.9	29.9	29.9	30.3	29.1	30.3	28.8			
達成状況の分析	目標達成に向けて学生や保護者等の地元への関心を高めるよう地元教育機関と連携を図ったが、昨年に引き続き、目標数値を達成することはできなかった。									



指標								単位	達成率	
2-1	市が支援する就職セミナー等を受講して就職した人の数（累計）（企業立地推進課）								人	-
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
	目標	56	136	180	205	230	255	255	255	
実績	56	147	224	226	230	234	-	-		
達成状況の分析	これまで市独自のマッチング支援事業により求職者への支援を行ってきたが、就職につなげることが困難となってきたことから事業廃止したため、実績としては「-」となった。別途、企業の職場環境改善を推進する事業を新たに開始しており、引き続き、女性をはじめ多様な人材の活躍につながる支援を継続して実施していく。									



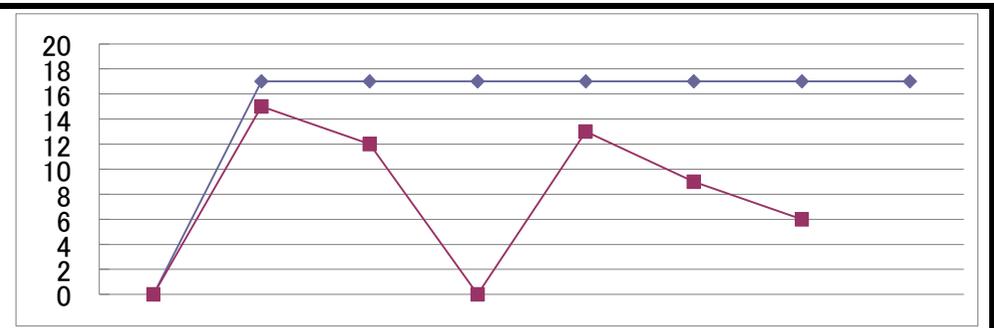
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

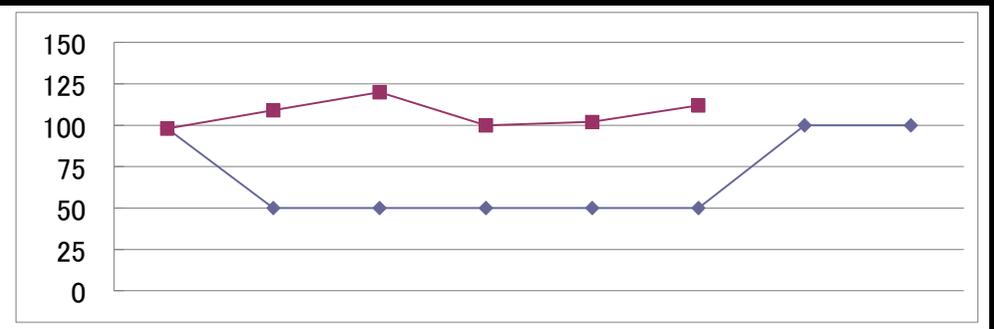
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

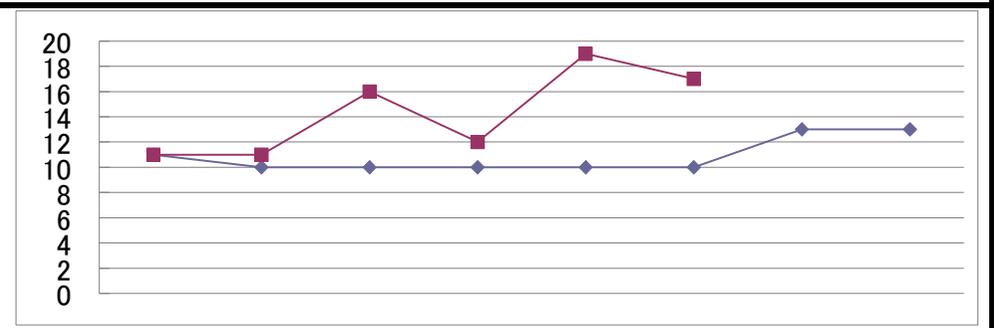
指標								単位	達成率
2-2	高度ICT技術者新規雇用者数（企業立地推進課）							人	35.3%
	-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	-	17	17	17	17	17	17	17	1
実績	-	15	12	-	13	9	6		
達成状況の分析	2020年度でJICAの事業が終了し、宮崎大学とバングラデシュの私立大学が共同で事業承継したものの、十分に周知されていない。また、ここ数年、都市部の大手企業からの引き抜きで離職者がでていることも、企業側が新規雇用を躊躇する要因の一つになっている。								



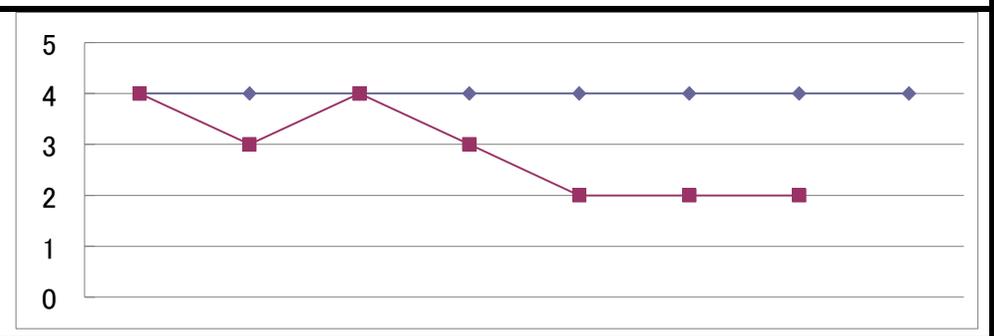
指標								単位	達成率
★ 3-1	新規就農者数（農政企画課）							人	112.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	98	50	50	50	50	50	100	100	5
実績	98	109	120	100	102	112	未確定		
達成状況の分析	2023年度実績未確定（8月確定予定） 【参考】2022年度達成率：224.0%								



指標								単位	達成率
★ 3-2	新規林業就業者数（森林水産課）							人	130.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	11	10	10	10	10	10	13	13	5
実績	11	11	16	12	19	17	未確定		
達成状況の分析	2023年度実績未確定（9月確定予定） 【参考】2022年度達成率：170.0%								



指標								単位	達成率
3-3	新規漁業就業者数（森林水産課）							人	50.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	4	4	4	4	4	4	4	4	2
実績	4	3	4	3	2	2	2		
達成状況の分析	就業時の初期費用の負担軽減を目的として、県等と連携しながら就業支援金を交付し、その事業の周知に取り組んだが目標を達成することができなかった。								

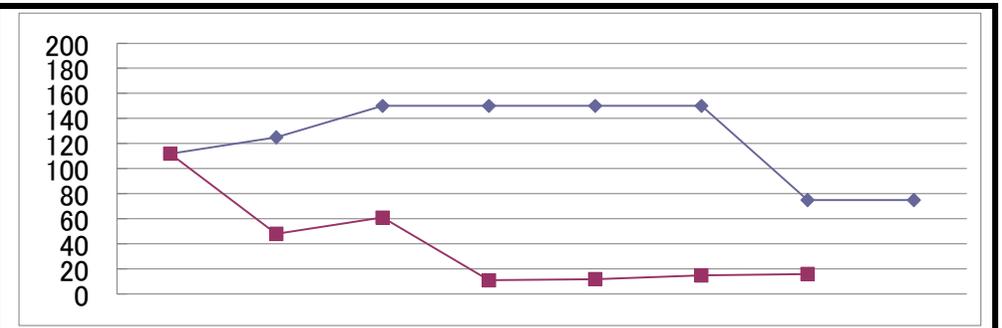


5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

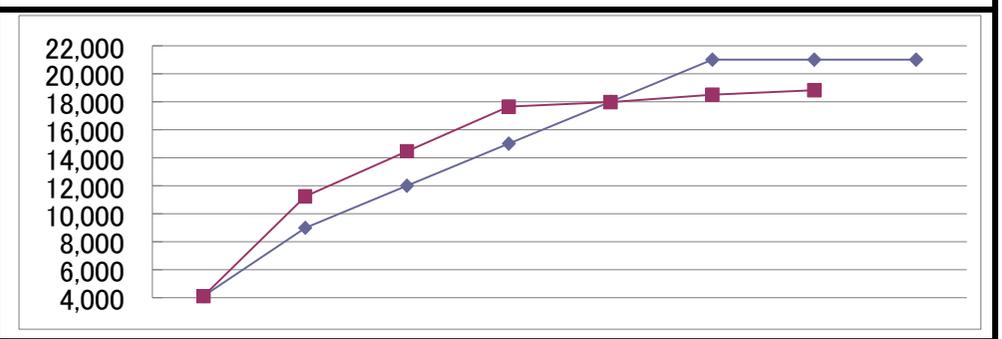
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標								単位	達成率
4-1	就職説明会参加者のうち就職決定者数（企業立地推進課）							人	21.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	112	125	150	150	150	150	75	75	1
実績	112	48	61	11	12	15	16		
達成状況の分析	8月に大学等卒業予定者及び一般求職者を対象とした就職説明会を、10月に主に高校3年生の就職未内定者を対象としたみやざき就職フェアを開催したが、人手不足の状況下で求職者の減少が進んでいることから参加者が減少し、就職決定者数も目標を達成できなかった。								



指標								単位	達成率
4-2	雇用・人材アプリインストール数（累計）（企業立地推進課）							件	89.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	4,112	9,000	12,000	15,000	18,000	21,000	21,000	21,000	3
実績	4,112	11,246	14,466	17,648	17,976	18,510	18,822		
達成状況の分析	2021年度以降、はたちの集いに参加するためにアプリのダウンロードを必須としなくなったため、同年度から実績が伸び悩んでいる。今後は、市内大学や高校への周知啓発を強化するほか、はたちの集い参加者への周知方法を検討する。								



総合 計画 体系	基本目標	3 良好な就業環境が確保されている都市（まち）
	重点項目	3-2 若い世代の定着や生産性の向上を図る「雇用の場の創出」
	指標関係課	文化・市民活動課、農政企画課、森林水産課、産業政策課、企業立地推進課

1 主要施策 3-2-1 農林水産業の生産基盤の確立 3-2-2 企業立地と設備投資の促進 3-2-3 中小企業等の経営力の向上 3-2-4 新商品や新技術等の開発 3-2-5 中心市街地の機能の充実 3-2-6 雇用形態の多様化・労働力の確保 3-2-7 雇用環境の改善	2 市民意識調査（参考） Q：あなたは、若い世代の定着や生産性の向上を図る「雇用の場の創出」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>3.5%</td> <td>5.0%</td> <td>4.3%</td> <td>4.9%</td> <td>2.3%</td> <td>4.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>23.9%</td> <td>21.5%</td> <td>22.9%</td> <td>22.0%</td> <td>18.7%</td> <td>21.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>34.2%</td> <td>34.4%</td> <td>35.1%</td> <td>34.0%</td> <td>35.9%</td> <td>37.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>22.0%</td> <td>20.7%</td> <td>23.3%</td> <td>24.3%</td> <td>31.5%</td> <td>24.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>11.4%</td> <td>11.4%</td> <td>8.3%</td> <td>8.9%</td> <td>7.8%</td> <td>8.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.0%</td> <td>7.0%</td> <td>6.1%</td> <td>5.9%</td> <td>3.9%</td> <td>3.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	3.5%	5.0%	4.3%	4.9%	2.3%	4.4%		2	どちらかと言えば感じられる	23.9%	21.5%	22.9%	22.0%	18.7%	21.7%		3	どちらかと言えば感じられない	34.2%	34.4%	35.1%	34.0%	35.9%	37.3%		4	感じられない	22.0%	20.7%	23.3%	24.3%	31.5%	24.0%		5	いずれにも当てはまらない	11.4%	11.4%	8.3%	8.9%	7.8%	8.7%		6	無回答	5.0%	7.0%	6.1%	5.9%	3.9%	3.9%		計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	3.5%	5.0%	4.3%	4.9%	2.3%	4.4%																																																																		
2	どちらかと言えば感じられる	23.9%	21.5%	22.9%	22.0%	18.7%	21.7%																																																																		
3	どちらかと言えば感じられない	34.2%	34.4%	35.1%	34.0%	35.9%	37.3%																																																																		
4	感じられない	22.0%	20.7%	23.3%	24.3%	31.5%	24.0%																																																																		
5	いずれにも当てはまらない	11.4%	11.4%	8.3%	8.9%	7.8%	8.7%																																																																		
6	無回答	5.0%	7.0%	6.1%	5.9%	3.9%	3.9%																																																																		
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">平均点</td> <td>4.3点 (68/16)</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">(参考：令和5年度内部評価)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td style="width: 20%;">平均点</td> <td>3.6点 (58/16)</td> </tr> </table>	平均点	4.3点 (68/16)	平均点	3.6点 (58/16)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">内部評価結果</td> <td>a</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td style="width: 20%;">内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table>	内部評価結果	a	内部評価結果	b	<p style="text-align: center;">〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね目標を達成している。 ・特に、重点目標の「正規雇用者数」、「市内の女性の有業率」、「市内の60歳以上70歳未満の有業率」、主要施策「3-2-4 新商品や新技術等の開発」及び「3-2-5 中心市街地の機能の充実」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、主要施策「3-2-6 雇用形態の多様化・労働力の確保」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。 	
平均点	4.3点 (68/16)										
平均点	3.6点 (58/16)										
内部評価結果	a										
内部評価結果	b										

<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">外部評価結果</td> <td>B</td> </tr> </table>	外部評価結果	B	<p>〔外部評価での主な意見（要約）（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・人手不足の中で、雇用者数（量）については一定の成果が出ていると思うが、若者の県内就職率が低い中、宮崎市内（宮崎県内）の企業を選んでいただくためにも、より魅力ある職場作りが必要である。 ・「「仕事と生活の両立応援宣言」を行う事業所数」について、宣言後、本当に実行されているか確認することも必要ではないかと感じた。 </div>
外部評価結果	B		

5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

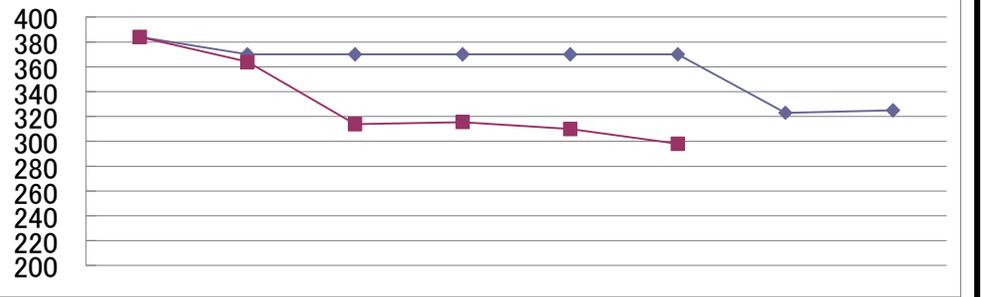
◆ 目標 ■ 実績

↓「●」を付記しているものは、5年に1度の統計調査の結果から今回実績値が確定したため、2022年度の目標値と実績値から達成率を算出。

↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標		単位								達成率	
●	重点 正規雇用者数（企業立地推進課）	人								108.7%	
			2012年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
		目標	98,500	-	-	-	-	98,500	-	-	5
		実績	98,500	-	-	-	-	107,100	-	-	
達成状況 の分析	「就業構造基本調査」は5年に1度実施されるため、2023年度の実績はなし。 (2022年度の達成状況) 全国的に労働者不足で正規雇用労働者への需要は底堅い状況が続いており、本市においても目標を達成した。										
●	重点 市内の女性の有業率（企業立地推進課）	%								105.5%	
			2012年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
		目標	50.8	-	-	-	-	51.2	-	-	5
		実績	50.8	-	-	-	-	54.0	-	-	
達成状況 の分析	「就業構造基本調査」は5年に1度実施されるため、2023年度の実績はなし。 (2022年度の達成状況) 仕事と育児等との両立支援のため、保育所等の育児基盤や育児休業制度等の整備・充実が進んだことや、女性が職業を持つことに対する意識が女性自身だけでなく男性を含め、社会全体として変化してきたことから、全国的に女性の有業率が上昇しており、本市においても目標を達成した。										
●	重点 市内の60歳以上70歳未満の有業率（企業立地推進課）	%								109.8%	
			2012年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
		目標	51.7	-	-	-	-	58.0	-	-	5
		実績	51.7	-	-	-	-	63.7	-	-	
達成状況 の分析	「就業構造基本調査」は5年に1度実施されるため、2023年度の実績はなし。 (2022年度の達成状況) 高齢者雇用安定法の改正により、70歳までの就業機会確保の努力義務が設けられたこともあり、目標を達成した。										
★ 1-1	重要 農業産出額（農政企画課）	億円								92.3%	
			2015年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
		目標	384	370	370	370	370	370	323	325	4
		実績	384	364	314	316	310	298	未確定		
達成状況 の分析	2023年度実績未確定（令和7年3月確定予定） 【参考】2022年度達成率：80.5%										



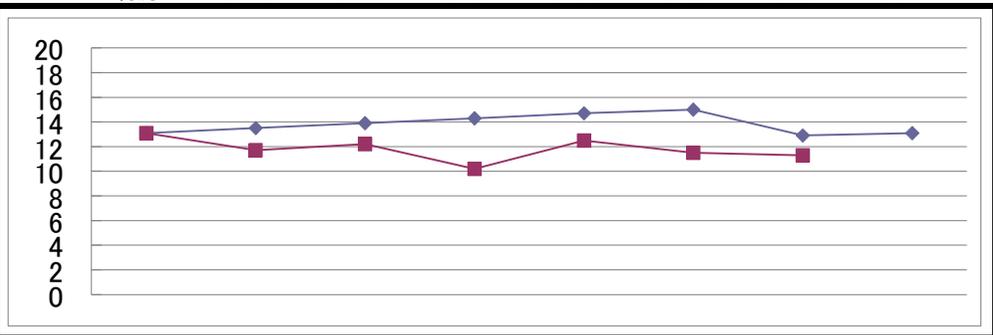
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

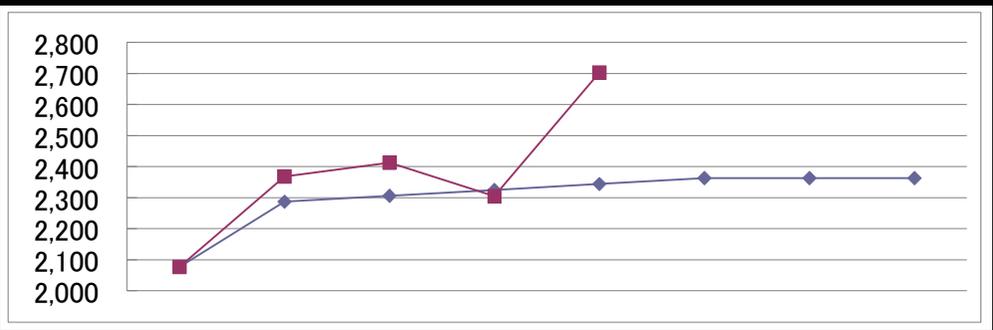
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

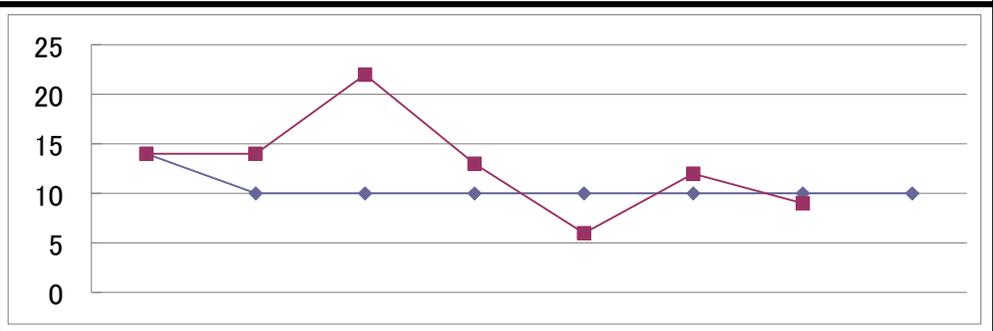
指標								単位	達成率
1-2	水揚高（森林水産課）							億円	87.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	13.1	13.5	13.9	14.3	14.7	15.0	12.9	13.1	3
実績	13.1	11.7	12.2	10.2	12.5	11.5	11.3		
達成状況の分析	省エネ、省力、省コスト化など漁業経営向上のための機器装備支援等を行ったが、シラスなどの特定魚種の不漁により目標を達成することはできなかった。								



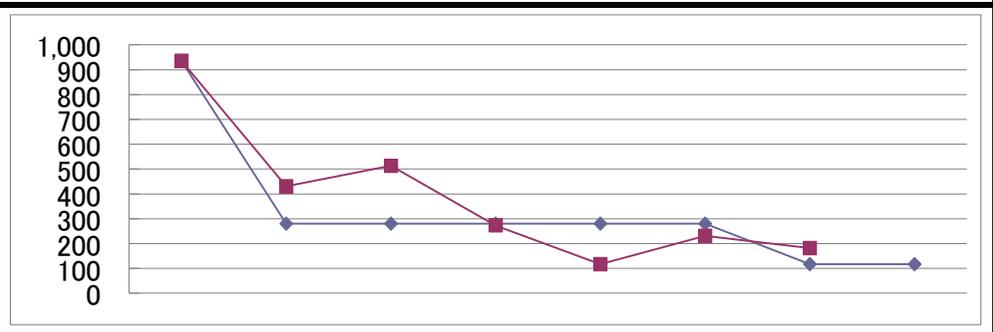
指標								単位	達成率
★ 2-1	製造品出荷額（産業政策課）							億円	114.4%
	2014年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	2,077	2,287	2,306	2,325	2,344	2,363	2,363	2,363	5
実績	2,077	2,368	2,413	2,305	2,703	未確定	未確定		
達成状況の分析	2022年度実績は2024年6月頃確定予定 2023年度実績は2025年6月頃確定予定 【参考】2021年度達成率：115.3%								



指標								単位	達成率
2-2	立地企業数（企業立地推進課）							件	90.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	14	10	10	10	10	10	10	10	4
実績	14	14	22	13	6	12	9		
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行後、テレワークや地方へのオフィス進出の勢いが緩んでいるほか、製造業等を誘致できる十分な広さの土地が不足しているため、目標を達成することができなかった。								



指標								単位	達成率
2-3	立地企業における新規雇用予定者数（企業立地推進課）							人	155.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	936	280	280	280	280	280	117	117	5
実績	936	431	513	273	117	231	182		
達成状況の分析	コールセンターやBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）サービスなど、比較的大人数を雇用する情報通信等の企業立地が多かったため、目標を達成することができた。								



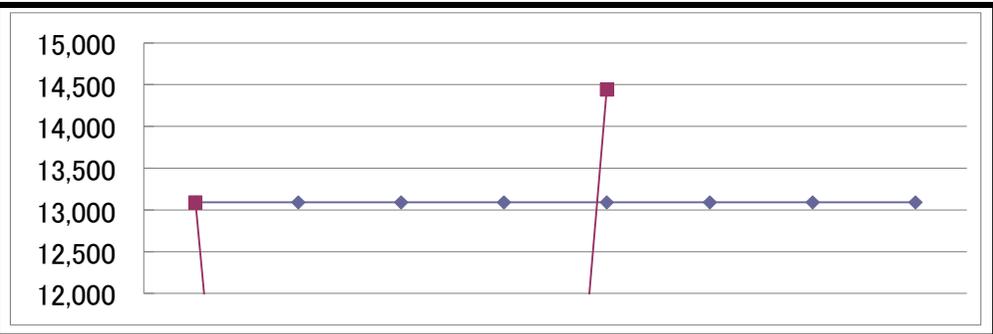
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

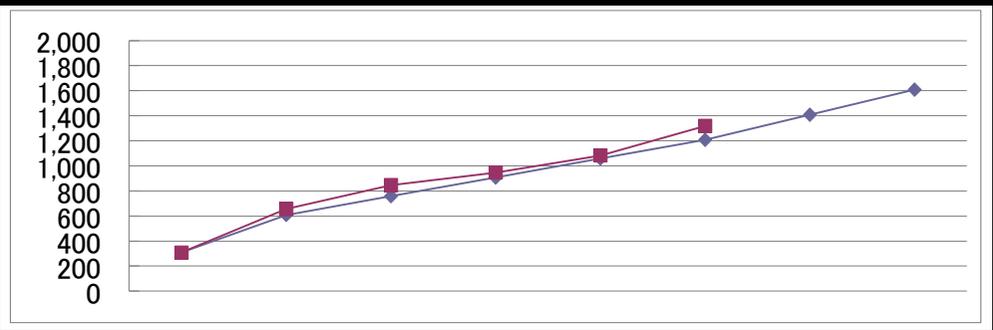
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

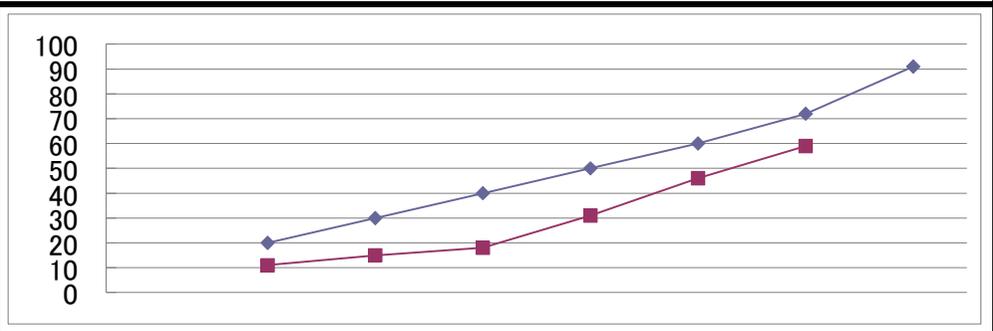
指標								単位	達成率
3-1	年間商品販売（小売・卸売）額（産業政策課）							億円	-
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	13,090	13,090	13,090	13,090	13,090	13,090	13,090	13,090	-
実績	13,090	-	-	-	14,441	-	-	-	-
達成状況 の分析	「経済センサス」は5年に1度実施されるため、2023年度の実績はなし。 【参考】2021年度の達成率：110.3% ※次回の「経済センサス」は2026年度								



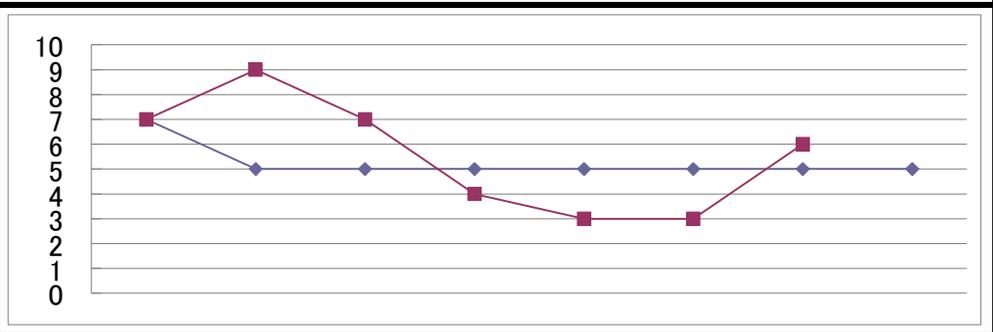
指標								単位	達成率
★ 3-2	創業支援事業計画に基づく創業者数（累計）（産業政策課）							人	93.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	308	608	758	908	1,058	1,208	1,408	1,608	4
実績	308	655	845	947	1,083	1,318	未確定	-	4
達成状況 の分析	2023年度実績未確定（7月確定予定） 【参考】2022年度達成率：109.1%								



指標								単位	達成率
3-3	市が支援した事業承継等の件数（累計）（産業政策課）							件	81.9%
	-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	-	20	30	40	50	60	72	91	3
実績	-	11	15	18	31	46	59	-	3
達成状況 の分析	宮崎県事業承継・引継ぎ支援センターへの相談や金融機関への相談件数は増えているが、支援した件数は伸びていない。これまで以上に支援機関と連携を密に図り補助件数を増やす。								



指標								単位	達成率
4-1	6次産業化関連補助事業活用事業者数（農政企画課）							件	120.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	7	5	5	5	5	5	5	5	5
実績	7	9	7	4	3	3	6	-	5
達成状況 の分析	新たに創設した「宮崎市産農林水産物活用商品認定事業」において、目標を上回る市内6事業者に対し、新商品開発やブラッシュアップのための費用の一部を助成することで、新商品の開発を推進することができた。								



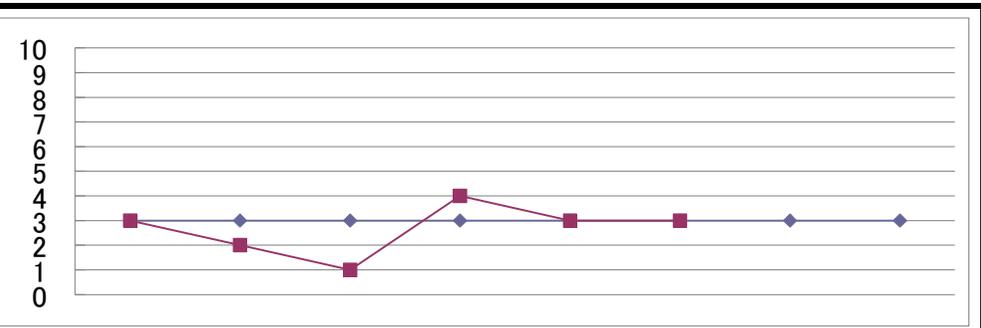
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

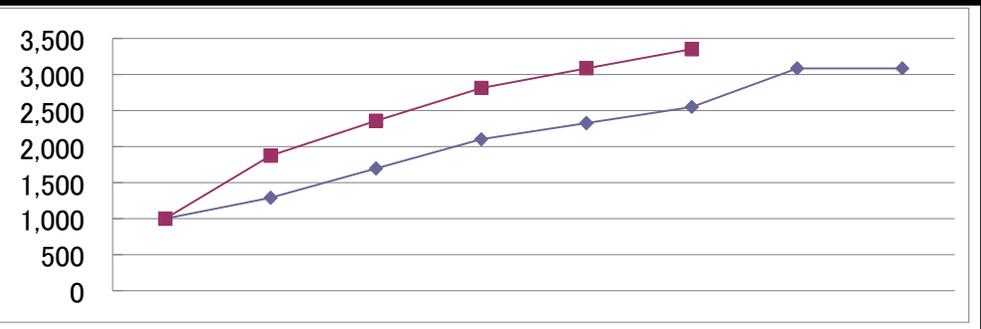
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

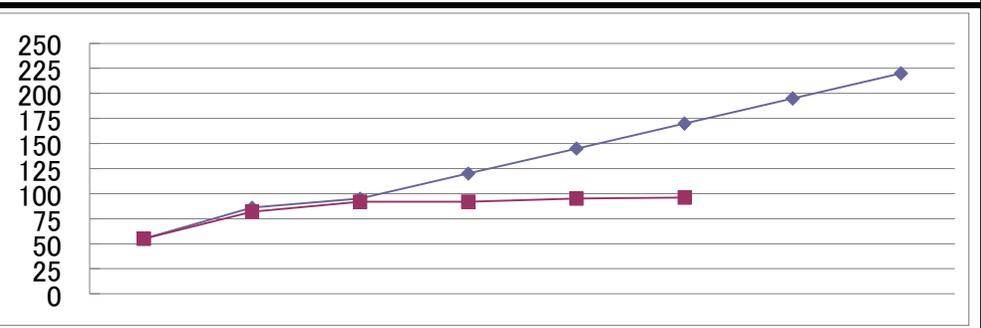
指標								単位	達成率
4-2	市が支援した企業と大学等の研究機関との共同取組事例数（産業政策課）							件	-
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	3	3	3	3	3	3	3	3	-
実績	3	2	1	4	3	3	-	-	-
達成状況の分析	市内の中小企業を対象に、大学等への研究委託費などの一部補助を実施していたが、その効果が把握できていないこと、国にも同様の補助制度（ものづくり補助金）があることなどから、2022年度で事業を廃止した。現在は、その予算を企業成長のための人材育成事業に振り分け実施している。								



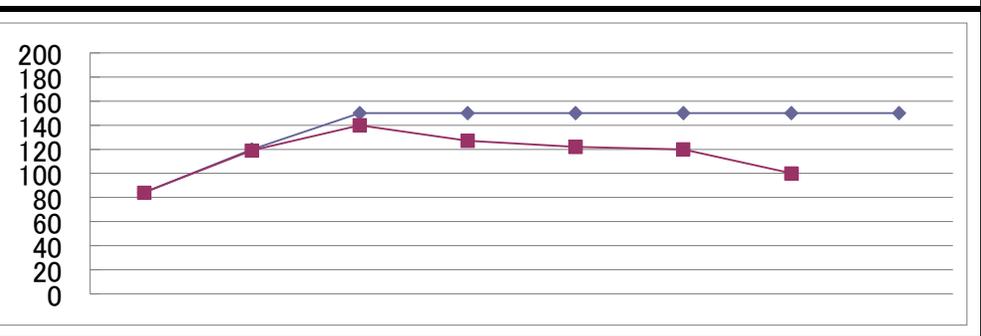
指標								単位	達成率
★ 5-1	中心市街地におけるクリエイティブ産業従業者の増加数（累計）（産業政策課）							人	131.4%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	999	1,290	1,696	2,100	2,326	2,550	3,085	3,085	5
実績	999	1,875	2,358	2,813	3,085	3,350	未確定		
達成状況の分析	2023年度実績未確定（7月確定予定） 【参考】2022年度達成率：131.4%								



指標								単位	達成率
6-1	市の支援する女性の就労支援事業を活用した就職者数（累計）（企業立地推進課）							人	-
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	55	86	95	120	145	170	195	220	-
実績	55	82	92	92	95	96	-	-	-
達成状況の分析	これまで市独自のマッチング支援事業により求職者への支援を行ってきたが、就職につなげることが困難となってきたことから事業廃止したため、実績としては「-」となった。別途、企業の職場環境改善を推進する事業を新たに開始しており、引き続き、女性をはじめ多様な人材の活躍につながる支援を継続して実施していく								



指標								単位	達成率
6-2	シルバー人材センターにおける派遣事業の受注件数（企業立地推進課）							件	66.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	84	120	150	150	150	150	150	150	2
実績	84	119	140	127	122	120	100		
達成状況の分析	受注件数はコロナ前の水準に戻らず、目標を達成できなかったものの、契約金額及び派遣延べ人数は増加した。（契約金額：102,025,953円（2022年度）⇒105,272,589円（2023年度）、派遣延べ人数：19,881人（2022年度）⇒20,465人（2023年度））								



5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標									単位	達成率
7-1	くるみん認定企業数（企業立地推進課）								社	122.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	13	14	15	16	18	20	22	24	5	
実績	13	17	20	20	22	24	27			
達成状況の分析	順調に増加しており、目標を達成している。									
指標									単位	達成率
7-2	「仕事と生活の両立応援宣言」を行う事業所数（企業立地推進課）								件	95.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	311	400	450	500	550	600	600	600	4	
実績	311	395	426	463	499	556	574			
達成状況の分析	目標を達成していないものの、順調に増加している。									
指標									単位	達成率
7-3	宮崎市ワークライフバランス企業（旧称：イクボス）同盟加盟事業所数（文化・市民活動課）								件	96.2%
	-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	-	13	17	21	25	29	26	29	4	
実績	-	14	17	20	20	24	25			
達成状況の分析	2社加盟希望の企業があったが、結果的に1社しか加盟されず、目標を達成できなかった。									

総合 計画 体系	基本目標	4 魅力ある価値が創出されている都市（まち）
	重点項目	4-1 交流人口や販路の拡大を図る「ブランド力の向上」
	指標関係課	農業振興課、観光戦略課、スポーツランド推進課、都市計画課、公園緑地課

1 主要施策 4-1-1 宮崎らしさを生かした取組の推進 4-1-2 景観づくりの推進 4-1-3 スポーツランドみやぎの推進 4-1-4 観光客受入環境の充実 4-1-5 国内外の市場開拓	2 市民意識調査（参考） Q：あなたは、交流人口や販路の拡大を図る「ブランド力の向上」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>5.6%</td> <td>7.8%</td> <td>9.8%</td> <td>8.6%</td> <td>5.6%</td> <td>7.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>34.1%</td> <td>32.8%</td> <td>35.1%</td> <td>33.1%</td> <td>29.1%</td> <td>33.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>31.4%</td> <td>28.0%</td> <td>26.1%</td> <td>28.4%</td> <td>31.7%</td> <td>31.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>12.3%</td> <td>14.5%</td> <td>15.7%</td> <td>15.9%</td> <td>22.9%</td> <td>16.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>11.3%</td> <td>9.8%</td> <td>7.0%</td> <td>8.0%</td> <td>7.1%</td> <td>6.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.3%</td> <td>7.1%</td> <td>6.3%</td> <td>6.0%</td> <td>3.7%</td> <td>4.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	5.6%	7.8%	9.8%	8.6%	5.6%	7.8%		2	どちらかと言えば感じられる	34.1%	32.8%	35.1%	33.1%	29.1%	33.0%		3	どちらかと言えば感じられない	31.4%	28.0%	26.1%	28.4%	31.7%	31.9%		4	感じられない	12.3%	14.5%	15.7%	15.9%	22.9%	16.2%		5	いずれにも当てはまらない	11.3%	9.8%	7.0%	8.0%	7.1%	6.9%		6	無回答	5.3%	7.1%	6.3%	6.0%	3.7%	4.2%		計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	5.6%	7.8%	9.8%	8.6%	5.6%	7.8%																																																																		
2	どちらかと言えば感じられる	34.1%	32.8%	35.1%	33.1%	29.1%	33.0%																																																																		
3	どちらかと言えば感じられない	31.4%	28.0%	26.1%	28.4%	31.7%	31.9%																																																																		
4	感じられない	12.3%	14.5%	15.7%	15.9%	22.9%	16.2%																																																																		
5	いずれにも当てはまらない	11.3%	9.8%	7.0%	8.0%	7.1%	6.9%																																																																		
6	無回答	5.3%	7.1%	6.3%	6.0%	3.7%	4.2%																																																																		
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>平均点</td> <td>4.1点 (57/14)</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">(参考：令和5年度内部評価)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>平均点</td> <td>2.4点 (33/14)</td> </tr> </table>	平均点	4.1点 (57/14)	平均点	2.4点 (33/14)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>a</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>-</td> </tr> </table>	内部評価結果	a	内部評価結果	-	<p style="text-align: center;">〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: x-small;"> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね目標を達成している。 ・特に、重点目標の「宿泊者数」、「観光消費額」、「観光入込客数」、主要施策「4-4-1 宮崎らしさを生かした取組の推進」及び「4-1-4 観光客受入環境の充実」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、主要施策「4-1-3 スポーツランドみやぎの推進」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。 </div>	
平均点	4.1点 (57/14)										
平均点	2.4点 (33/14)										
内部評価結果	a										
内部評価結果	-										

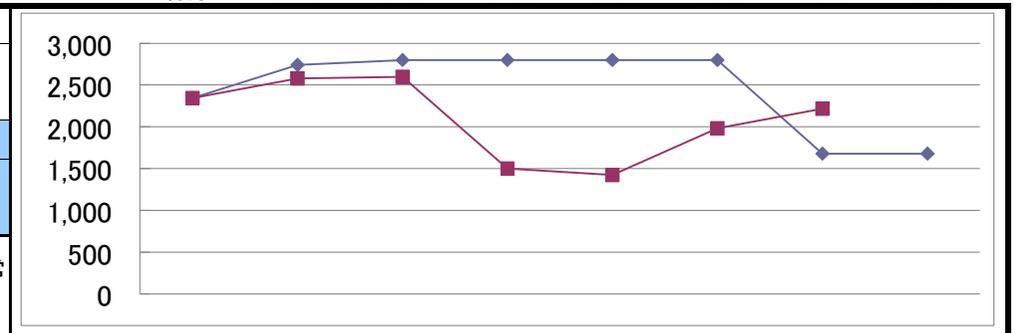
4 外部評価 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="background-color: yellow;">外部評価結果</td> <td style="background-color: yellow;">A</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">〔外部評価での主な意見（要約）（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: x-small;"> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ以降、ニシタチの夜に提灯を点灯しており、特色のある風景がSNSスポットにもなり良い取組だと思う。街に安心安全感も出て、ファミリー層にも足を運んでもらっている。プラスアルファでビューポイントの創出など仕掛けができると更に魅力が増すのではないかな。 ・宮崎には自然や歴史、食文化などを求めてやって来るので、それらに磨きをかけ、発信力を高めることが必要ではないかな。 </div>	外部評価結果	A
外部評価結果	A	

5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

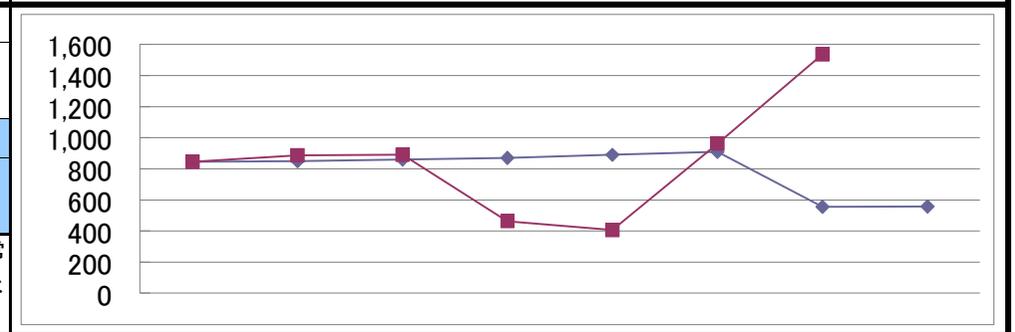
— 目標 — 実績

↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

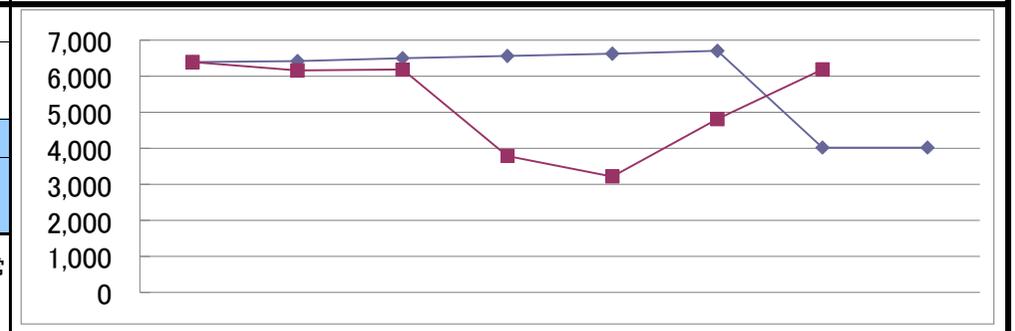
指標									単位	達成率
重点 宿泊者数（観光戦略課）									千人	131.9%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	2,346	2,740	2,800	2,800	2,800	2,800	1,680	1,680	5	
実績	2,346	2,578	2,598	1,501	1,424	1,983	2,216			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行したこと、各種イベントの通常開催、侍ジャパン春季キャンプの開催によって、昨年よりも宿泊客数が増加した。									



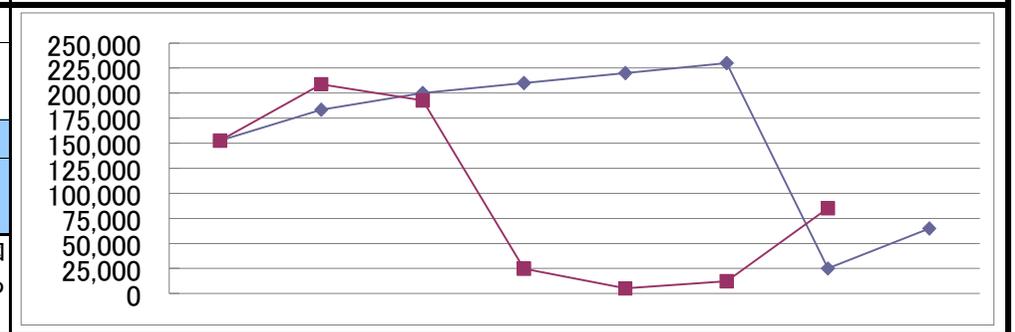
指標									単位	達成率
重点 観光消費額（観光戦略課）									億円	276.4%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	844.8	850.0	860.0	870.0	890.0	910.0	556.0	558.0	5	
実績	844.8	886.9	891.5	463.4	406.1	962.1	1,536.7			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行したこと、各種イベントの通常開催、侍ジャパン春季キャンプの開催によって観光入込客数が増加したことに加え、個人消費額の増大により、昨年よりも観光消費額が増加した。									



指標									単位	達成率
重点 観光入込客数（観光戦略課）									千人	153.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	6,391	6,420	6,500	6,560	6,620	6,700	4,020	4,020	5	
実績	6,391	6,155	6,181	3,788	3,218	4,810	6,182			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行したこと、各種イベントの通常開催、侍ジャパン春季キャンプの開催によって、昨年よりも観光入込客数が増加した。									



指標									単位	達成率
1-1	外国人宿泊者数（観光戦略課）								人	340.2%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	152,500	183,300	200,000	210,000	220,000	230,000	25,000	65,000	5	
実績	152,500	208,900	192,600	24,771	5,097	12,349	85,055			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行ことに伴い、九州発着の国際定期便の増便及び宮崎と韓国ソウルを結ぶ国際定期便の再開等が要因となり、韓国、香港、台湾をはじめとした全体的なインバウンドの増加が影響し、外国人宿泊者数が増加した。									



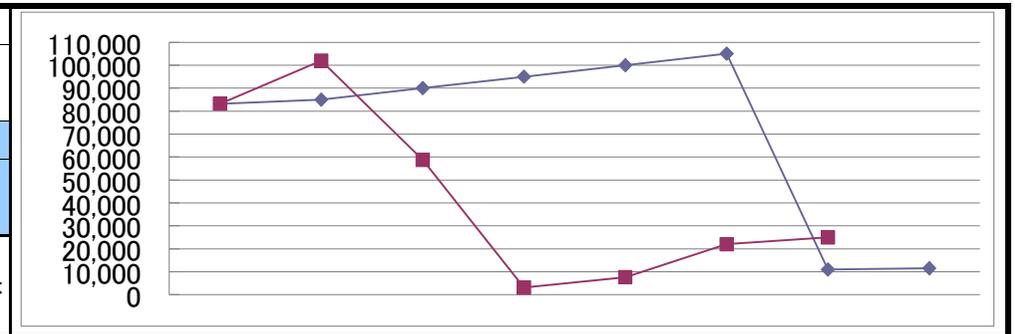
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

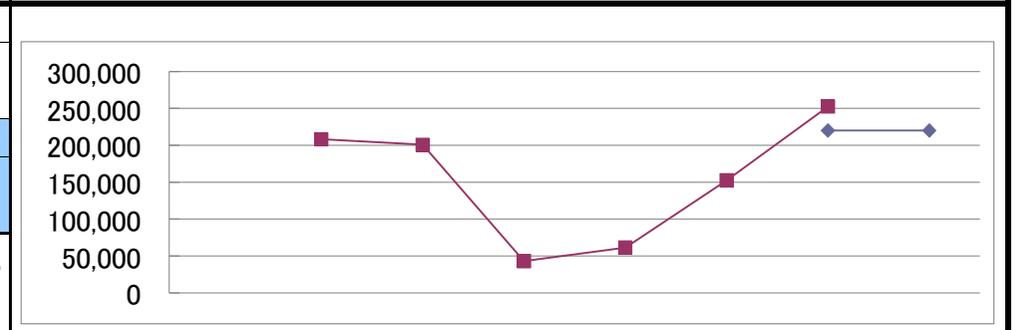
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

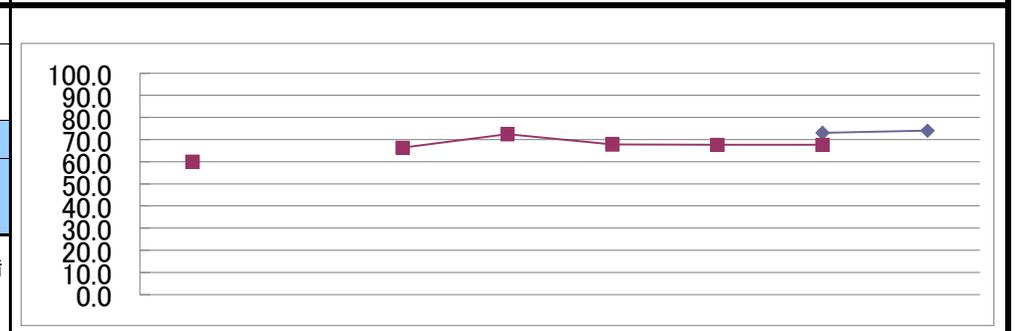
指標								単位	達成率
1-2	MICE延べ参加者数（観光戦略課）							人	226.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	83,231	85,000	90,000	95,000	100,000	105,000	11,000	11,500	5
実績	83,231	101,910	58,785	3,134	7,672	21,980	24,936		
達成状況 の分析	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行したことにより、MICE開催件数は昨年度と比較して9件増加となったことに伴って、MICE延べ参加者数は微増した。なお、2024年度は65件の開催予定がある。								



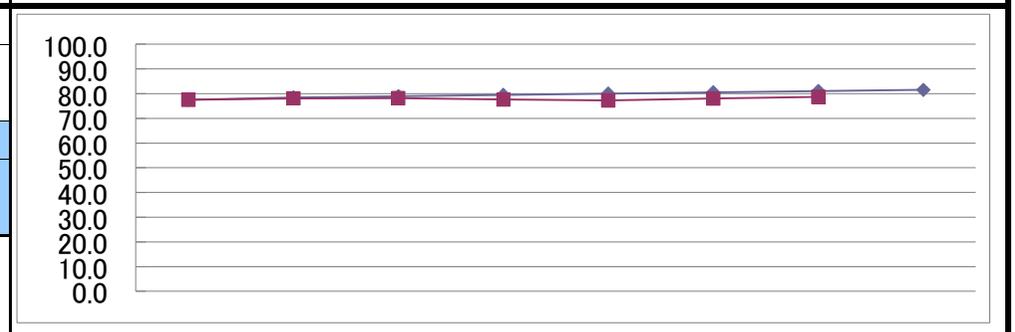
指標								単位	達成率
2-1	フローランテ宮崎の有料入園者数（公園緑地課）							人	114.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	-	-	-	-	-	-	220,000	220,000	5
実績	-	208,074	200,640	43,087	61,437	152,450	252,419		
達成状況 の分析	夏の「みやざきグルメとランタンナイト」や冬の「イルミネーションフラワーガーデン」を開催できるようになったことや「宮崎市おでかけ応援事業」の効果により有料入園者数は増加している。								



指標								単位	達成率
2-2	花と緑のまちづくりに満足する市民の割合（公園緑地課）							%	92.6%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	-	-	-	-	-	-	73.0	74.0	4
実績	60.0	-	66.3	72.4	67.8	67.6	67.6		
達成状況 の分析	予算の都合上、行政が提供・負担する花の量や維持管理頻度等が年々減少しているなかで、一定の満足度を維持していることは評価できる。								



指標								単位	達成率
2-3	屋外広告物の許可申請率（都市計画課）							%	97.2%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	77.5	78.5	79.0	79.5	80.0	80.5	81.0	81.5	4
実績	77.5	78.1	78.2	77.6	77.3	78.0	78.7		
達成状況 の分析	未申請者への申請推奨が十分でなかったため、目標を達成することができなかった。								



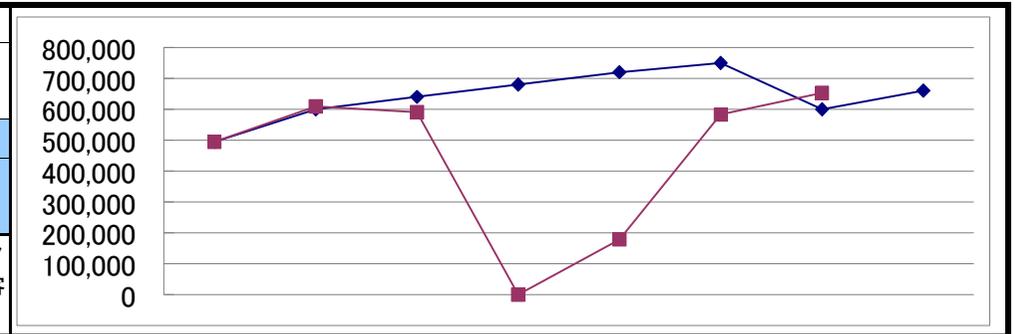
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

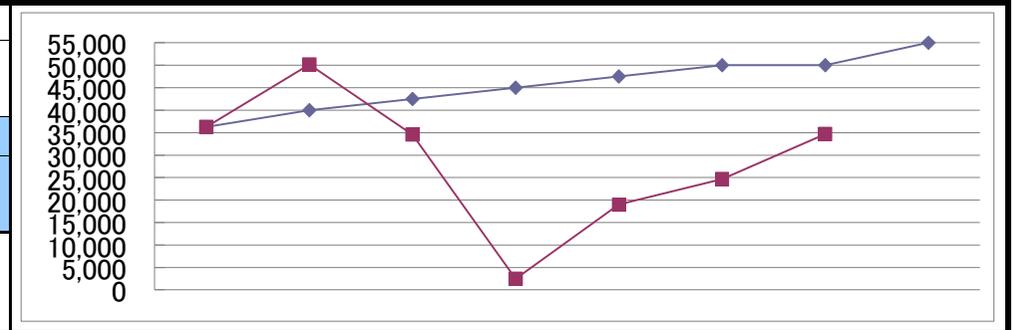
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

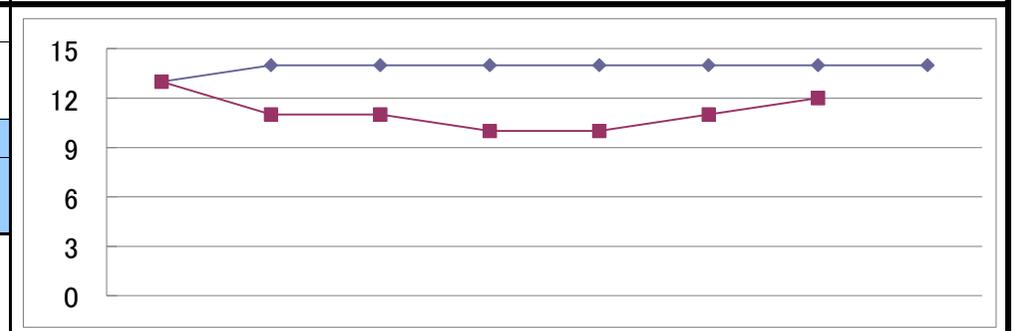
指標								単位	達成率
3-1	プロ野球キャンプ来場者数（スポーツランド推進課）							人	108.9%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	494,700	600,000	640,000	680,000	720,000	750,000	600,000	660,000	5
実績	494,700	609,100	590,400	-	178,300	582,600	653,196		
達成状況 の分析	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行後初のキャンプに加え、オリックス・バファローズのリーグ3連覇や、元ジャイアンツの松井秀喜氏の来宮効果もあり、コロナ禍前の集客を上回る結果となった。								



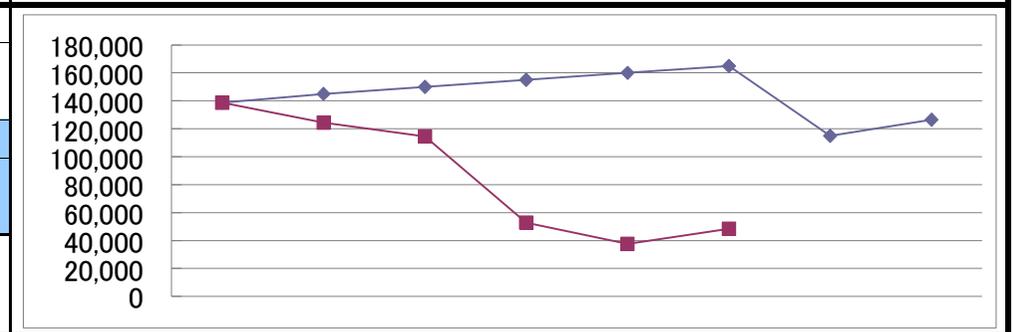
指標								単位	達成率
3-2	プロゴルフトーナメント来場者数（スポーツランド推進課）							人	69.4%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	36,285	40,000	42,500	45,000	47,500	50,000	50,000	55,000	2
実績	36,285	50,160	34,575	2,501	18,982	24,651	34,679		
達成状況 の分析	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行後、初めての3大会であったが、コロナ禍前の水準に戻った。								



指標								単位	達成率
3-3	Jリーグキャンプチーム数（スポーツランド推進課）							チーム	85.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	13	14	14	14	14	14	14	14	3
実績	13	11	11	10	10	11	12		
達成状況 の分析	新たに1チームのキャンプ実施につながった。その他チームからもキャンプ実施の希望があったが、既存チームとの日程調整がつかず新たな決定とはならなかった。								



指標								単位	達成率
★ 3-4	スポーツ合宿宿泊者数（スポーツランド推進課）							人	42.1%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	138,600	145,000	150,000	155,000	160,000	165,000	115,000	126,500	1
実績	138,600	124,400	114,600	52,877	37,596	48,392	未確定		
達成状況 の分析	2023年度実績未確定（7月確定予定） 【参考】2022年度達成率：29.3%								



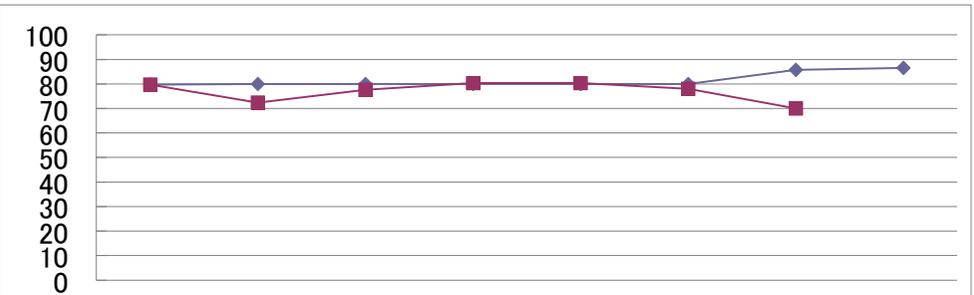
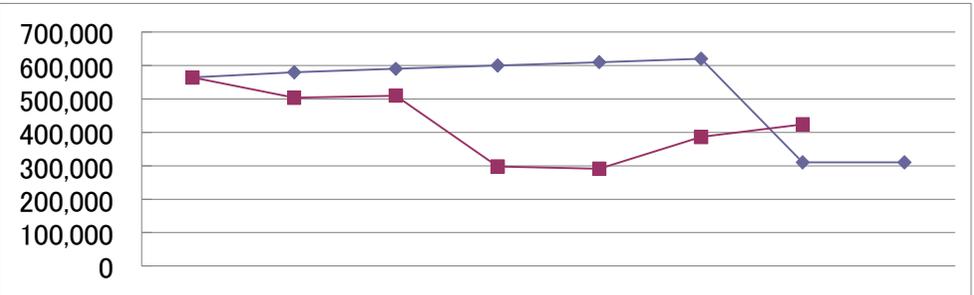
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標								単位	達成率
4-1	道の駅フェニックスの来場者数（観光戦略課）							人	136.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	563,929	580,000	590,000	600,000	610,000	620,000	310,000	310,000	5
実績	563,929	503,542	509,972	297,980	291,409	386,432	423,827		
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行したことにより、6月以降の月平均来場者数が32,000人から34,000人に増加した結果、昨年よりも来場者数が増加した。								
指標								単位	達成率
5-1	農畜産物のブランド認証品の売上額（農業振興課）							億円	81.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	79.7	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	85.7	86.5	3
実績	79.7	72.4	77.6	80.3	80.3	78.0	70.0		
達成状況の分析	天候不良などの影響により、ワンタッチきゅうりやビタミンピーマン等は、収量の減による単価高となったが、販売額は低下した。完熟マンゴーやきんかんたまたま等、面積増や出荷時期の調整により増収した品目もあったが、達成率は81.7%となった。								



総合 計画 体系	基本目標	5 地域特性に合った社会基盤が確保されている都市（まち）
	重点項目	5-1 コンパクト化とネットワークの形成による「都市機能の充実」
	指標関係課	企画政策課、都市戦略課、道路維持課、都市計画課

1 主要施策 5-1-1 都市機能の集約化 5-1-2 広域公共交通網の構築 5-1-3 物流体制の確保 5-1-4 公共施設や交通インフラの維持・整備	2 市民意識調査（参考） Q：あなたは、コンパクト化とネットワークの形成による「都市機能の充実」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>3.0%</td> <td>5.3%</td> <td>4.2%</td> <td>3.6%</td> <td>2.7%</td> <td>4.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>19.8%</td> <td>22.5%</td> <td>23.4%</td> <td>21.1%</td> <td>17.6%</td> <td>22.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>34.9%</td> <td>34.0%</td> <td>35.8%</td> <td>34.3%</td> <td>37.7%</td> <td>37.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>21.8%</td> <td>18.0%</td> <td>22.2%</td> <td>23.7%</td> <td>29.2%</td> <td>22.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>14.8%</td> <td>12.9%</td> <td>8.4%</td> <td>11.1%</td> <td>8.7%</td> <td>9.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.7%</td> <td>7.3%</td> <td>6.0%</td> <td>6.2%</td> <td>4.0%</td> <td>3.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	3.0%	5.3%	4.2%	3.6%	2.7%	4.7%		2	どちらかと言えば感じられる	19.8%	22.5%	23.4%	21.1%	17.6%	22.3%		3	どちらかと言えば感じられない	34.9%	34.0%	35.8%	34.3%	37.7%	37.6%		4	感じられない	21.8%	18.0%	22.2%	23.7%	29.2%	22.2%		5	いずれにも当てはまらない	14.8%	12.9%	8.4%	11.1%	8.7%	9.3%		6	無回答	5.7%	7.3%	6.0%	6.2%	4.0%	3.9%		計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	3.0%	5.3%	4.2%	3.6%	2.7%	4.7%																																																																		
2	どちらかと言えば感じられる	19.8%	22.5%	23.4%	21.1%	17.6%	22.3%																																																																		
3	どちらかと言えば感じられない	34.9%	34.0%	35.8%	34.3%	37.7%	37.6%																																																																		
4	感じられない	21.8%	18.0%	22.2%	23.7%	29.2%	22.2%																																																																		
5	いずれにも当てはまらない	14.8%	12.9%	8.4%	11.1%	8.7%	9.3%																																																																		
6	無回答	5.7%	7.3%	6.0%	6.2%	4.0%	3.9%																																																																		
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価												
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>平均点</td> <td>4.6点(46/10)</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">(参考：令和5年度内部評価)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.1点 (31/10)</td> </tr> </table>	平均点	4.6点(46/10)	平均点	3.1点 (31/10)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>a</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table>	内部評価結果	a	内部評価結果	b	<p style="text-align: center;">〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね目標を達成している。 ・特に、重点目標の「「良好な市街地が整備され、都市機能がコンパクトにまとまっている」と思う人の割合」及び主要施策「5-1-3 物流体制の確保」に関する取組の成果が出ている。 </td> </tr> </table>		<ul style="list-style-type: none"> ・概ね目標を達成している。 ・特に、重点目標の「「良好な市街地が整備され、都市機能がコンパクトにまとまっている」と思う人の割合」及び主要施策「5-1-3 物流体制の確保」に関する取組の成果が出ている。
平均点	4.6点(46/10)											
平均点	3.1点 (31/10)											
内部評価結果	a											
内部評価結果	b											
<ul style="list-style-type: none"> ・概ね目標を達成している。 ・特に、重点目標の「「良好な市街地が整備され、都市機能がコンパクトにまとまっている」と思う人の割合」及び主要施策「5-1-3 物流体制の確保」に関する取組の成果が出ている。 												

4 外部評価 <table border="1" style="width: 100%; background-color: yellow;"> <tr> <td>外部評価結果</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>〔外部評価での主な意見（要約）（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・働き手不足により、運行ダイヤの増強については現段階では厳しい状況にはあるが、バス交通はもとより、他モードとのフィジカル連携を強化した便益向上が必要である。 ・都市交通機能の充実として「ライトレール」の導入など、数十年かかっても良いので、先駆的な検討を始めてみてはどうか。 </td> </tr> </table>	外部評価結果	A	<ul style="list-style-type: none"> ・働き手不足により、運行ダイヤの増強については現段階では厳しい状況にはあるが、バス交通はもとより、他モードとのフィジカル連携を強化した便益向上が必要である。 ・都市交通機能の充実として「ライトレール」の導入など、数十年かかっても良いので、先駆的な検討を始めてみてはどうか。
外部評価結果	A		
<ul style="list-style-type: none"> ・働き手不足により、運行ダイヤの増強については現段階では厳しい状況にはあるが、バス交通はもとより、他モードとのフィジカル連携を強化した便益向上が必要である。 ・都市交通機能の充実として「ライトレール」の導入など、数十年かかっても良いので、先駆的な検討を始めてみてはどうか。 			

5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標									単位	達成率	
重点	「良い市街地が整備され、都市機能がコンパクトにまとまっている」と思う人の割合（都市計画課）							%	100.7%		
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数		
目標	44.8	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.5	46.0	5		
実績	44.8	40.7	46.9	47.1	51.3	44.3	45.8				
達成状況の分析	目標値を達成することができた。今後も引き続き、立地適正化計画における届出制度の運用により、都市機能の集約・誘導を図り、都市機能の充実を目指す。										
指標									単位	達成率	
重点	「公共交通の利便性が確保されている」と思う人の割合（企画政策課）							%	96.0%		
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数		
目標	22.4	23.9	25.4	26.9	28.4	29.9	22.4	22.4	4		
実績	22.4	22.6	22.4	22.4	21.2	20.5	21.5				
達成状況の分析	2023年度も実施された、利用者減少や運転士不足(主にバス)などを理由とした各公共交通機関の減便・ダイヤ改正等により、実績値が目標値に達しなかったと推察される。										
指標									単位	達成率	
1-1	総人口に対する用途地域内の人口の割合（都市計画課）							%	-		
	2015年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数		
目標	84.3	-	-	84.7	-	-	85.0	85.1	-		
実績	84.3	-	-	84.8	-	-	-				
達成状況の分析	引き続き、立地適正化計画における届出制度の運用により、都市機能の集約・誘導を図り、都市機能の充実を目指す。 ※実績値は5年に1回の国勢調査結果を出典とするため、2023年度は実績値なし。										
指標									単位	達成率	
1-2	総人口に対する人口集中地区人口の割合（都市計画課）							%	-		
	2015年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数		
目標	69.4	69.5	69.6	69.7	-	-	70.0	70.1	-		
実績	69.4	-	-	69.1	-	-	-				
達成状況の分析	引き続き、立地適正化計画における届出制度の運用により、都市機能の集約・誘導を図り、都市機能の充実を目指す。 ※実績値は5年に1回の国勢調査結果を出典とするため、2023年度は実績値なし。										

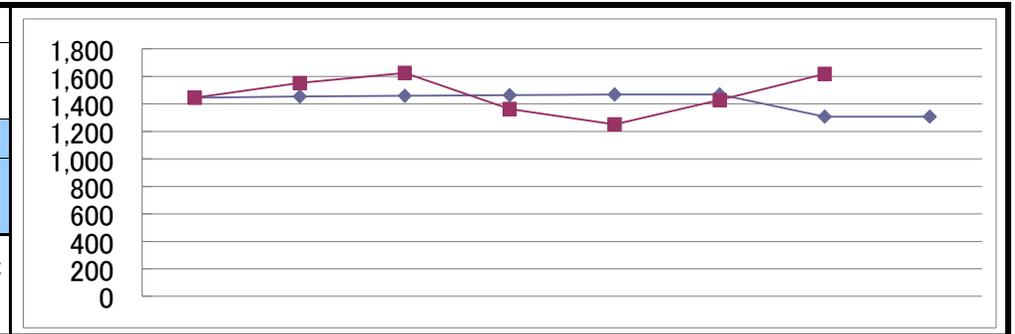
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

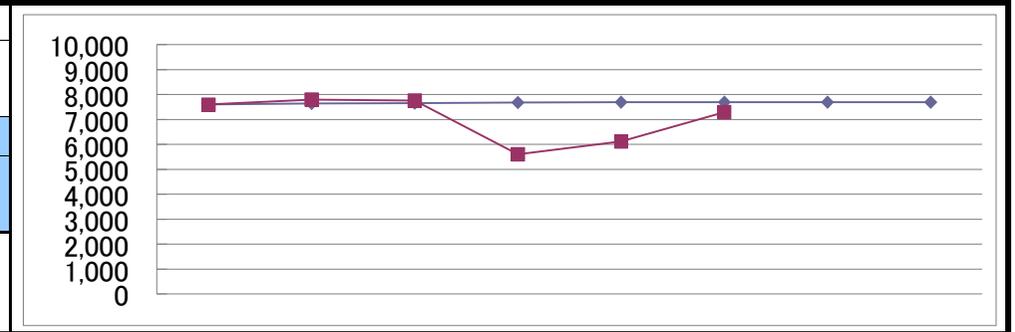
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

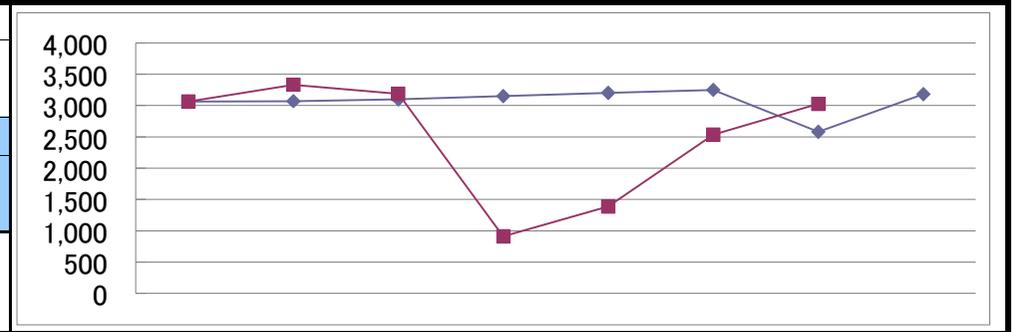
指標								単位	達成率
2-1	主要バスターミナルにおける路線バス乗降客数（企画政策課）							千人	123.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	1,445	1,454	1,459	1,464	1,469	1,469	1,308	1,308	5
実績	1,445	1,552	1,625	1,364	1,252	1,428	1,619		
達成状況の分析	コロナ禍における移動制限がなくなったことで、他と比べ利用者が比較的多い主要バスターミナルはコロナ禍前まで需要が戻り、目標達成となった。								



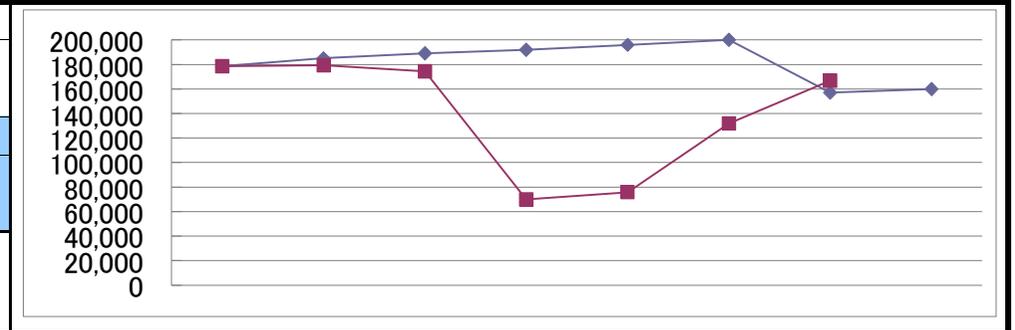
指標								単位	達成率
★ 2-2	JR九州の主要3駅（宮崎駅・南宮崎駅・宮崎空港駅）における一日あたりの平均乗客数（企画政策課）							人	94.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	7,600	7,640	7,660	7,680	7,700	7,700	7,700	7,700	4
実績	7,600	7,798	7,757	5,603	6,117	7,297	未確定		
達成状況の分析	2023年度実績未確定（8月確定予定）※2022年度よりも回復する見込み。 【参考】2022年度は、コロナの影響から回復基調ではあるものの目標未達成となった（2022年度達成率94.8%）。								



指標								単位	達成率
2-3	宮崎空港路線利用者数（企画政策課）							千人	117.2%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	3,061	3,070	3,100	3,150	3,200	3,250	2,580	3,180	5
実績	3,061	3,332	3,186	910	1,390	2,534	3,025		
達成状況の分析	国際線（韓国）も再開し、利用者が約302万人（2022年度比：119.4%、2019年度比：94.9%）と増加し、目標達成となった。								



指標								単位	達成率
2-4	フェリー旅客数（企画政策課）							人	106.2%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	178,623	185,000	189,000	192,000	196,000	200,000	157,000	160,000	5
実績	178,623	179,375	174,433	70,004	75,806	131,964	166,785		
達成状況の分析	旅客数は、燃料油高騰による運賃値上げの影響を受けながらも、新船効果及びコロナ禍からの回復もあり、利用者が166,785人（2022年度比：126.4%、2019年度比：95.6%）と増加し、目標達成となった。								



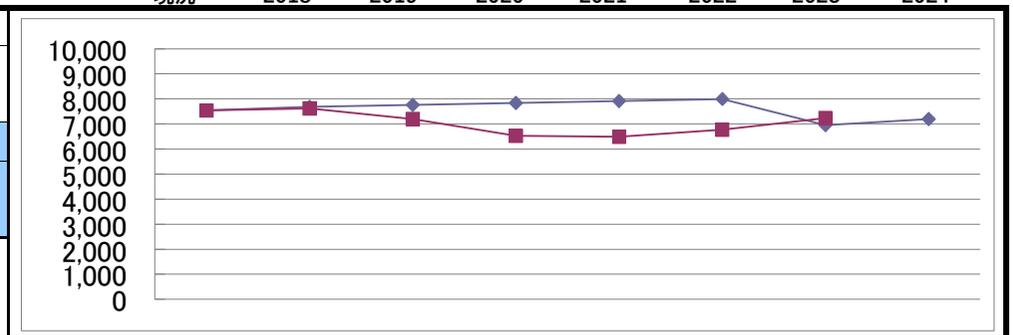
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

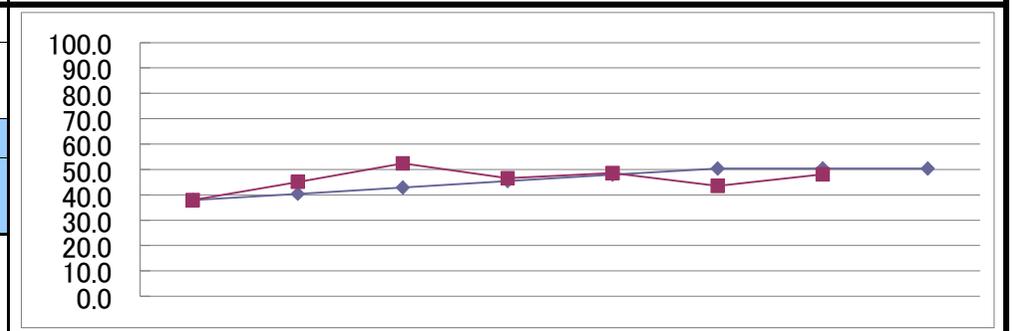
↓「★」は、2023年度実績値が未確定のため、2022年度実績値と2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

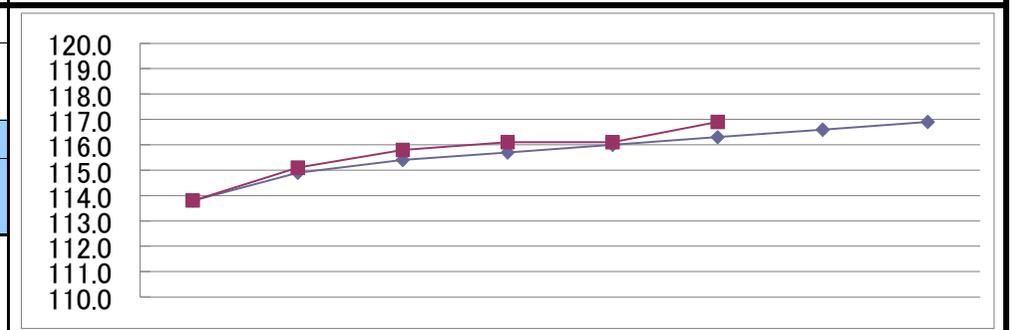
指標								単位	達成率
3-1	宮崎港の取扱貨物量（企画政策課）							千t	104.1%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	7,535	7,686	7,762	7,839	7,917	7,996	6,950	7,195	5
実績	7,535	7,620	7,195	6,521	6,489	6,771	7,236		
達成状況 の分析	宮崎港発の木材輸出量の増加や2024年問題を背景としたモーダルシフトへの転換が進み、取扱貨物量が7,236千フレート・トン（2022年度比：106.8%、2019年度比：100.6%）と増加し、目標達成となった。								



指標								単位	達成率
4-1	「公共施設サービスが質、量ともに適切に提供されている」と感じている人の割合（都市戦略課）							%	95.4%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	37.9	40.4	42.9	45.4	47.9	50.4	50.4	50.4	4
実績	37.9	45.1	52.4	46.6	48.6	43.5	48.1		
達成状況 の分析	直接的な因果関係は不明であるものの、施設評価を通じて、「総量の最適化」・「質の向上」・「投資の厳選」や公民連携の取り組みを進めていく。								



指標								単位	達成率
★ 4-2	都市計画決定道路(市道)の改良延長（都市計画課）							km	100.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	113.8	114.9	115.4	115.7	116.0	116.3	116.6	116.9	5
実績	113.8	115.1	115.8	116.1	116.1	116.9	未確定		
達成状況 の分析	2023年度実績未確定（7月確定予定） 【参考】2022年度達成率：100.5%								



指標								単位	達成率
4-3	老朽化等により早期に対策が必要と判断された橋梁の修繕割合（道路維持課）							%	96.4%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	13.3	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0	75.0	77.0	4
実績	13.3	36.2	57.4	77.9	76.5	70.7	72.3		
達成状況 の分析	昨年度に引き続き継続的・計画的な修繕を実施したが、2023年度の定期点検において、早期に対策が必要な橋梁（判定Ⅲ）が新たに追加されたこと等により目標が未達成となった。								

